

第八十六回帝國議會 農林中央金庫法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

農林中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二六號)

昭和二十年二月一日(木曜日)午前九時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋熊次郎君

理事 赤城 宗徳君 理事 小笠原八十義君

理事 恒松松二君 理事 森部 隆輔君

馬岡 次郎君 小高長三郎君

加藤 知正君 唐橋 重政君

木村寅太郎君 黑澤 西藏君

小山邦太郎君 齋藤 憲三君

野村嘉久馬君 平野 力三君

松浦 伊平君 松原五百藏君

前川 正一君 村上 國吉君

森川 仙太君 山口馬城次君

吉田 賢一君

出席政府委員左ノ如シ

厚生省健康局長 入江誠一郎君

厚生省部長 佐伯 敏男君

農商務次官 小山倉之助君

農商務參事官 長野 高一君

農商務總務局長 楠見 義男君

農商務省農政局長 西村 彰一君

農商務省山林局長 鈴木 一君

農商務省生活物資局長 田中 省吾君

農商務省物價局長 岡本 直人君

食糧管理局長官 湯河 元威君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農林中央金庫法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○高橋委員長 是ヨリ開會致シマス——山口君

○山口(馬)委員 外ノ質問ハ他ノ機會

ニ御許シテ願フコトニ致シマシテ、私ハ町村農業會ノ強化ニ關シマシテ御所信ヲ伺ヒタイと思ヒマス、今日町村農業會ノ仕事ハ全部國家ノ爲ニヤツテ居ルト申シテ差支ヘナイノデアリマス、自分ノ仕事ト云フヤウナモノハ一ツモナイノデアリマス、サウシテ晝夜ノ別ナクヤツテ居ルノデアリマスガ、財政ノ内容ハ甚ダ貧弱デアリマシテ、此ノ重責ヲ果スニハ甚ダ不十分デアアル、實情ヲ申上ゲマス、收入ノ財源トシマシテハ、以前ハ購買益金ナドハ可ナリアリマシタガ、此ノ頃ハ全クアリマセヌ、多少ノ手数料等ハアリマスガ、物資ノ獲得ノ爲ノ運賃が高ク、普通ノ値段デハ到底手ニ入ラナイ、急ノ間ニ合フト云フコトニスル爲ニハ、ドウシテモ相當高イ賃金ヲ拂ハナケレバナラナイト云フヤウナ點カラ致シマシテモ、僅カナ手数料ヲ貰ツタノハ足りナイト云フノガ實情デアアルデアリマス、又機械ノ修繕ナド一寸致シマスモ、棒ニ取ラレノデアリマス、ソナナ譯デ收入ノ方面ニ於ケル所ノ財源ハ殆ドナイト云フノガ實情デアリマス、纔カニ財源トシテ特ニ居リマスモノハ、上級團體デアル縣農業會ヘノ預金ノ利鞘ガ唯一ノ財源デアリマス、其ノ利鞘ニシマシテモ一厘カ二厘程度ノモノデアリマス、尤モ此ノ町村團體ガ有價證券ヲ買ヒマシタ場合ニハ、是ハ四分一、二厘ノ利鞘ガアリマスケレデモ、是ハ制限ヲサレテ居ルノデアリマス、農業團體法ノ施行規則ノ第三十五條ニ

依リマス、町村農業團體ガ府縣農業會ニ預ケタル定期預金ノ二分ノ一以內ニ限ツテ政府ノ認メタ有價證券ガ買ヘルト云フコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ制限ガアリマスノデ、此ノ方ノ利鞘ニ依ル所ノ財源ヲ多額ニ求ムルト云フコトハ困難ナ實情ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ大部分ノ町村團體ト云フモノハ赤字デアアル、或ハ非常ナ無理ヲシテ居ル、或ハ町村費ノ補助ヲ受ケテヤツテ居ルト云フノガ實情デアアルデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ、今日ノ増産、供出、貯蓄、勞務ノ調整ト云フヤウナコトヲヤツテ參リマス上ニ於テ、斯ウ云フ貧弱ナ財政デハ到底十分ナ仕事ヲヤツテ行クコトハ甚ダ困難ナ狀態ニアルノデアリマス、町村ノ農業團體ガ斯様ニ財政上ノ貧弱ナル狀態ニアルト云フコトヲ能ク御認識ニナツテ居ルノデアルカドウカ、ナツテ居ルノスルナラバ、之ニ對スル對策如何、私共トシテハ是ハドウシテモ國庫ノ助成ヲ俟ツ以外ニ方法ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對スル御所信ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ之ニ關聯シテモウ一點伺ツテ置キタイコトハ、農林、水產技術員ノ待遇改善、及ビ應召技術員ノ俸給ニ對スル所ノ國庫補助ノ増額或ハ國庫ノ助成ヲナス、斯ウ云フ問題デアリマス、技術員ノ俸給ガ全國平均只今ドノ位ニナツテ居ルカト云フコトハ私ハ調べテハ居リマセヌガ、常識的ニ考ヘマシテ六、七十圓程度ノモノデハナカラウカ、斯様ニ私ハ大膽ニ考ヘテ居ルノデアリ

マス、技術員ハ今日ノ農林團體ト云フモノヲ實際農民ニ徹底ラシ、之ヲ引張ツテ行クト云フ上ニ付テ、一番力ヲ持ツテ居ルノデアリマス、町村農業會——或ハ其ノ村ニ行ツテ實際其ノ成績ガ擧ツテ居ルト云フ所ハ、誰カ一人有力ナ人ガアルト云フ所デアリマスガ、其ノ一人ト云フノガ村長、或ハ青年學校ノ指導員、或ハ技術員、ソレ等ノ中ノ誰カ一人デアリマスガ、多クノ場合ニ於テ此ノ技術員デアアルノデアリマス、私ノ體驗シテ居ル所ニ依リマス、本當ニ村民ノ信頼ヲ得タ技術員ト云フモノハ、村長以上ニ其ノ村ノ信頼ヲ得テ居ルノデアリマス、信頼ヲ得タ技術員ハ——私ノ村ニ阿部ト云フ技術員ガ居リマシタガ、ソレガ代ツテ後、又技術員ガ來マシタガ、村ノ人ハヤリ後ノ技術員ニ對シテモ阿部サン、斯ウ云ツテ居ツタヤウナコトデアリマシテ、此ノ技術員ガソレ程信頼ヲ得レバ、ドソナコトデモ出來ルノデアリマス、隨テサウ云フ技術員ト云フモノハ朝カラ晩マデ打通シニ働イテ居ルノデアリマス、ソレガ、タツタ六、七十圓ト云フヤウナコトデハ、洵ニ可哀サウデアリマシテ、今日普通山間部ノ村デアリマシテモ、平夫ノ日當ト云フモノハ五圓デハ働キ手ハナイノデアリマス、是ガ實情ナンデス、マア七、八圓カラ十圓位モアリマスガ最低五圓ト云フヤウナコトデハ決シテ喜ンデ來ナイ、此ノ點ヲ能ク一ツ御認識願ヒタイ、ソレガ、六、七十圓ノ技術員ノ俸給ト云フヤウナコトデハ洵ニ可哀サウデアアル、

サウシテ技術員ハ足デ働クノデス、頭ト云フヨリモ足デ働ク、熱デ働クノデアリマス、足デ働キマスカラ自轉車デ朝早カラ夜マデ飛ビ廻ル、ソコデ自轉車ノ損耗ト云フモノハ非常ニ大キイノデアリマス、所デ此ノ自轉車ノ修繕ハ今日一寸修繕ラシマシテモ三圓以下デハ出來マセヌ、其ノ三圓掛ケテ修繕シタモノガ二、三日モシマス又破レル、サウ云フ風デアリマスカラ、自轉車ノ修繕費用ハ僅カ六、七十圓ノ中デ少シ出シマシテモ是ハ大變ナ痛手デアアル、サウ云フ實情デアリマス、先刻申上ゲマシタヤウニ、財政狀態ハ其ノ熱意ニ對シテ酬イタイと思ヒマシテモ、中々是ガ容易デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ同ジ村ニ居リマシテモ、町村ノ吏員ト云フモノハ國庫ノ補助ガアリマスノデ、色々戰時ノ手當が出テ居リマスガ、農業會ニ於ケルマシテハ是ガ出來ナイト云フ所ガ可ナリアルト思フノデアリマス、尙ホ其ノ次ニ應召技術員ノ留守中ニ於ケル俸給支出ノ問題デアリマスガ、サウ云フ財政ノ狀態デアリマシテ、現在居ツテ働イテ居ル者ニ對シテサヘモ十分ノ手當ガ出來ナイ位デアリマスカラ、應召出テ行ツタ者ニ對シマシテハ、洵ニ可哀サウデアリマスケレドモ、ヤハリ眼前ノ急ノ爲ニ之ヲ犧牲ニシナケレバナラヌ、留守中ノ俸給ヲ拂ツテヤルト云フコトガ出來ナイノデアリマス、ソコデ此ノ農業團體ノ會合ノ都度ニ必ズ問題ニナルノハ、此ノ應召技術員ノ留守中ノ俸給ヲドウスルカト云フコトデアリマス、ヤ

リタイガ中々金ガナイ、一人應召シテ又二人モ應召シタト云フヤウナ所ニナレバ、尙更其ノ跡始末ニ困ル、併シ之ヲ始末ヲシテヤナケレバ、補充ヲスル場合ニ、ドウモ跡ノ始末ヲシテ呉レヌヤウナ農業會ニハ、働ケナイト云フヤウナコトデ、後ノ者ヲ補充スル上ニ於テモ非常ニ是ガ障礙ニナル、サレバト云ツテ財源ガナイ、之ヲドウスルカト云フコトハ、如何ナル農業會關係ノ會合ノ場合ニモ必ズ出テ來ル問題ナンデアリマス、是ハドウシテモ國家カラヤツテ戴ク途ヲ開ク以外ニ方法ガナイノデアリマス、縣農業團體カラ助成スルト云フヤウナ力ハ縣農業團體ニモナイ、ドウシテモ、是ハ國家デヤツテ戴カナケレバナラヌ、斯ウ云フ實情ニアリマスノデ、是ハ一ツ強ク私ハ御認識ヲ願ヒ、極力御配慮願ヒタイ、斯様ニ感ジテ居ルノデアリマスガ、以上ノ點ニ付キマシテ實情ニ對スル認識、及ビ對策ニ付テ御所見ヲ伺ツテ置キタイ

○補見政府委員 御答へ申上ゲマス、只今御述ベニナリマシタ町村農業會ノ實情竝ニ技術員ノ現狀ニ付キマシテハ、私共モ其ノ實情ハ能ク承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、御述ベニナリマシタヤウニ、最近凡ユル施策ガ町村農業會ニ集中シテ參ルノデアリマス、單リ食糧増産ノミニ限ラズ、最近ハ松根油ノ問題等モ、總テ町村農業會ニ其ノ仕事ガ負荷サレテ參ル譯デアリマス、隨テ我々ト致シマシテハ、此ノ政府ノ施策ヲ現實ニ行フ中心ハ、何ト申シマシテモ町村農業會ニアル譯デアリマス、隨テ是ガ強化ニ付キマシテハ凡ユル機會ニ出來ル限リノ力ヲ用ヒテ、種々方策ヲ講ジテ參ツタ譯デアリマス、特ニ町村農業會ノ財政ノ狀況等モ——勿論團

體統合ノ後デ全國的ニ其ノ調査ハ中々難シナリノデアリマスガ、我々ノ方カラ出向イテ行キマシテ、部分的ニ調査シテ所ニ基ク綜合判斷ニ依リマシテモ、半分程度ノモノハ現在ノ情勢デ參リマス、相當苦シイノデアリマス、中ニハ良イモノモアリマスケレドモ、大部分ノモノハ相當苦シイヤウナ情勢デアリヤウデアリマス、其ノ苦シイ情勢ハ是レ亦御述ベニナリマシタヤウナ購買差益金ガ少イ、或ハ又信用事業ニ於ケル利鞘ト申シマスガ、此ノ方「マージン」ガ非常ニ少イ、期ウ云フコトニ大キナ原因モアルヤウデアリマス、一面我々ト致シマシテハ、團體統合ニ依リマシテ從來ノ各種ノ團體ガ一ツニナツタノデアリマスカラ、此ノ機會ニ農民ノ側カラ見マス、折角色々ノ機關ガ一ツニナツテ而モ賦課金ハ多クナルト云フヤウナコトニナリマシテハ、團體統合ノ趣旨ニソグハナリ譯デアリマス、所ガ實際ノ狀況ハ、團體統合ノ結果、道府縣農業會ニ付テ見マシテモ、從前ニ比較致シマシテ賦課金ガ殖エテ居ルノガ過半数ニナツテ居ルヤウナ情勢デアリマス、隨テ一面ニ於テ農民ノ方カラ賦課金ヲ從前ニ比シテ多ク取ラナイヤウニスル、同時ニ一面上ノ方カラ色々ノ仕事ガ下リテ參リマス場合ニ、之ヲ受入レルダケノ力ヲ付ケル、斯ウ云フヤウナ見地カラ色々方策ヲ考ヘテ參リマス、御述ベニナリマシタヤウニ、結局ハ國庫助成ヲ強化シテ行クト云フコトニ依ラザルヲ得ナイノデアリマス、斯様ニ考ヘルノデアリマス、現在ノ補助金ノ狀況ハ、是レ亦十分御承知ノコトデアリマスガ、漸次殖エテ參リマシテ、大體農業會ノ經費ノ半分以上ハ助成金デテ賄ツテ居ル

實情デアリマス、勿論農業會ニ依リマシテ、七割或ハ八割マデ國ノ助成金デ賄ツテ居ル所モアリマス、又三割程度ニ止マツテ居ル所モアリマスガ、均シテ見マス、半額以上ハ全部ハ國ノ助成金デ賄ツテ居ルト云フ情勢デアリマス、今申上ゲマシタヤウナ觀點カラ致シマシテ、是ハ更ニ凡ユル機會毎ニ此ノ助成金ノ途ヲ講ジテ行クト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ名目ノ付ク限リ、直接其ノ仕事ニ町村農業會ガ使ハレル、使ハレナイニ拘ラズ、政府ト致シマシテ、名目ノ付ク限リ新タナル助成金ヲ計上シ、之ヲ農業會ニ流スコトヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

貯金ノ問題、有價證券ノ問題ニ付キマシテモ、是モ御承知ノヤウニ、從來色々信用組合ノ破綻ナリ、又中央銀行ノ破綻等ニ件ヒマシテ、色々金融上ノ問題ガアツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、隨テ出來ルダケ危險ノアルモノハ中央ニ資金ヲ集約シマシテ、之ニ依ツテ有利ニ中央デ賄ヒ、ソシテ利子ノ還元ヲ致シマス、或ハ其ノ他ノ助成ヲ致シマス、斯ウ云フコトヲ考ヘテ參ツタノデアリマス、併シナガラ段々此ノ「マージン」モ苦シクナツテ參リマシタノデ、更ニ此ノ點ニ付テハ、新タニ町村農業會ガ出來ルダケ潤ヒガ持テル如ク、ソレ等ノ點モ考ヘナケレバナラヌト云フ風ニ存ジテ居ル次第デアリマス、是ハ早急ニ何等カノ手段ヲ打チタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、「マージン」ノ問題モ、是モ低物價政策ノ色々價格形成ノ段階ガゴザイマシテ、時間的ニハ、一時配給「マージン」ヲ非常ニ壓縮シテ、サウシテ低物價政策ヲ堅持スル、斯ウ云フヤウナ價格形

式ノ考ヘ方ヲ採ツタ時モアルノデアリマス、ソレニ件ヒマシテ町村農業會ノ「マージン」モ、一般配給業者ノ「マージン」ト同様ニ、之ヲ壓縮シタ時代ガアルノデアリマス、併シナガラ一般配給業者ノ配給「マージン」モ、御述ベニナリマシタヤウナ色々事情ニ依リマシテ、最近ハ之ヲ是正スル方向ニ向ツテ居ルノデアリマス、是等ノ同様ナ町村農業會ノ配給「マージン」モ、併セテ價格改訂ノ時ニハ考ヘル必要ガアラウト考ヘテ居リマス

次ニ技術員ノ問題デアリマス、此ノ問題モ御述ベニナリマシタヤウニ、我々ハ此ノ技術指導員ガ、眞ニ町村農業會ノ活動ノ中核デアリ、又之ニ頼ラザルヲ得ナイト云フコトヲ深く確信致シテ居リマス、隨テ此ノ技術員ニ對スル助成ト云フコトモ、昨年ノ議會又臨時議會、本年ノ議會デ、是等ノ年毎ニ補助金ノ増額モ講ジテ參リ、又豫算定員ノ増加ノ方法モ講ジテ參ツタノデアリマス、常識的ノ御判斷ニ依リマスル技術員ノ俸給ガ六、七十圓ト云フ御話デアリマシタガ、現在ノ豫算單價モ、御想像ノ通り六十五圓デアリマス、是モ從來ハ五十五圓ガ豫算補助ノ單價デアツタノデアリマスガ、本議會カラ十圓増額シテ戴キマシテ、六十五圓ヲ以テ豫算單價ニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ外ニ戰時手當ト致シマシテ月十圓、ソレカラ又家族手當ト云フヤウナ意味カラ致シマシテ、俸給ノ一五%ト云フヤウナモノヲ計上シテ居ルノデアリマス、勿論全技術員ノ數ハ五萬人程度ト考ヘラレルノデアリマスガ、豫算定員ト致シマシテハ現在三萬人程度デアリマス、隨テ町村農業會ニ於テハ國カラ流レマスル是等ノ補助金三萬人ノ

分ヲ五萬人ニ均シテヤル、斯ウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、是等ノ金ガ薄クナツテ居ルト云フ實情モアラウカト思フノデアリマス、併シナガラ我々ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、豫算定員ハ、最近ニ於キマシテモ、此ノ一年間ニ一萬人以上増加致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ能フ限リ、機會アル毎ニ此ノ定員ノ増加ヲ致シマス同時ニ、更ニ單價ノ増加ト云フコトモ考ヘテ居ル譯デアリマス、將來ノ問題ト致シマシテハ、更ニ此ノ單價ノ増額、或ハ新タナ名目ヲ以テ、此ノ技術員ニ對スル國庫助成ヲ増額スルト云フ方面ニ努力ヲ致ス積リデアリマス、是ハ強力ニ我々ト致シマシテモ、努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

應召技術員ノコトデアリマスガ、是モ町村農業會ニ照會ヲ出シマシテ、現實ノ數ヲ擲ンデ、其ノ數ニ基イテ大藏省ニモ強ク當ル決心デ、三月程前カラ隨分督促ヲシテ居ツタノデアリマスガ、中々材料ガ集マラナイノデアリマス、隨ヒマシテ我々ト致シマシテハ、一應推定ヲ付ケマシテ、應召技術員ニ對スル國庫助成ノ數ヲ、今回前年ニ比較致シマス約千六、七百名デアリマシタカ、其ノ増額ヲ致シタノデアリマス、併シナガラ是モ今申上ゲマスヤウニ正確ナル數字ヲ擲ミ、サウシテ強ク財務當局ニモ當リ、出來ルダケノ増額ヲ期シタイ、豫算定員ノ増加ヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、要スルニ御述ベニナリマシタ町村農業會ノ重要性、竝ニ其ノ中心デアル技術員ノ重要性ト云フコトハ、我々モ全ク同感デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ各方面ノ御協力ヲ得マシテ、我

分ヲ五萬人ニ均シテヤル、斯ウ云フヤウナコトカラ致シマシテ、是等ノ金ガ薄クナツテ居ルト云フ實情モアラウカト思フノデアリマス、併シナガラ我々ト致シマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ、豫算定員ハ、最近ニ於キマシテモ、此ノ一年間ニ一萬人以上増加致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ能フ限リ、機會アル毎ニ此ノ定員ノ増加ヲ致シマス同時ニ、更ニ單價ノ増加ト云フコトモ考ヘテ居ル譯デアリマス、將來ノ問題ト致シマシテハ、更ニ此ノ單價ノ増額、或ハ新タナ名目ヲ以テ、此ノ技術員ニ對スル國庫助成ヲ増額スルト云フ方面ニ努力ヲ致ス積リデアリマス、是ハ強力ニ我々ト致シマシテモ、努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

應召技術員ノコトデアリマスガ、是モ町村農業會ニ照會ヲ出シマシテ、現實ノ數ヲ擲ンデ、其ノ數ニ基イテ大藏省ニモ強ク當ル決心デ、三月程前カラ隨分督促ヲシテ居ツタノデアリマスガ、中々材料ガ集マラナイノデアリマス、隨ヒマシテ我々ト致シマシテハ、一應推定ヲ付ケマシテ、應召技術員ニ對スル國庫助成ノ數ヲ、今回前年ニ比較致シマス約千六、七百名デアリマシタカ、其ノ増額ヲ致シタノデアリマス、併シナガラ是モ今申上ゲマスヤウニ正確ナル數字ヲ擲ミ、サウシテ強ク財務當局ニモ當リ、出來ルダケノ増額ヲ期シタイ、豫算定員ノ増加ヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、要スルニ御述ベニナリマシタ町村農業會ノ重要性、竝ニ其ノ中心デアル技術員ノ重要性ト云フコトハ、我々モ全ク同感デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ各方面ノ御協力ヲ得マシテ、我

我ト致シマシテモ最善ノ努力ヲ盡シタ
イ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス
○山口(馬)委員 只今ノ御答辯ニ依リ
マシテ、町村農業團體ノ實情、及ビ技
術員ノ重要性ニ付テ、非常ニ御認識ヲ
深ク持ツテ居ラレト云フコト、機
會アル母ニ之ヲ強化スルコト云フ御意
ノ點ハ、能ク御承知シマシタ、此ノ御理
解アル御答辯ニ對シマシテハ、必ズヤ
感激ヲ以テヤルト云フヤウナ氣持ヲ起
スコトニ、至大ノ效果ノアルコト存
ジマスガ、併シ本年度ハ食糧ニ付テハ
飛躍的ニヤラナケレバナラヌト云フ決
意ヲ政府當局モ持タレテ居リマスルシ
又國民トシテモ、最後ノ戰ヲ決シ
ルモノハ食糧デアルト云フコトガ、段
段ニ分ツテ參ツテ居リマスルシ、今度
ハドンナ増産計畫ニモ感激ヲ以テ皆ガ
全心得打込シテ起テ上ルト云フ氣運
ガ、飛躍的ニ私ハ出テ來ルト思フノデ
アリマス、此ノ人心ヲ把握シマシテ、
之ニ對シマシテ強力ナル策ヲ斷行シ
テ行ク、サウシテ不拔必勝ノ信念ヲ培
ツテ行クト云フ大切ナ時デアルト私ハ
思ヒマスノデ、其ノ御認識ニ基キマシ
テ、本當ニ斷乎トシテ此ノ第一線ノ
策ヲ參照シテ實行者デアリマス所ノ技
術員ノ問題、農業團體ノ問題ト云フモ
ノヲ急進ニ一ツ御解決ヲナサルヤウ
ニ、此ノ上ナガラ御意ヲ顯ヒタイノ
デアリマス、國ノ方デドンナ策ヲ斷
テマシテモ、是ガ徹底スルカセヌカト
云フコトガ究極ノ問題デアルト思ヒマ
ス、是ガ徹底スルカシナイカト云フコ
トハ、實地部隊デアリマス所ノ、今中
上ガマシテ地方ノ農業團體、技術員
ノ健全アルト私ハ思ヒマスノデ、此ノ
點ニ付キマシテハ特ニ一ツ此ノ上ナガ

ラノ熱意アル御意ヲ顯ヒタイ、斯ウ
存ジマス、是ガケラ申上ゲテ置キマス
○簡見政府委員 只今ノ御答辯ノ點ハ
十分ノ承知シテ居ル所デアリマス、更
ニ此ノ上トモノ御協力ヲ得マシテ、十
二分ノ努力ヲ續ケタイ、斯様ニ考ヘマ
ス
○高橋委員 木村君
○木村(實)委員 土地ノ問題ヲ御伺ヒ
シタイノデアリマス、政府ハ自作農創
設ヲ獎勵シテ居ルノデアリマスガ、選
選トシテ選ンデ居ラナイ、併シ現在ノ
農局カラ考ヘテ、食糧ノ飛躍的ノ増産ヲ
圖ルト云フコトカラ見マシテ、何ト言
フテモ私ハ土地ノ上ニシツカリト立ツ
タ農民デナケレバ、此ノ増産ハ出來ナ
イト思フ、況シテ不耕作地ガ段々出來
テ來タイ、小作地ノ返還ガ出テ來ルト
云フヤウナ事態ニナツテ來レバ來ル
程、又今後一層ソレガヒドクナツテ
來ルヤウナ傾向ガアラウト存ジマスガ、
斯ウ云ツタ際ニ食糧ノ飛躍的ノ増産ヲ圖
ラウト致シマスナラバ、何ト言フテモ
自作農ノ創設ガモット早急ニ行カナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、地主
ガ之ヲ持ツテ居ルカラ利権ガアルト
カ、或ハ保有米價ヘルト云フヤウナ
事態デハナシニ、小作人モ之ニ依ツテ
階級階級ヲスルト云フヤウナ事態デハ
ナク、此ノ土地ヲ通シテ戰力ニ貢獻ス
ル云フ意味カラ、此ノ際ニ地主モ開墾
シ、小作人モ自作ニ進ムルト云フノデ
ナケレバ、到底私ハ此ノ食糧問題ヲ解
決スルコトハ出來ナイト考ヘテ居リマ
ス、之ニ付キマシテモ早急ニ、建
設的ニヤラナケレバ増産ガ出來ナイノ
デハナイカト私ハ思ツテ居リマス、
直接的ノ食糧増産ニナルト思ヒマス
ガ、之ニ對シマシテ豫算總會デ大臣ハ

サウ早急ニト云フコトハ言ハナカッ
ヤウデアリマスガ、是ハモット早急ニ
ヤル必要ガアルト思ヒマス、如何デア
リマスカ
○西村政府委員 自作農ノ維持創設ノ
事業ハ、御承知ノヤウニ大正十五年カ
ラヤツテ居ルノデアリマス、政府ハ極
力ヤツテ居リマスガ、御答辯ノヤウニ其
ノ進捗状況ハ必ズシモ豫定ノ通りニハ
行ツテ居ラヌノデアリマス、昭和十五
年カラ十八年マデノ維持創設ノ面積ハ
二十萬町歩デアリマシテ、戸數ハ
三十萬戸ニ互ツテ居ルノデアリマス、
昭和十九年度ニ於テハモット積極的ニ
之ヲ進メルコトニ致シマシテ、既耕地
ニ付テハ四萬五千町歩、又開墾ノ農地
ニ付テハ一萬町歩以上ヲ自作農ノ方ニ
向ケル、斯様ナコトヲヤリマシテ、昭
和二十年度ニ於テモ更ニ相當ノ面積ヲ
増加致シマシテ、極力之ヲ推進スルコ
トニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ昨
年度カラハ御承知ノヤウニ農地ヲ提供
スル地主ニ對シマシテ、自作農創設促
進ノ報奨金ヲ交付スルコトニ致シテ居
ルノデアリマスガ、之ニ對シテ戰時利
得稅ガ課カレト云フヤウナ問題ガアリ
マシテ、昨年ハ解決ヲシナカッタノデ
アリマス、本年ハ此ノ報奨金
ニ對スル戰時利得稅ハ全部免除スルコ
トニナツテ居ルノデアリマス、旁、自作
農ノ仕事ガ食糧増産ノ中心ニナルト云
フコトニ付テハ全く同感デアリマシ
テ、私共モ皇國農村等ノ中心ニ致シマ
シテ、自作農創設ヲモット積極的ニ一
ツ進メテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス
○木村(實)委員 積極的ニ進メテ行キ
タイト言ツテモ、地主ガ開放シナイ場

合ニ於テハ申上出來ナイノデアリマス
ガ、之ヲ今一步推進シテ、農業團體一
括購入ガ出來ルト云フ所マデ今ヤツテ
居リマスモノヲ進メテ、政府ガ一應一
括買上ゲテ、ソレヲ今度ハ適正ニ配
ラシテ行クト云フ所マデ行ツテ宜シイ
ノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ點ト
今一ツハ報奨金ノ問題デアリマス、畑
ガ九千圓、田ガ百二十圓平均ト云フコ
トニナツテ居リマスガ、是デハ現在ノ
價格、色々ナ物價カラ行キマシテ、地
主ガ開放スルコト云フノハ大變面倒デ
ナイカト思ヒマス、之ニ對シマシテモ
ツト功勞金ナリ或ハ報奨金デモ宜シウ
ゴザイマスガ、此ノ際ニ地主ガ土地ヲ
開放シテ戰力増強ニ寄與スル、生産ニ
直接寄與スルコト云フ其ノ功勞ニ報
ノニハ、モット多ク出ス必要ガアルノ
デハナイカト思ヒマスガ、此ノ點ハ如
何デアリマスカ
○西村政府委員 現在自作農ヲ維持創
定スル場合ニ於キマシテ、地主ガ土地
ヲ手放サナイト云フコトハ、地方ニ依
ツテ相違アリマス、ソレモ、ソレモ
支障ニハナツテ居ラナイ所モアルノデ
アリマス、報奨金ノ問題ハ色々ナ經緯
ヲ經マシテヤツタノデアリマスガ、之
ヲ今急激ニ増加スルコト云フコトハ、農
地價格ガ色々ナ統制ヲ受ケテ居ルヤウナ
現狀ニ於テハ、中々困難デハナイカト
思ツテ居リマス、農業會ガ一括購入ヲ
スルト云フコトモ資金ノ方面ハ十分ニ
融通ガ出來マスノデ、左様ナ方法ハ探
ツテモ構ハナイト思ヒマス、又探リ
得ル所ハ探ツテ行キタイト考ヘテ居リ
マス
○木村(實)委員 ソレヲ現在探リ得ル
ト思ツテ實際ヤツテ居ルノデアリマス
ガ、今一步進メテ、國家ガ一應買上ゲ

ルヤウナ形デ適正配置ヲキツタラシ
カ其ノ意思ガアルカドウカ
○西村政府委員 國家ガ土地ヲ購入ス
ルコトニナリマス、國有財產其ノ他
ノ關係ガアリマス、國家ガ購置ラシテ
農業會ニ購入サセテ、國家ガ購入シタ
ヤウナ形ニ於テ促進ヲシテ行クコトハ
今後考ヘテ行キタイト思ヒマスガ、國
家ガ直接買上ゲマス、既有財產其ノ
他ノ關係ガアツテ非常ニ關係ガ面倒ニ
ナリマス、ソレモ、尙ホ考究致シタイ
ト思ヒマス
○木村(實)委員 ソコヲ私ハ是非進メ
テ置ヒタイト思ヒマス、唯道義ニ訴ヘ
テ、地主ニ土地ヲ開放サセルト云フコ
トデハモウ駄目ダト思ヒマス、或ル程
度マデ國家ガソレニ干渉シテ、國家ガ
手ヲ入レテヤル所ニ、進ム場合ガアラ
ウト、強化シテ戰時キタイト思ヒマス、隨
テソレヲヤツテ行キマシテ場合ニ、自
作農ガ現在色々ナ問題カラ考ヘテ、又
小作ニ轉落スル場合ガアリマス、ソレ
ニ付テ或ル程度マデ農業團體、所謂世
襲地制ノ制度ト云フモノガ出來テ宜
シイノデハナイカト思ヒマスガ、ソレ
ニ對シマシテドウ云フヤウニ進ンデ居
ラレマスカ
○西村政府委員 折角自作農ニ致シマ
シタモノヲ更ニ引續キ維持サセテ行ク
爲ニ、家制度ノ考ヘ方ナリ、又世襲
財產の考ヘ方ナリト云フモノハ、隨
分從來農商省トシテハ研究ヲ致シテ居
リマシタ、其ノ讓渡ヲ禁止スルコト云ツ
タヤウナ基礎デケデアリマスガ、別ニ
資金融通ノ方法等ハ考ヘテ居ルノデア
リマスガ、最近ノ此ノ四五ノ狀態ニ
於キマシテハ、自作農ニナツタ者ガ借

財、其ノ他經濟上ノ關係カラ小作農ニ直ク落チルコト云フ事ハ、非常ニ少イヤウナ狀態デアリマス

○本村(書)委員、世襲農地ノ方向ニ一ツ進ンデ行クヤウニ御研究願ヒタイノデス

ソレカラ今一ツハ米價ノ問題、是ハ上ゲテ賣フト云フコトニナツテ居リマスガ、私ハ少クとも一畝百圓位ニナラナケレバナラヌと思ヒマス、此ノ米價ガ左様ニ上ツテ參リマス、之ヲ報獎金或ハ獎勵金ヲ含メテ一本ニスルカドウカ、是ハ色々技術的ナ或ハ財政的ナ問題ガアラウト思ヒマスカラ、是ハ後ニ致シマシテ、當然上ツテ行キマス米價ニ對シマシテ、茲ニ起キテ來ル問題ハ小作料ノ問題デアリマス、此ノ小作料ヲ物納ニ依ツテヤツテ參リマス、陸テ直接小作料ガ上ツテ來タト云フヤウナ關係ニモナリマス、サウカト云ヒマシテ、地主ニモ相當ニ小作料ノ價格ノシテ收入ガナイ限リニ於テハ、地主ノ生活維持モ出來ナイヤウナ現在ノ段階ニ於キマシテハ、或ル程度マデ小作料ガ上リ、地主ニ其ノ收入ガ多クナルト云フコトモ考ヘラレマスガ、一面小作者ノミガ又多ク小作料ヲ高ク要ルト云フコトモ、是ハ考ヘラレノデアリマシテ、隨テソコデ今考ヘテ行カナクテハナラヌ問題ハ、物納カラ金納ニ變ヘテ行クコト云フ事柄モ一ツノ手デハナイカト考ヘテ居リマスガ、之ニ付キマシテドノヤウナ御考ヘデ米價ノ向上ニ伴レテ小作料ノ問題ヲ處理シテ行ク御意見デアリマス

○西村政府委員、米價ノ問題ヲ報獎金ノ問題ト考ヘ併セマシテ、今後ドウ云フ風ニ變ヘテ行カト云フ問題ニ付キマシテハ、目下農商省ニ於テ研究ヲ致

シテ居ルノデアリマスガ、米價ノ改訂スル問題ニ關聯致シマシテ、御話ノヤウニ小作料ノ問題ガ非常ニ「デリケー」トナ問題ニナツテ來ルノデアリマス、小作料ヲ從來ノ物納カラ金納小作料ニシテ方宜クハナイカ、斯ウ云フ意見モ多分ニアルノデアリマシテ、此ノ問題ニ付テハ色々私共ノ方デモ研究ヲ致シテ居リマシテ、金納ニスルト云フコトニナリマス、地主ガ保有米確保ノ爲ニ、小作地ノ返還ヲ請求スルヤウナ者ガ多クナリハシナイカ、或ハ又小作人ガ總メテ米ノ供出ヲスルト云フコトニナリマス、供出量ガ減少シハシナイカラ、或ハ金納ナル爲ニ小作料ノ増額ノヤウナ事柄ガアリハシナイカ、或ハ金納ニスルトニナルト云フ、小作人ガ收入ノ多イ作物ダケヲ栽培ヲスルト云フ風ニシテ、色々其處ニ綜合付計計畫ノ實行ニ主テ支障ガアリハシナイカ、或ハ地主小作人ノ關係ヲ稀薄ニサセハシナイカトカ、色々シナガラ結局米價ノ改訂スルコトニナリマシタナラバ、其ノ米價ガ上ツタ爲

ニ努力シテ居ル者ノ手ニ、其ノ改訂セラレタモノガ落チルヤウニシテ行カナケレバナラヌノデアリマス、現在金納小作料ハ、是ハ地ニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、代金納ノモノモ相當アルヤウナ點デアリマスガ、是等ハ米價ノ改訂ノ問題ノ時、能ク一ツ考ヘテ參リタイト思フノデアリマスガ、長イ間ノ小作農行ヲ一過ニ改メルト云フコトニナリマス、地主小作人ノ間ニ色々イザコザガ多クナリマシテ、戰時下食糧増産ニ邁進シナケレバナラナイ場合ニ色々支障ガ起ルト云フコト

ニ付テハ、是ハ十分考慮運ラサナケレバナラナイ點デアリマス、要スルニ米價ノ改訂ヲ致シマシタ場合ニ、其ノ改訂ノ利得ト云フモノガ、實際ニ生産經營ニ努力シテ居ル所ノ耕作者ノ手ニ、十分落チルヤウニト云フコトニ付テ考慮シテ參リタイト考ヘデアリマス

○本村(書)委員、只今政府委員ノ御答辯大體ヲ承致シマシタガ、ヤハリ私モ生産者ノ中心ニシテ小作料ノ改訂ガシテ欲シイ、併シ一而現在ノ物價其ノ他カラ考ヘテ、地主ノ生活苦ト云フモノモ相當考ヘテ實ヒタイト云フコトヲ附加ヘテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

ソレカラ今一ツハ耕地ノ交換分合デアリマスガ、耕地整理組合法ノ一部分ヲ改正致シマシテ、モツ法的ノ根據ヲ以テ耕地ノ交換分合ヲスル必要ガアリデヤナイカト思ヒマスガ、ソレニ對シマシテ如何デアリマス

○西村政府委員、耕地ノ交換分合ハ農村ノ勢力ノ逼迫シテ居ル折柄ニ於キマシテハ、即座ニ效果ヲ發揮スル方策デアリマシテ、非常ニ端マシイ事柄デアリコトハ御説ノ通りデアリマス、耕地整理ヲ行ヒマシタリ、或ハ土地改良、或ハ農道ヲ敷設スルヤウナ場合ニ於キマシテハ、交換分合ガ相當積極的ニ行ハレノデアリマスガ、其ノ他ノ場合ニ於キマシテ交換分合ヲアルト云フコトハ、若干ノ助成金ヲ交付シテヤツテ居リマスケレドモ、比較的進捗狀況ガ思ハシクナイ所ガ多イノデアリマス、之ニ對シテ法律的ノ根據ヲ與ヘテ強制的ニ交換分合ヲスルト云フコトモ一ツノ考ヘ方デアリマス、實情ニ於キマシテハ、農業經營ノ中心人物デアル一家ノ男子ハソレノ第一線ニ出テ居ル

ト云フヤウナ狀態デアリマシテ、所有權ノ問題デハナイノデアリマスケレドモ、耕作權ノ關係ヲ個々ニ交換ヲスルト云フコトニ付テ、中々話ガ纏マラナイ實情ガ實際ニ於テアルノデアリマシテ、之ニ法制的ノ根據ヲ與ヘマスナラバ、ソレニ依ツテ促進ヲスルト云フモノモ相當アリマスケレドモ、同時ニ又或ル程度無理ノ掛ルト云フ點モ相當ニアルノデアリマシテ、之ニ付テハモウ少シ研究ヲ致シマシテ、無理ノナイヤウニシテ交換分合ガ促進ノ出來ルヤウニ、經濟的助成等ノ問題モモウ少シ積極的ニ考ヘテ行クヲラドウカ、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマシテ、町村長或ハ地方ノ有力者ガ能ク地方ヲ纏メテヤツテ與レタ場合ニ於キマシテハ、隨分效果ノ見ルベキモノガアルノデアリマスガ、中々氣分ノ揃ハナイ所ヲ無理ニヤルト云フコトニ付テハ、餘程考慮ヲ運ラサナケレバナラヌト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○本村(書)委員、土地問題ハソレ位ニ致シマシテ、供出ノ問題ヲ伺ヒタイノデアリマス、是ハ供出デアリマスガ、農村ノ使命ト致シマシテ、増産ヲスルコトソレ自體ガ主體デハナイノデアリマシテ、増産ヲ致シマシタモノヲ國家ノ要請ニ即應シマス自給計畫ヲ立テル爲ノ供出ヲスル事柄ガ、本來ノ使命デアルト考ヘテ居リマス、ソコデ現在ノ供出ノ仕方ヲ考ヘテ見マス、動モスルト取ラレルト云フヤウナ考ヘ方、是ハ義務制デナイヤウナ考ヘ方ガ多分ニアルヤウニ思フノデアリマス、隨テ此ノ際政府ハ國民ノ三大義務トシテ居リマス兵役、納税ト云フヤウナ關係以外ニ、供出、貯蓄ト云フヤウナ問題モ三大義務ニ含メラテ五大義務位ナ關係ニ

於テ、之ヲ義務付ケテ行クコト云フ事柄ガ當然デアラウト考ヘテ居リマスガ、斯ウ云ツタ問題ニ對シマシテ、少クとも是ハ政府ノ大方針ト致シマシテ義務制付ケル、國民ノ義務デアルト云フ考ヘ方ヲ持タシテ行クノガ宜イデハナイカト思ヒマスガ、之ニ對シマシテ如何デゴザイマス

○湯河政府委員、今ノ主要食糧ノ供出ハ、今日法律上ハ農家ガ供出スル義務ヲ背負ツテ居ラヌコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是ハ長イ沿革上、農家ノ米ノ販賣ト云フコトガ斯ウ云フ形ニ變ツテ來タノデゴザイマシテ、マダ今ノ御話ノヤウニ地方デハ、サウ云フ自由主義經濟的ノ觀念カラ脱却シテ居ラナイノカモ知ラセマスガ、一面此ノ數年供出ガ非常ニ強化サレテ參リマシタノ件ヒマシテ、是ハサウ農家ニシテハ供出責任ヲ背負ツテ居ルハダト云フコトヲ漸次明白ニシテ來テハ居リマス、併シ御指摘ノヤウニ増産シタ結果ハ、是ハ國ノ爲ニ捧ゲルンダト云フ風ナ精神の方面ヲ強調致シマシテ、國民ノ納税、兵役等ノ義務ト對立シタ國民ノ義務デアルト云フ風ナコトヲ強調致シマスルコトハ、是ハ主要食糧ノ供出ヲ指導致シマスル上ニ於キマシテ、洵ニ結構ナコトト思フノデアリマス、及バズナガラ只今木村サンノ仰セノヤウナ趣旨ヲ以テマシテ、指導ヲ致シテ居ル積リデゴザイマスガ、又地方ニ依リマスルトサウ云フコトマデ現ニヤツテ居ラツシャル方ガ居ラレル、今後モ御趣旨ノヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○本村(書)委員、ソコデ大體政府ガ八〇%出シタ場合ニハ幾ラノ報獎金ヲ出ス、九〇%以上ニハドウト、サウ云ツ

考へ方が私に問違つて居るノデハナ
イカト思フ、少クモ義務制トシテ之
ヲ出サナクチャナラナイト云フ責任ガ
アルナラバ、百「パーセント」出スノガ
當然デアル、ソレニモ拘ラズハ〇%九
〇%出シタル者ニ之ヲ出スト云フコトニ
ナレバ、ソレデケ出シタラ宜イデハナ
イカト云フ農民ノ氣持が起キテ來ルヤ
ウナ傾向ガ多分ニアルノデアリマス、
最早供出ト云フモノハ當然アルベキ姿
デアルノデアリマス、百「パーセント」
以上ヲ出スト云フコトヲ限度トシテ、
ソレニ達シタラバ斯ウシテ上ゲタイ
ト云フ考へ方デ行ク方ガ宜シイノデハ
ナイカト思ヒマスガ、ソレニ對スル御意
見ト、ソレカラ斯ウ云ツタ供出問題ハ
少クモ恒久的の考へ方ヲ以テ地方ノ檢
定致シマシテ、其ノ地方ニ應ジテ此ノ
土地ハ何處デアルト云フ事情ガ、直接
國家ニ直結スルヤウナ形ニ於テ、上納
米制度ニ持ツテ行クコトノ方ガ、却テ
農民ノ供出ニ對スル意欲ト云フモノガ
出ルノデハナイカト思ヒマスガ、之ニ
對シマシテハ如何デゴザイマス、カ

中々供出ガキツクナツテ來テ居リマス
ノデ、九〇%、八〇%ト云フ所ガ中々
出シニキイト云フ事實モアリマス、現
ニ米ノ報獎金等ニ付キマシテハ、報奨
金獎勵ト云フ意味ヲ兼セマシテ、百
「パーセント」ニ至ラシムル爲ノ獎勵
云フヤウナ考へ方ヲ取入レタコトモゴザ
イマス、併シ何ニ致シマシテモ斯ウ云
フ窮乏ナ事情デゴザイマスノデ、國民
ノ自覺が鮮明ニナリマスナラバ、百
「パーセント」ヲ突破スルコトヲ目標ト
シテ努力シテ戴クヤウニ我々ガ指導ス
ルノハ當然デアリマス、御趣旨ノ點ハ
將來ノ問題トシテ十分考へルヤウニ致
シタイト思ヒマス、ソレカラ供出ガ均
衡ヲ得、又合理的の二點ミマスルヤウニ
十分地方等ノ檢定シテ、而モ供出ニ付
キマシテ安定シタ状態ヲ作り出ス爲
ニ、舊曆時代等ニゴザイマシタ上納米
のナ制度ニ之ヲ直スコトハ如何カト云
フ御話ハ、一應御尤モノヤウニモ存ゼ
ラレマス、大體比ノ數年米ニ付キマシ
テハ、略、四千萬石ト云フノガ供出額
當ノ總計ニナツテ居リマス、併シナガ
ラ我々ト致シマシテハ、到底自給計畫
上ニ是デ足リル譯デハゴザイマス、願
クハモツト多ク出シテ戴キマシテ、願
念願モゴザイマス、麥、粟等ニ付キマ
シテハ、是非非常ニ事情ガ動イテ居リ
マスノデ、只今供出額當量ヲ總量トシ
テ、個々ノ農家ノ供出量ヲ安定サセル
コトガ出來ナイ、マダ上昇傾向ヲ辿ツテ
居ルヤウナ時期デゴザイマス、上納米
ト云フヤウナ制度ハ、此ノ面カラ若干
考慮ヲ要スルト云フ風ナ感ジガゴザイ
マス、他面モウツ問題ハ、地方或ハ
土地反別ト云フヤウナ形ニ於テ其ノ供
出義務ヲ決定致シマスコトハ、便宜上
好イヤウデハゴザイマスガ、今ノ管理

制度上ノ考へ方トシテハ、個々ノ農家
ノ經濟生活ト云フモノモ考へマシテ、
當初ハ自家保有米制度ト云フヤウナモ
ノモ考へ、現ニ此ノ思想ハ殘ツテ居ル
ノデゴザイマス、尙ホ此ノ外ニ農家ガ
畑ヲ作ツテ居ツテ、他ニ食ハサウ云フモ
ナラバ、供出ハ強イ、或ハサウ云フモ
ノガナイ所ノ供出ハ若干考慮スル、斯
ウ云フ風ナ意味デ農家經濟ト、或ハ進
ンデ農業經營ノ状態、機械ノ多イ所、
或ハ畜力ノ足ラザルモノ等ノ區別ヲ考
ヘル必要ガアリハシナイカト考へテ居
リマス、地方本位ノ考へ方ハサウ云フ
點カラモウ一度考へテ見タイト思ヒマ
ス

〇本村(實)委員 今ノ上納米制度ノ問
題ハ、私ハ是ハヤリヤウニ依ツテハ却
テ餘計出ルノデヤナイカ、ソレハ地方
ヲ檢定致シマシテ、其ノ地方ニ應ジテ
之ニ割當ヲ致シマシテ、ソレ以上獲ツ
タナラバ如何ニ處理シテモ宜シイト云
フコトデアリマス、最初カラ増産
意欲ガ出ルト考へルノデアリマス、今
マデハ農村ノ人ハ米ガ獲レタト云フコ
トヲ誇リニシテ居リマシタノガ、供出
制度ガ出來タ爲ニ却テ獲レナイ、ト
云フヤウニナツタノヲ、今一度割當
ヲ適正ニシテ、自分ノ家ノ米ガ澤山獲
レタ、薩摩幸ガ澤山獲レタト云フコト
ヲ他ニ公表スルヤウニ、割當制度ヲ持
ツテ行クコトガ宜イデハナイカト思ヒ
マスガ、ソレニ對スル御考慮ヲ願ヒタ
イ、ソレカラ少クモ町村長、農業會
長トスレバ、割當テラレタ其ノ數量ハ
斷ジテ之ヲ出ス、自分ノ責任ニ於テ必
ズ出スト云フ決意ハ多分ニアラウト思
ヒマス、隨テ農民ニ對シテモソレヲ徹
底サセルナラバ、農家モ、宜シイ、ソ
レハ出シマセウ、割當テラレタ數量

ハ、自分ノ家ガ食ヘヤウガ食ヘマイガ
出スト云フノガ國民の義務デアリマ
ス、サウ云フ場合ニ於テ町村長ハ出
シタ後ニ於テノ農民ノ生活ノ安定、生活
ノ責任ヲ持ツ必要ガアラウト考へマ
ス、併シ出シタ後ニ米ガ還元ヲサレ
場合ニ於テハ、地方事務所或ハ縣廳ニ
町村長ガ手ヲ突イテ行カナレバ、是
ハ中々面倒ナ場合ガアリマスノデ、ソ
コデハ町村長ガ責任ヲ持ツテ出スト
云フ反面ニ於キマシテ、農民ノ生活ノ
安定ト各部落間ニ於キマス「アン・パ
ランス」ノ調整ヲ取ル爲ニ、少クモ
町村長ニ供出シタ米ニ對シ、一定量ノ
操作米ヲ與ヘテ、町村長ノ責任ニ於テ
操作サセル必要ガアルデヤナイカト思
ヒマス、ソレガ出來レバ非常ニ是ハ實
任出荷スル場合ニ於テ宜シイト思ヒ
マスガ、是ハ如何デゴザイマス、カ

〇湯河政府委員 只今ノ御話ノ地方ノ
實情ニ於キマシテハ、御指摘ノヤウナ
コトガ望マシイト云フコトガアルト思
ヒマス、併シ一面食糧管理ヲシテ參リ
マス上カラ致シマス、今ノ御話ノコ
トハ、還元配給ヲ實施スルト云フコト
ニナルノデアリマシタ、此ノコトハ供
出ノヤリ方トシテハ洵ニ拙劣デアル、
割當ノ結果カラ考へ違ヒガアツテ、サ
ウ云フコトニナルノデハナイカト思ヒ
マス、政府ト致シマシテハ、還元配給
ヲスルト云フコトニ付テハ、建前上之
ヲ認メナイト云フ考へ方ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、町村長ノ供出指導上ノ
處置ト致シマシテハ、願クバ供出ノ割
當ヲ適正ニシテ戴キマシテ、サウシテ
只今ノ御話ノヤウナコトノ起リナイヤ
ウニシテ行クコトガ第一デアリマス、
萬一個々ノ供出ノ後ニ豫期セザル事情
ノ變更等ガゴザイマシテ、還元配給ヲ

スルト云フコトハ、是ハ具體的ナ問題
ニ依ツテ考へラレルト思ヒマス、當然
供出ノヤリ方ヲ調整スル意味ニ於キマ
シテノ操作米ガ必要デアルトハ、御
説ノ通りデアリマス

〇本村(實)委員 其ノ供出ノ問題デ、
還元配給ヲシナイト云フ原則ハ分ツテ
居リマス、ソレカラ供出ヲ適正ニ割當
シテ行クト云フヤウナコトヲ還元配給
ノ問題ハ、其ノ割當ガ愚劣デアルト云
フコトモ能ク分リマスガ、他面考へテ
見マス、各府縣別ノ供出ニ對シマス
ル不均衡ガアル爲ニ、隨テソレガ各郡
各町村內ニ於テ、又今マデノ統計カラ
來ル不均衡ガアル、其ノ爲ニ愚劣デハ
ナイケレドモ、割當ガ強化サレテ出テ
來ル場合ガ相當ニアルト思ヒマス、隨
テソレノ改正ヲシナイデ、割當ガ愚劣
デアルカラ町村長ノ責任ダト云フヤウ
ニ申サレルト云フト、私ハ町村長ハ居
堪マレナクナルト思ヒマスノデ、此ノ
點ハ各府縣ノ不均衡ヲ是正スル意思ヲ
持ツテ居ラレカドウカ、又隨テ其ノ
地方ノ檢定カラ適正ナル割當ガ出來ル
ヤウナ所マデ、政府ガ踏込ンデヤラナ
ケレバナラヌト思フノデマスガ、如何デ
ゴザイマス、カ

〇湯河政府委員 只今ノ申上ゲ方ガ愚カ
ツカモ分カレマセウガ、ソレハ非常
ニ難カシイ問題ナノデアリマス、恐ラ
ク只今御質問ノ點ハ、府縣間ニ於ケル
供出割當ニ不均衡ガアル、故ニ末端ニ
マデソレガ波及スルノダト云フコトデ
セウガ、サウ云フ本ハ即チ中央ノ農商
省ガ作ツテ居ル譯デアリマス、若
シサウ云フモノガアレバ飽クマデ我々
トシテハ是正ヲシテ參リタイト考へテ
居リマス、年々ノ府縣別供出割當量ハ
相當慎重ニ考へテ計算シテ居リマスノ

デ、今後モ此ノ態度ヲ持續シテ参リタ
イト思ヒマス、尙ホ地力ト生産力ト云
フヤウナモノモ、供出割當ノ標準ニ致
シマスコトハ、生産上尙ニ適當ナコト
デアリマス、幸ヒ農政局ノ所管ニ於キ
マシテ、耕地ノ地力ニ關スル調査ヲ全
國的ニ今年施行スルコトニナツテ府リ
マスカラ、ソレ等ノ結果ハ十分供出ノ
際ニ採入レテ、御指撥ノヤウナコトノ
ナイヤウニ致シタイと思ヒマス

○本村(實)委員 本年全國的ニ地力檢
定ヲスルト云フノデアリマスガ、是等
細ナ地力檢定ヲスルト云フヤウナ所マ
デ行ツテ居ラヌト思ヒマス、ソコデモ
ツト突込シテハ實ニ思ヒタイ云フコ
ト、今一ツハ供出ノ割當ヲ受ケマシ
テ、百パーセント以上ニ是ガ町村ニ
於テ出ル場合ガアルト思ヒマス、町村
長ガ一ハ是ハ縣デモ町デモサウダラ
ウト思ヒマスガ、國カラ割當テラレ
タモノ、或ハ縣カラ割當テラレタ數
以上ニ、各府縣ナリ各町村邊リデ割當
ガ出ヨウト思ヒマス、斯ウ云ツタモノ
ヲ農家デ出シタ場合ニ於テハ、百パー
セント以上ノ供出割當ノ中ニ入レ
ナ、國ガ報奨金其ノ他ニ付テモ考慮シ
テ裁ケレバ大變宜シイト思ヒマスガ、
ソレニ對シマシテ御意見ヲ聽カセテ數
キタイコトト、供出ヲ致シマシタ殘
リ一今年ハ縣邊ガ澤山出テ來ルト思ヒ
マスガ、サウ云ツタモノノ對シマシ
テ、或ハ自由取引モアリマセウガ、ソ
レヲ農家會或ハ村ノ統制ニ依ツテ出荷
ヲ致シタ場合ニ於キマシテハ、是モ供
出ト同ジヤウナ形ニ於テ取扱ツテ實ニ
タイト思ヒマスガ、如何デゴザイマス
カ

○湯河政府委員 第一ノ御話ハ國ノ割
當基準量ヲ維持ノ基準ニ致シテ府リマ
スガ、ソレ以上ニ地方農産町村長ガ水増
シタモノハ當然報奨ノ範圍ニ入リマ
ス、第二ノ御話ノ取引ノ自由ヲ認メテ
府リマスハ、之ニ付テハ報奨ハゴザ
イマセヌ、差遣ヲ自由取引ノ分ヲ決
出ノ報奨制度ニ付ケルト云フコトハ、
一寸難カシイト思ヒマス

○本村(實)委員 第一ノ問題ハ考慮ニ
入ツテ府リマスガ

○湯河政府委員 入ツテ府リマス

○本村(實)委員 私ハ是デ宜シウゴザ
イマス

○高橋委員長 吉田君

○吉田(實)委員 報奨制度ニ付テ一寸
一點伺ヒマス、去年御決メニナツタ報
奨制度ハ各方面カラ論議サレルヤウ
ニ、金錢偏重ノ弊ガ多分ニアルト思ヒ
マス、是ハ色々ナ關係ニ於テ農民ノ倫
理的ナ思想ノ上ニモ思ハシクナイト思
ヒマスガ、其ノ改善方策トシテ斯ウ云
フコトナサツテハ如何デアリマスガ、
良好ナ供出ニ對シテハ個人若シタハ都
落等ノ或ル範圍ニ向ツテ、衣料等ノ生
活資料ヲ給與スト云フ方法ヲ執ツテハ
如何デアリマスガ、衣料ハサウデナク
テモ少イト云フ點ガ一面アリマスケレ
ドモ、全國民ガ食糧ノ供出ニ協力スル
ト云フ途前ヲ取リマシテ、色々ナ機關
ヲ動員シテ、死藏シテ居リマス衣料品
ヲ供出サス、サウ云フコトニ致シマス
ト少クトモ一年位ハ賄ヘルノデハナイ
カト思ヒマスガ、如何デアリマスガ

○湯河政府委員 報奨制度ノ金ニ代ヘ
マシテ、何カ生活資料ヲ云フ御話デ
アリマシタガ、色々ナ資料ノ數量等ノ間
題モアリマスシ、又ヤリ方等モアリマ
スカラ、十分研究シテ見タイト思ヒマ
ス

○吉田(實)委員 生産ノ責任態勢確立
ス

ノ問題デアリマスガ、是ハ斯ウ云フコ
トニ一ツノ問題ガアルト思ヒマスノデ
伺ヒタイノデアリマス、今ノ責任態
勢ノ途方ガ、折角國デ方針ヲ立テテ
數量ヲ決メテ府縣ヤ村ニ割當テル、是
ガドウモ未端ニ參リマスト實情ニ即シ
ナイト云フコトガ随分アリマスカラ、
寧ろ一番末端ヲ基本ニシテ上ニ持ツテ
行クト云フコトニ、根本ノ考ヘ方、構
想ノ仕方ヲ持ツテ行クノハ如何デズ
カ、ソレナラソレヲドウスレバ宜イカ
ト云フコトニナリマス、種々方法ハ
考ヘラレマセウガ、此ノ點ニ付テ伺ヒ
マス

○高橋委員長 吉田君
○吉田(實)委員 報奨制度ニ付テ一寸
一點伺ヒマス、去年御決メニナツタ報
奨制度ハ各方面カラ論議サレルヤウ
ニ、金錢偏重ノ弊ガ多分ニアルト思ヒ
マス、是ハ色々ナ關係ニ於テ農民ノ倫
理的ナ思想ノ上ニモ思ハシクナイト思
ヒマスガ、其ノ改善方策トシテ斯ウ云
フコトナサツテハ如何デアリマスガ、
良好ナ供出ニ對シテハ個人若シタハ都
落等ノ或ル範圍ニ向ツテ、衣料等ノ生
活資料ヲ給與スト云フ方法ヲ執ツテハ
如何デアリマスガ、衣料ハサウデナク
テモ少イト云フ點ガ一面アリマスケレ
ドモ、全國民ガ食糧ノ供出ニ協力スル
ト云フ途前ヲ取リマシテ、色々ナ機關
ヲ動員シテ、死藏シテ居リマス衣料品
ヲ供出サス、サウ云フコトニ致シマス
ト少クトモ一年位ハ賄ヘルノデハナイ
カト思ヒマスガ、如何デアリマスガ

○湯河政府委員 報奨制度ノ金ニ代ヘ
マシテ、何カ生活資料ヲ云フ御話デ
アリマシタガ、色々ナ資料ノ數量等ノ間
題モアリマスシ、又ヤリ方等モアリマ
スカラ、十分研究シテ見タイト思ヒマ
ス

イ、斯樣ナコトニナリマスノデ、國カラ
モソレハ、府縣ニ割當リ、府縣カラ市
町村ニ割當リマスケレドモ、實際問
題ハ、御話ノヤウニ農業者等ガ中心ニ
ナリマシテ、自分ノ村デドレカノ生
産アルカト云フ生産計畫ヲ立テテ、國
カラ府縣、市町村ト下サレタモノト
觀ミ合セニ依リマシテ行クコト
ニナツテ居ルノデアリマス、唯兩ノ方
ガ先ニ天降的ニ行キマシテ、後デソ
レヲ地方ノ方カラ希望デ直ス、斯ウ
云フ風ニナリマスノデ、御話ノヤウニ
地方ガ本當ニ「イニシアテイヴ」ヲ取
ツタノダト云フ形ニナラナイ爲ニ生産
責任ガ進マナイ、斯ウ云フ點ガアルト
思ヒマスガ、ソレ等ハ一ツ御話ノヤウ
ニ、早期ニ地方ニ於テ色々計畫ヲ立
テテ其ノ上ニ國カラ要求ト觀ミ合セ
テ、或ハ五分トカ一割トカ云フ生産増
ヲシテ實ハナカレバナラヌコトニナル
ガト思ヒマスケレドモ、其ノ點ハ農民
ノ本當ノ「イニシアテイヴ」ヲ十分活カ
スヤウニ今後考ヘテ参リタイト思ヒマ
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

○湯河政府委員 責任態勢確立
ス

リ何程ノ男農務力ヲ確保シナケレバ
ナラヌカト云フコトニ付テ、相當ハツ
キリシテ御方針ヲ以テ行カレバベキデ
ハナイカト思ヒマス、是ハ二月或ハ三
月ニ對シテ壯年ノ男農務員ガ必ズ一
人確保サレナケレバナラヌ、斯ウ云フ
ヤウナ目安付ケルベキデヤナイカト
思ヒマスガ、其ノ邊ノ構想ニ對シテハ
如何デアリマスカ

○西村政府委員 現在ノ農村ノ勞務事
情カラ見マスル、御話ノヤウニ一人
前ノ男子ト云フモノガ非常ニ少クナツ
テ來テ居ルノデアリマシテ、全額ノ五
十歳未満ノ在郷軍人ノ農村ニ居ル者ノ
數等ハ中上デアルコトハ困難デアリマス
ケレドモ、大體五、六軒ニ一人トカ、
七、八軒ニ一人ト云フヤウナコトニナ
リマシテ、ソレ以外ノ若ハ、假令男
アリマシテモ、五十五歳以上ノ者或ハ
十四、五歳未満ノ者、斯ウ云フヤウナ
コトニナツテ居ル者デアリマシテ、現
在御承知ノヤウニ農村ニ於テハ倭ヲ
メルノニ女ガ多クテ男ガナクテ困ル
コト云フヤウナ實情デアリマシテ、女子
供ガ隨分男ノ代リニ働イテ實ツテ居
リマスケレドモ、倭ヲ補メルト云フヤウ
ナコトハ、是ハ一人前ノ男デナケレバ
出來ナイヤウナ事情デアリマスシ、又
物ヲ運搬スル場合ニ於キマシテモ、御
承知ノヤウニ十五、六歳ガ單位デアリ
マスガ、之ヲ屬ノ上マデ上ゲルノハ一
人前ノ男デナケレバ出來ナイ譯デアリ
マス、隨テ五、六軒ニ一人ノ男ガ居
テ、之ヲ屬ノ上ニ載セテヤレバ女子
供モ運搬ガ出來ル、斯ウ云フヤウナ實
情ニナツテ居ルノデアリマス、隨ヒマ
シテ御話ノヤウニ向フ三軒兩隣ニハ必
ズ相當ノ男ガ一人殘ルヤウニシテ、應
其ノ他ノ關係ニ付テモ十分考慮ヲシテ

アリマスガ、積極的ナ御意圖御方針ガ
アリマシタラ是非承リタイ
○西村政府委員 農業勞務ノ關係ハ、
工場等ニ於ケル勞務ト違ヒマシテ、計
畫的ニ之ヲ動カスコトガ非常ニ困難ナ
コトハ御承知ノ通りデアリマスガ、サ
ウカト云ツテ其ノ計畫ガ遅レテ居ルガ
爲ニ、農村ノ勞務ガ無計畫ニ各方面
ニ流出シテ居ルコト云フヤウナ狀態デア
リマシテ、餘程前カラ町村長、農業會
長ヲ中心ト致シマシテ、其ノ町村ノ勞
計畫ヲ立テテ、其ノ間ノ移動、能率増
進等ヲ考ヘテ居ルノデアリマスケレド
モ、マダ其ノ點ニ付テハ不徹底ナ
點ガ非常ニ多ク思フノデアリマシ
テ、今後ハ町村毎ノ時期的ノ勞務ノ計
畫、又其ノ地方ノ郡單位ニ於テノ融通
ノ關係、又其ノ縣全體トシテノ關係ナ
リ、斯ウ云フヤウナ方面ニ付テモ動
積極的ニ計畫ヲ立テテ、學徒ノ通年
員等ニ致シマシテモ、結局農業會等ガ
中心ニナリマシテ、單ニ農業界ハカリ
デナク、年々通ジテ農業勞務ヲ巨ク融
通ヲシ、能率ヲ上ゲルヤウナ計畫ヲ立
テナケレバ、結局農業問題ハ片付カ
ナイと思ツテ居ルノデアリマシテ、今後
一層其ノ方面ニ計畫ヲ具體的ニ進メテ
參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、尿
尿ノ問題ハ、御話ノヤウニ肥料運搬
折損非常ニ大キナ問題デアリノデアリ
マスガ、東京、大阪等ノ大都市ニ於
キマシテ、大阪ノ方ハ大體六割程度
モノガ附近ノ農村ニ還元セラレテ居
ルコト云フヤウナ譯デアリマスガ、東
ノ方ハ大體三割程度ノモノシカ最近
デハ農村ニ利用サレテナイ、斯ウ云フ
ヤウナ實情デアリマシテ、昨年來東京
都トモ連絡ヲ取りマシテ、尿尿ノ運

搬、搬送、貯藏等ノコトヲ相當計畫的
ニ進メテ參リマシテ、輸送ノ機關ナ
リ、又油ノ問題等ニ付テハ政府ノ方デ
モ積極的ニ考ヘテ居ルノデアリマシ
テ、餘程利用サレルヤウニハナツテ居
リマスケレドモ、マダ其ノ點ニ付テハ
點ガアルノデアリマス、今後此ノ尿尿
ノ問題ハ、其ノ都市ノ供給國內ニ於ケ
ル特ニ蔬菜ノ増産等ニハドウシテモナ
クテヤナラヌモノデアリマスノデ、東
京都トモ連絡ヲ取りマシテ積極的ニ一
ツヤツテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居
マス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 ソレカラ、同じ面ノ
問題デアリマスガ、地方ニ依リマシテ
ハ村長ガ全村民ヲ完全ニ掌握致シマシ
テ、機動的ニ勞力ヲ活用スルコトニ依
リテ、例ヘバ木材ノ供出ニシテモ、炭
ノ供出ニ致シマシテモ、老幼男女全員
ヲ巧ク使ツテ行クコト云フヤウナ方
ガ、隨分最近出テ參ツタヤウデアリマ
スガ、是非非常ニ面白イ傾向デアリマ
ス、詰リ全村ノ全勞力ヲ機動的ニ活用
スル、斯ウ云フ面ニ於テ更ニ積極的ナ
御指導ガアツテ戴キタイ、斯ウ思フ
デアリマスガ、之ニ付テ何カ伺ヘレバ同
ツテ見タイト思ヒマス、ソレカラ、サ
ウシテ尿尿問題ハ此ノ際解決シタイ
思ヒマス、是ハ前ノ議會デ論議サレタ
ノデアリマスガ、肥料運搬ノ今日、此
ノ問題ハ一ツ今年アタリ徹底的ニ解決
シタラドウカ、大都市ニ於キマシテモ
蔬菜園ノ設定ナカデ、隨分喧マシク
蔬菜ノコトヲ言ツテ居ルガ、ヤハリ尿
尿問題ニ付テハ解決ヲ見テ居リマセ
ス、是ハハマア千五百萬ノ人口ニスル
ト、我々ノ計算ニ依リマシテモ確安換
算ニシタラ十四、五萬トシテモニナ
ル譯デアリマス、此ノ面カラシマシテ
モ非常ニ重大ナ問題デアリマスシ、此
問題ヲ解決シナイト、ヤハリ蔬菜園ノ
本當ノ育成ハ出來マセヌ、是ハ何トカ
解決策ガアツテ然ルベキデト思フノデ

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

○高橋委員 吉田君ニ御相談致シマ
スガ、時間モ經テマシス、他ニ要求
ノ政府委員モマダ御出席シナイ方モアリ
マスガ、成ベク簡潔ニ御質問ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○吉田(寛)委員 尿尿ノ農村完全還元
ノ障礙ニ付キマシテハ、政府ノ御意圖
ヲ各方面トモ一致スル必要ガアルノデ
アリマス、例ヘバ東京都或ハ何ハ市
デケノ關係デナクシテ、私設電線關係
等、軌道や鐵道ノ方面ノ關係、或ハ運
通省アタリノ自動車ノ關係、ソレニ對
スル資材ノ關係、溜池ノ資材ノ關係等
等ガアリマスノデ、必ズ政府ノ御意圖
ヲ一致サシテ、積極的ニヤツテ努力
ト中心ニ解決シナイ思ヒマス、此ノ大
キナ問題ガ解決シナイ痛ハサウ云フ所
ニアツテ、未ダニ行キ難ンデ居ルと思
ヒマス

付キマシテハ、然則御同感デゴザイマス、只今色々御例示戴キマシタモノナドモソレハ、事情ハゴザイマセウガ、可能デアリマスレバ出来ルダケウ云フ處置ヲ執ツテ参リタイト考ヘマテ、丁度未利用資源ノ利用開發ノコトニ付キマシテハ、生活物資局長ノ御所管デ、色々御研究ガゴザイマスノデ、生活物資局長カラ御答辯ガアラウト存ジマスガ、爾ノ粉食ノコトニ付キマシテ、相當大抵ニ甘糖ガ出来ルカラ、之ヲ切干ニシテ粉食ニシテ宜イデヤナイカト云フ御提案デアリマス、爾ノ食料化スルニ付キマシテハ、出来ルダケ生食フコトガ一番宜シイコトデアリマスガ、昨送貯蔵等ノ關係カラ、相當切干ニシタイトハ考ヘテ居リマス、サリナガラソレモ努力等ノ關係モゴザイマシテ、サウヤタラ、大キナモノヲ之ニ依ツテ期待スルコトハ出来ナイト思ヒマス、爾ノ増産ハ一面ニ於テ燃料トスルノデアリマスガ、他ノ一面ニ於テキマシテ有力ナル主要食糧ノ補填給源デゴザイマスノデ、是ノ處置ニ付キマシテハ出来ル限リ御意ノヤウナコトモ考ヘテ参リタイト思ツテ居リマス

○田中(省)政府委員 甘糖ノ產ヲ集メマシテ、製粉ラシテ或ハ「パン」トカ、餡トカノ粉ノ増産トシテ用ヒマスコトハ、洵ニ適切ナル方法デアルト存ジマス、實ハ昨年モ相當量各府縣ニ、又各府縣農業會ニ御依頼シテ實施ラ致シタノデアリマシテ、今其ノ製粉中デアアルノデアリマス、御話ノ如ク、養分肥料トシテ其ノ土地ニ或ル部分還元致サナケレバナリマセヌシ、又家畜ノ飼料ニモシナケレバナリマセヌ、ソレ等ト相混ミ合セテ相當量ノ粉食ノ原料ニスルト云フコトハ、將來ニ於テモ益、續ケテヤツテ行キタイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○高橋委員 齋藤三君 ○齋藤(農)委員 本委員會ニハ農業問題ノ專門ノ先輩諸君ガ澤山委員ニナツテ居ラレマスノデ、私ハ別段是ゾトシテ御質問ヲ申上ゲルモノモナイノデアリマスガ、唯自分ノ體驗カラ此ノ決戰下ニ斯ウシタラバ増産ガ出来ルノデハナイカト云フ具體的ノ事實ニ限ツテ、簡單ニ御質問申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、決戰下ノ貴重ナ時間デアリマスカラ、御答辯モ極メテ簡潔ニ結構デアリマス、唯ヤルカヤラヌカラ此處デ御答辯願ツテ、ヤルト御答辯願ツタラ必ズソレヲ實行シテ戴ケレバ、ソレデ私ノ素志ハ貫徹スルノデアリマスカラ、ドウゾ之ヲ御諒承ノ上デ御答辯願ヒタイト思ヒマス

第一農政局長ニ御尋ネシタイノデアリマスガ、肥料ノ問題デアリマス、農政局長ノ肥料懇談會ニ於ケル御説明ヲ漏漏キマス、一、七間ノ配給量ト云フモノハ昨年ノ約半分ト承ツテ居リマスガ、此ノ化學肥料デ果シテ今年ノ食糧自給確保ト云フモノガ出来マスカ出来マセヌカ、此ノ見透シヲ一ツ承ツテ見タイト思ヒマス

○西村政府委員 化學肥料ハ御話ノヤウニ非常ニ減産ニナツテ居リマシテ、今年ノ一月カラ七月マデノ間ノ肥料ノ配給ハ、昨年ノ六割六分ト云フコトニナルデアリマス、之ニ對シテ堆肥等ノ増産ナリ色々方策ハ講ジテ居リマスルケレドモ、肥料ガ少クシテ、麥ノ増産ト云フコトハ中々困難デアリマス、本年ノ米ニ付キマシテハ此ノ議會ニ於テモ協賛ヲ願ツテ居リマスルガ、特ニ健苗、ソレカラ共同苗代ト云フモノヲ全

國一齊ニ徹底的ニヤリマシテ、其ノ生産ノ補助ニ當ツテ居リマスルガ、實際ノ問題ト致シマシテ、肥料ガ少クシテ増産ヲスルト云フコトハ中々困難デアリマスガ、極力ハハヤツテ参リタイト思ツテ居リマス

○齋藤(農)委員 此ノ金肥ノ減退ノ大キナ原因ト致シマシテハ、今疏安工場ノ設備ガモウ老廢ノ域ニ達シタト云フコトト、ソレカラ熟練工ガ應召等ニ依ツテ居ラナクナツタト云フコト、是等ガ大キナ原因トシテ擧ゲラレテ居ルノデアリマスケレドモ、之ニ對シテ相當ノ手ハ御打チニナツテ居ラレト思フノデアリマスガ、一體老廢ニ達シタ所ノ金肥製造會社ノ機械ト云フモノハ、今ノ日本ノ應急手當位デ其ノ製造率ヲ確保シテ行ケルモノデアリマスカ、ソレトモ此ノ繰返ツテ行キマス、ソレハ一、二年ノ間ニ更ニ段々減退スル虞ガアルノデアリマスカ、其ノ邊ノ見透シヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス

○西村政府委員 化學肥料ノ減産ノ原因ハ、御話ノヤウニ現在ノ肥料製造ノ設備ガ或ル程度老朽ニ達シタ爲ニ、之ヲ補修シナケレバナラヌノガ、其ノ補修費材ガ間ニ合ハナイト云フコトモ一ツノ原因デアリマス、又熟練工ガ應召其ノ他ノ關係デ非常ニ少クナツテ居ルト云フコトモ原因デアリマスガ、應召ノ熟練工ニ付キマシテハ昨年末對策ヲ講ジマシテ、コ、一、二年ノ間ニ應召ノ者ニ付テバ之ヲ誘導セシメルト云フヤウナ方策モソレハ、打ツタ譯デアリマス、尙ホ肥料ノ減産ノ原因ハ外ニモ實ハアルノデアリマシテ、是等ガ相當大キナ支障ニナツテ居リマス、併シナガラ是ト同時ニ疏安工場等モ新タニ擴充シタリ、新タニ設立シテ居ルモノ

モアルノデアリマシテ、ソレ等ノモノト混ミ合セマシテ、今後漸ク減退ノト見エハ努力致シテ居ルノデアリナイ、又補修費材ノ關係等モ、資材ガ間マシ、サウシテ其ノ機械ノ製造ガ間ニ合ハバ、立派ニ立直ルコトハ出来ルノデアリマス、所ガ是モ資材ハ或ル程度間ニ合ヒマシテモ、眞空管デアリマストカ、或ハ「チューブ」デアルトカ云フヤウナモノガ、何レモ軍需品ノ適合ヲ致シマシテ、普通ノ方法デ注文ヲ致シタノデハ、五年モ六年モ掛ルト云フヤウナ事情ナノデアリマス、是モ陸海軍ノ方ト連絡ヲ取リマシテ、軍需品ト同ジヤウナ取扱ヲスルト云フコトニ致シマシテ、極力今アル工場ノ補修ヲ間ニ合セテ行ケバ、相當ノ生産ノ維持モ出来マシシ、又設備ガ外ニ轉換セザルヲ得ナクナツタモノハ、新シク北海道或ハ九州地方ノ工場ノ擴充ニ依リマシテ、今後肥料ガ著シク減産ニナラナイヤウニ、又今減産ラシテ居ルモノハ、近い將來ニ於テ必ズ回復ヲスルヤウニト云フコトヲ、色々考ヘテ居ル次第デアリマス

○齋藤(農)委員 今年ノ一、七間ノ全肥配給量ハ、私ノ承ツテ居ル所デハ、昨年度ノ八割五分乃至四割五分位マデモ落チタ所ガアルンデヤナイカト思フノデアリマスガ、ドウカ一ツ將來ハ是レ以上金肥ノ配給量ノ減ラナイヤウニ、萬全ノ策ヲ講ジテ戴キタイト思フノデアリマス

モウ一ツ磷酸肥料デアリマスガ、私ノ聞イテ居リマス所ニ依リマス、麥ノ養分ヲヤリマシテモ、磷酸肥料ガ思フヤウニ入手出来ナイ今日、到底完熟ヲ期スル譯ニハ行カヌノデヤナイカ、結局東北地方ノ麥ノ養分ト云フモノ

ハ、大抵青刈ニナツテシマツテ馬糞位ニシカアラヌノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ言フ人ガアリマシテ、之ヲ恨レテ居ルノデアリマス、所ガ此ノ磷酸肥料ト云フモノハ、今日ノ狀態ニ於テハ殆ト全ク入手困難ナ狀態ニアルト思ハレノデアリマス、之ニ對シテ何等カノ策ヲ講ジナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、ドウ云フコトヲ御考ヘニナツニ居リマスカ、何か策ガアリマシタラ一ツ承リタイ

○西村政府委員 磷酸肥料ニ付テハ御話ノヤウニ、非常ニ入手困難ニナツテ居リマシテ、南方カラ参リマシタ磷酸肥料ノ原料ト云フモノハ、殆ト絶望ノ狀態デアリマス、之ニ對シマシテ考ヘラレマスルノハ、北支及ビ朝鮮方面ノ磷酸石ヲ内地ニ増送スルト云フコトデアリマシテ、是ハ各方面ノ輸送其ノ他ノ協力ニ依リマシテ、或ル程度ノ確保モ出来テ居リマシテ、併シ從來ノモノヲ補フト云フヤウナ譯ニハ全然参リマセヌ、尙ホ其ノ外ニ各方面ニアリマシタル小サイ島々ニ於テ、島糞ノ堆積致シテ居リマスルモノヲ採掘シテヤル、是ハ成分ハ悪イノデアリマスルケレドモ、北海道トカ、或ハ青森縣、京都府等ニ於ケル島ノ採掘ニモ當ツテ居リマスルケレドモ、是ハ其ノ地方ガ若干潤フダケデアリマシテ、之ヲ全部ニ配給スルト云フコトモ是レ亦困難デアリマス、麥ニ付テモ御話ノヤウニ過激ト云フモノガナケレバ當然ガ非常ニ困難デアリマシテ、之ニハドウシテモ堆肥ヲヤラナケレバナラヌノデアリマス、昨年來堆肥ニ非常ナ力ヲ注ギマシテ、堆肥ノ相當程度ヲ仕込ミマスルナラバ、麥ノ方ノ發熱ハ、左程困難ハナイ譯デアリマスルガ、全般的ニ見マシ

テ、堆肥が全部行渡ッテ居ルカドウカ
ト云フ點ハ色々考慮セラレテ居ルノデ
アリマスルガ、向ホ今後モ堆肥ノ問
題、麥ノ肥培管理ニ付テハ非常ナ力ヲ
注イデ居ルノデアリマス、今年ノ此ノ
天候ハ、日本ハ非常ニ雪ガ多イノデア
リマシテ、表日日本ノ方ハ雨ガ少イノ
デ、麥ニ付テモ雪ノ廣ガアルノデア
リマスガ、此ノ天候ハ非常ニ難作型ノ
天候デアリマシテ、斯様ニ天候ガ好イ
ノハ、麥ノ爲ニハ水ガ少イコトハ困リ
マスルケレドモ、根ノ方ハ相當濕ルヤ
ウナコトニモナリマスノデ、今年ノヤ
ウニ寒氣ガ早ク參リマシテ、今氣象
其ノ他ノ豫想ノヤウナ工合ニ、早ク暖カ
サガ參リマシテ、三、四月頃ニ相當雨
ガアルト云フコトニナリマス、麥作
ニハ非常ニ良イノデハナイカト考ヘテ
居リマスガ、要スルニ今後モ肥培管理
ト云フコトガ麥ノ收穫ニ非常ニ影響
及ボスヤウナ状態デアリマス

○農務(農)委員 堆肥肥料ハ勿論堆肥
ヲ穴ニ作リマシテ、而モ其ノ有效成
分ノ多イ堆肥ヲ澤山作ッテ、之ヲ麥ニ
施スト云フコトハ、是ハ誰シモ考ヘラ
レルコトデアリマスガ、私ハ農政局長
ニ一ツ新シク御願ヒラシテ置キタイコ
トハ、此ノ日本内地ノ何處カニ堆肥分ヲ
澤山合シテ所ノモノガアルカナイカト
云フ檢討デアリマス、是ハ私ノ経験カ
ラ申シマス、水成岩中ノ貝殻ノ積層
デアリマス、之ニハ堆肥分ヲ含シ居ル、
時ハ十二、三、非常ニ少イ時デモ
一、乃至二、三、堆肥分ヲ含シ居リマ
ス、而シテ石灰分ハ五、七、是ハ
堆肥ノ糞ニシテ五百度加熱シマシ
テ、粉末ニシテ斯ウ云フモノヲ堆肥ノ
中ヘブチ込シテヤリマス、此ノ堆肥
分ヲ補フ效果ト云フモノガ私ハ著シイ

モノダト思フ、而モ此ノ貝殻ノ積層ト
云フモノハ、日本ノ水成岩地帯ニ參リ
マス、各所ニ散見致シマス、斯ウ云
フモノニ一ツ徹底ノ調査ノ手ヲ伸バ
シマシテ、若シヤウ云フ適當ナルモノ
ガゴザイマシタナラバ、之ヲ開發シテ
堆肥ノ中ヘブチ込ムト、石灰分モゴザイ
マスシ、酸性土壤ヲ中和スル所ノ成分
モ非常ニ多分ニ持ツ、斯様ニ思フノデ
アリマスガ、斯ウ云フヤウナコトハ結
局農務省ノ綜合的ナ科學的ナ檢討ヲ總
テノ面ニ加ヘテ行カレバナラスノ
デハナイカト思フノデアリマシテ、斯
ウ云フ點ハ一ツ農政局長ノ英斷ニ依リ
マシテ、其ノ若イ素晴シイ頭デサウ云
フ考案ヲ御採リ下サイマシテ、若シヤ
ウ云フ地質調査ト云フヤウナモノガ、
農務省ノ手デ出來ナカッタナラバ、軍
需省ニ之ヲ持込シテ直ニ之ヲ全國的
ニ調査スルト云フヤウナ御考案ヲ御
願ヒ致シタイト思フノデアリマス、是
ハ別段御答辯ヲ要求シテ居ルノデハ
リマセ

○農務(農)委員 一寸齋藤君ニ御相談シ
マスガ、今厚生省カラ保官ガ御見エニ
ナツテ居ルノデスガ、吉田君ノ質疑ガ
殘ツテ居ルモノデスカラ、ソレヲ此ノ
場合ヤラシテ戴ケバ都合ガ好イと思
ヒマス

○農務(農)委員 ドノ位掛リマスカ
○高橋委員長 僅カノ時間ト思ヒマ
ス——ソレデハ吉田君

○吉田(農)委員 國民保健ノ現狀、體
位低下ノ現狀、工場ノ結核猖獗ノ現
狀、病氣缺勤ノ半分ガ結核性疾患デア
ル現狀、乳幼児、妊産婦ナドノ健康ノ現
狀、斯ウ云フ現狀ニ鑑ミマシテ、食糧
ノ現在ノ配給量ヲ以テ國民保健ヲ保持
増進スルコトガ出來ルヤ否ヤ、之ニ付

テノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○入江(農)政府委員 國民ノ現在ノ體
力ノ狀況其ノ他カラ見マシテ、現在ノ
食糧ノ配給量ヲ以テ國民保健上十分デ
アルカドウカト云フコトニ付キマシテ
ハ、色々學者ノ間デモ議論ガアリマ
ス、併シナガラハ中々重大ナ問題デ
ゴザイマスノデ、現在科學技術會議會
ニ於テ審議中デアリマス、其ノ答申ヲ
待チマシテ意見ノ確定ヲ見タイト思
ツテ居リマス

○吉田(農)委員 次ニ乳幼児、妊産婦
ノ保健ノ現狀ハ可ナリ考慮スベキモノ
ト私共ノ地方デハ聞イテ居リマス、就
キマシテハ牛乳ヲ積極的ニ増産シナケ
レバナルマイト思フノデスガ、如何デ
スカ
○入江(農)政府委員 全ク御指摘ノ通
リ現在乳幼児或ハ妊産婦ノ體力カラ見
マシテ、何トカ牛乳ヲ確保スル必要ガ
アルノデアリマスガ、現在御存ジノ通
リ飼料ノ不足トカ、勞力ノ不足、或ハ
糞便關係其ノ他カラ色々問題ガ錯綜
致シマシテ、殊ニ大都市ニ於キマシテハ
牛乳ノ配給ガ思フヤウニ行カヌヤウナ現
狀デアリマス、ソコデニ付キマシテハ
農務省ノ御當局トモ緊密ナ連絡ヲ執リ
マシテ、農務省ノ御努力ヲ御願ヒ致シマ
シテ、大都市附近ノ隣縣ニ對シテ生産
ヲ促進致シマス、或ハ輸送方面ニ付
キマシテ、御當局方面ニ御願ヒ致シマ
ストカ、或ハ配給其ノモノノ機構ニ付
キマシテモ改善ヲ致シマス、或ハ
配給ノ色々ノ證明ノ問題ニ付キマシテ
モ改善ヲ加ヘマシテ、極力出來ル限り
牛乳ヲ配給ハ十分ノ量ヲ配給スルヤウニ
努力致シテ居リマス、マダ十分努力ノ
足リマセヌ所ノ遺憾ト致シマス

○吉田(農)委員 以上二問題ハ國民保
健ノ上非常ニ重要ナ根本問題ト思ヒマ
スノデ、此ノ上トモ農務省當局ト一層
緊密ナ連絡ノ上、積極的ノ對策ヲ立
テテ進マレンコトヲ望ミマス

ソレカラ農林政府委員ニ御伺ヒ致シ
マスガ、農業ノ從事員デ工場等(徵用
セラレマシタ者)ニ付テ、其ノ留守宅ガ
出征等ニ依リマシテ男子勞働力ガ缺乏
シテシマフ、ソレカラ又少クナツテ、
事實上現在ノ耕地ヲフル耕作ヲ維持ス
ルコトガ困難ナ場合ガ屢、アルノデア
リマス、其ノ際ニ工場等ヘ農業會、村
等カラ色々方法ヲ以テ交渉スルノ
デアリマスケレドモ、時ガ明カヌ場合
ガ多イノデアリマス、常ニ其ノコトノ
際ニ粉砕ヲ來シテ居リマス、斯ウ云フ
場合ニ一方ノ工場ハ熱線工ダカラト云
ツテ歸シテ來ナイ、村ニ於キマシテハ
食糧増産ノ必要上是非歸シテ與レト云
フ實情ニアルノデアリマス、此ノ點ニ
付キマシテ之ヲ處理スベキ明確ナ基準
ヲ地方ニ與ヘルコトガ必要デアラウト
思フノデアリマスガ、如何デゴザイマ
スカ

○佐伯政府委員 農村勞務ト工場勞務
ノ調整ノ問題デゴザイマスガ、是ハ御
話ノヤウニ非常ニ緊要ナ問題デアルト
思ヒマス、戰時農業委員ニ付キマシテ
ハ御聞キ及ビノヤウニ、當初若干ノ行
違ヒガアリマシタケレドモ、現在デハ
徵用シナイト云フ明確ナ方針ヲ立テマ
シテ、其ノ通り實行シテ居リマス、殊
ニ今度御制定仰グコトニナツテ居リ
マス國民動員勸告令ニ於キマシテハ、
其ノ勸令ニ根據ヲ置キマシテ、戰時農
業委員ヲ徵用シナイト云フコトヲ明確
ニ致シテ居リマス、ソレカラ御話ノヤ
ウニ戰時農業委員以外ノ若デ、ソレガ
工場ヘ行ツタ爲ニ、農村ノ勞力ニ支障

ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナ場合モアル
ト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於ケル
對策ニ付キマシテハ、能ク御意見ノ點
等ヲ參酌致シマシテ、研究シテ見タイ
ト思ツテ居リマス

○吉田(農)委員 後ノ問題ハ要員トシ
テ指定ヲサレナイ場合ガ問題ニナリマ
スカラ、是ハ速カニ積極的ノ方針ヲ地
方ノ官廳ニ十分御示シアラソコトヲ御
願ヒ致シマス

○高橋委員長 吉田君ソレデ宜シウゴ
ザイマス——ソレデハ齋藤君

○農務(農)委員 其ノ次ハ農機具問題
ニ付テ御伺ヒ致シテ見タイト思ヒマス
ガ、農務省ノ中デ農機具一元的ニ取
扱ツテ居ルヤウナ、所謂農機具行政ト
云フモノハ一體ドウナツテ居リマスカ
○總見政府委員 農務省ノ總務局ノ中
ニ資料課ガアリマシテ、此ノ資料課ガ
一元的ニ御世話ヲシテ居ル、斯ウ云フ
恰好ニナツテ居リマス

○農務(農)委員 地方ニ參リマス、
地方ノ農機具モ農機具用鋼材ノ取得ト
云フモノハ全ク手ガナイ、或ル縣ニ
於テハ鋼材ノ回收品ノ中カラ、農機具
用ノ鋼材トナルベキモノヲ——ソレハ
嚴密ニ言ヘバ不法行爲デアリマセウ
ガ、之ヲ取ツテ、其ノ殘リヲ供出スル、
斯ウ云フ風ナ建前カラ農機具用ノ鋼材
ヲ取ラナケレバ、到底現下ノ差追ツタ
増産用ノ農機具ノ製造ガ出來ナイ、斯
ウ云フ建前ニナツテ居ルヤウデアリマ
ス、之ニ對シマシテ問ク所ニ依レバ、
閣下ニ於テモ、農機具用ノ鋼材ハ農務
省ガ之ヲ造ラナケレバイカヌデハナ
イカト云フヤウナ意向ニマデモ傾イテ居
ルヤウニ聞及ンデ居ルノデアリマス
ガ、私モ昨年度ノ物動計畫ノ鐵鋼ニ關
スル狀態ヲ聽キマス、アノ狀態デハ

到底農機具用ノ鋼材ト云フモノハ、軍需省カラ取ツテ來ル際ニハ參ラヌデヤナイカト思ヒマス、之ニ對シマシテ一體農機具ハ學急ニ差迫ツタ此ノ農機具ヲ造ルト云フコト——農機具ヲ造ラナケレバ農民ハ中々野原ガ出來ナイノデアリマシテ、是ハコ、二、三箇月ニ差迫ツタ問題デアリマスカラ、之ニ對シテ應急措置トシテ、農機具ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、ドウ云フ手ヲ御打チニナルノデアリマスカ、之ヲ承ツテ置キマス

○補見政府委員 御尋ネノヤウニ農機具ハ、資材目録ガ非常ニ急迫シテ來テ居リマス同時ニ、現物入手ガ非常ニ問題デアツタノデアリマス、折角關議ニ重點懸業ト同一視セラレタノデアリマスガ、併シナガラ現物入手ノ方ハ依然中々思フヤウニ行カナイ、ソコデ現在ハ農機具統制會社ガ發注ヲ一元化致シマス同時ニ、是ガ切符ノ現物化ヲヤツテ居ルノデアリマス、併シナガラ中央デ農機具ノ重要性ヲ高調致シマシテモ、地方ノ官署監理部或ハ統制會社ト云フヤウナモノノ認識ガ、中々不十分デアツタノデアリマス、即チ優先順位ガ色々ゴザイマスガ、農機具ハ從來最後ノ「其ノ他」ト云フ欄ニ入ツテ居リマシテ、是ガ爲ニ官署監理部ガ發注シテ現物化スルコトニ對スル協力ト云フモノガ、非常ニ缺ケテ居ツタノデアリマス、是ガ爲ニ此ノ第四、四半期カラ物動計畫ノ枠ノ中ニ、御承知ノヤウニ「エー」ビエー「デー」トカゴザイマスガ、其ノ枠ノ中ニ食糧ト云フ枠ヲ設ケテアリマシテ、之ヲ中央カラ地方ニ通達ヲ致シマシテ、地方ノ官署監理部等モ此ノ枠ニ依ツテ優先ノ現物化スルヤウニナツテ居リマスノデ、之ニ依ツ

テ現物化ハ相當ニ進捗スルモノト考ヘテ居リマス、是ト同時ニ未稼働物資ノ中カラ四千「トン」實ヒマシタ、是ハ粹デハナクテ、現物デアリマス、此ノ現物化サレタモノト、ソレカラ今ノ第四、四半期カラノ現物化ノ促進ト云フコトニ依ツテ、極力此ノ急迫シタ問題ヲ切抜ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、更ニ今後ノ問題ト致シマシテハ、土庫式ノ問題、或ハ木炭鐵ノ問題、新ウ云フヤウナ問題ニ付キマシテモ努力ヲシテ参リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○農機具統制會社 農機具用鋼材ト云フモノハ中々難カシイ問題デアリマシテ、未稼働鋼材ノ四千「トン」ヲ入手シ、或ハ地方官署監理部ニ其ノ枠ヲ設ケタカラ出セト云フモノモ、中々容易ナ問題デハナイト云フコトヲ俱レノデアリマス、例ヘテ申シマス、鐵ヲ作リマスノ、丁度宜イ「カーボン」ノ分量ハ千分ノ七乃至千分ノ五デアリマス、サウデアリマセヌト千分ノ二ヤ千分ノ三ノ低「カーボン」ノモノヲ持ツテ來マス、一回使フトグニヤクニナツテシマフト云フ軟カイモノガ出來ル、サウ云フ風ニ專門ノ考ヘテ参リマス、鐵用ノ鋼材ハドウ云フモノダ、或ハ除草機用ノ鋼材ハドウ云フモノダ、鐵ハ是デナケレバイケナイト云フコトガアルカラ、刀鍛冶ノ一子相傳ハ出來ルガ、野鍛冶ノ一子相傳ハ中々出來ナイトマデ言ハレテ居ルノデアリマス、農民モ亦農機具會社カラ薄ッペラナ鐵ヲ配給シテ貰ツテモ、ソレハ一挺ハ一挺アルケレドモ一遍使フトオ終ヒニナルト云フヤウナ鐵デア

トノ何等誤解ナシニサウ云フ計畫ヲサテ來ナイノデアリマス、是ノ應急處置トシテハ、今年ハ已ムヲ得ナイトシテモ、此ノ農機具ト云フモノハモット農機具ニ於テ深刻ニ考ヘテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、只今土庫式ト云フヤウナ話モ出マシタガ、其ノ點ニ關シマシテハ今日ハ山林局長ガ御見エニナツテ居リマセヌガ、山林局長ハ何等認識ガナイト思フ、ソレハ何デアルカト云フト、先般豫算總會ニ於テ同僚ガ此ノ點ニ對シテ質問ヲシタノデアリマスガ、軍需省ノ鐵鋼局ト農商省ノ山林局ト間ニハ、何等土庫式ニ付テハ交渉ガナイヤウナ御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、軍需省デハ土庫式、土庫式ト云フ土庫式ノ製鐵法ヲヤツテ居リマスガ、其ノ本據ハ農商省ニアルノデアリマス、農商省ガ全方力ヲ二傾ケテ製鐵ヲヤツテ居ルノデアリマス、其ノ土庫式製鐵ト云フモノハ失敗ニ終ルト思フ、結局今日ノ日本ノ新資源デアル鐵鋼鋼ハ固有林地帶ニアリマスカラ、此ノ固有林地帶ニ切ツテ開放スルカ開放シナイカト云フ所ニ、土庫式ノ生命ガアルノデアリマス、此處ニハ政務次官モ居ラマセヌガ、之ニ對シマシテハ能ク農商大臣ト軍需大臣、乃至ハ總理大臣ト御協議ノ上ニ、思ヒ切ツテ鐵鋼鋼所在ノ國有林地帶下ゲルト云フ根本方針ヲ早速御決定ニナリマシテ、各縣ニ通牒ヲ御出シニナルト云フト、必ズ是ハ今マデノ炭鐵鋼ガ鐵鋼製造スルコト云フ、所謂本當ノ新ライシ戰力ト云フモノガ生レテ來ル所ノ體系ガ私ハ出來ルノデハナイカト思ヒマス、軍需省ハ今年ハ百萬「トン」計畫スルトカ、二百萬「トン」計畫スルトカト云ツテ居ラマセヌガ、農商省山林局ト何等誤解ナシニサウ云フ計畫ヲサ

戴キタイト在ズルノデアリマス、ソレカラ次ニ御願ヒシタイコトハ、サウ云フ土庫式或ハサウ云フヤウナ問題ヲ除キマシテモ、今日ノヤウナ狀態デハ、炭ト云フモノノ増産ガ出來ナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニハ是非共一ツ企業製炭ヲヤツテ戴キタイ、是ハ外ノ土地ハ存ジマセヌガ、私ノ郷里島海山澤ニハ、マダ數千萬石或ハソレ以上カモ知レマセヌガ、萬古斧鐵ヲ加ヘザル事々タル「ブナ」ノ林ガウンタルノデアリマス、唯ドウシテ斯ウ云フ所ニ企業製炭ガ出來ナイカト申シマスルト、道路ガナイト云フコトダケデアリマス、ソレデアリマスカラ農商省ハ斯ウ云フ風ナ固有林地帶ニ對シマシテハ、思ヒ切ツテ大キナ道路ヲヤツテ、ソコヘ澤山ノ鐵工ヲ安心シテ炭ヲ燒キ得ル狀態ニ置イテ燒カセナケレバ、今日ノヤウナ副業製炭ノ域ヲ脱セザル多クノ炭鐵鋼ヲ持ツテ居リマスル以上ハ、段々減産デアリマス、第一其ノ實際ヲ調ベマスルト、炭鐵小屋デ炭ヲ燒イテ、毎日ノ食糧ヲ賣マデ取りニ行カナケレバ食糧ガ取レヌノデアリマスカラ、一日燒イテ二日休ム、一日燒イテ二日休ム、ア、云フヤウナ狀態デハ幾ラ獎勵ニ長官ガ酒ヲ持ツテ行ツテモ、其ノ一日二日ハ増産致スデアリマセウケレドモ、後ハ減産、ソレデアリマスカラ私ノ方ノ秋田縣ニ參リマス、懇話ニ言フ、縣廳ノ林務課ノ机ノ上ニハ炭ハ澤山アルケレドモ、現場ニ行クト一ツモナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテ農商當局ハ思ヒ切ツタ企業製炭ヲオヤリニナル御意思ガアルカナイカ、之ヲ一ツ承リタイノデアリマス

○鈴木(二)政府委員 御答ヘヲ申上ゲ

テ現物化ハ相當ニ進捗スルモノト考ヘテ居リマス、是ト同時ニ未稼働物資ノ中カラ四千「トン」實ヒマシタ、是ハ粹デハナクテ、現物デアリマス、此ノ現物化サレタモノト、ソレカラ今ノ第四、四半期カラノ現物化ノ促進ト云フコトニ依ツテ、極力此ノ急迫シタ問題ヲ切抜ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、更ニ今後ノ問題ト致シマシテハ、土庫式ノ問題、或ハ木炭鐵ノ問題、新ウ云フヤウナ問題ニ付キマシテモ努力ヲシテ参リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○農機具統制會社 農機具用鋼材ト云フモノハ中々難カシイ問題デアリマシテ、未稼働鋼材ノ四千「トン」ヲ入手シ、或ハ地方官署監理部ニ其ノ枠ヲ設ケタカラ出セト云フモノモ、中々容易ナ問題デハナイト云フコトヲ俱レノデアリマス、例ヘテ申シマス、鐵ヲ作リマスノ、丁度宜イ「カーボン」ノ分量ハ千分ノ七乃至千分ノ五デアリマス、サウデアリマセヌト千分ノ二ヤ千分ノ三ノ低「カーボン」ノモノヲ持ツテ來マス、一回使フトグニヤクニナツテシマフト云フ軟カイモノガ出來ル、サウ云フ風ニ專門ノ考ヘテ参リマス、鐵用ノ鋼材ハドウ云フモノダ、或ハ除草機用ノ鋼材ハドウ云フモノダ、鐵ハ是デナケレバイケナイト云フコトガアルカラ、刀鍛冶ノ一子相傳ハ出來ルガ、野鍛冶ノ一子相傳ハ中々出來ナイトマデ言ハレテ居ルノデアリマス、農民モ亦農機具會社カラ薄ッペラナ鐵ヲ配給シテ貰ツテモ、ソレハ一挺ハ一挺アルケレドモ一遍使フトオ終ヒニナルト云フヤウナ鐵デア

トノ何等誤解ナシニサウ云フ計畫ヲサテ來ナイノデアリマス、是ノ應急處置トシテハ、今年ハ已ムヲ得ナイトシテモ、此ノ農機具ト云フモノハモット農機具ニ於テ深刻ニ考ヘテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、只今土庫式ト云フヤウナ話モ出マシタガ、其ノ點ニ關シマシテハ今日ハ山林局長ガ御見エニナツテ居リマセヌガ、山林局長ハ何等認識ガナイト思フ、ソレハ何デアルカト云フト、先般豫算總會ニ於テ同僚ガ此ノ點ニ對シテ質問ヲシタノデアリマスガ、軍需省ノ鐵鋼局ト農商省ノ山林局ト間ニハ、何等土庫式ニ付テハ交渉ガナイヤウナ御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、軍需省デハ土庫式、土庫式ト云フ土庫式ノ製鐵法ヲヤツテ居リマスガ、其ノ本據ハ農商省ニアルノデアリマス、農商省ガ全方力ヲ二傾ケテ製鐵ヲヤツテ居ルノデアリマス、其ノ土庫式製鐵ト云フモノハ失敗ニ終ルト思フ、結局今日ノ日本ノ新資源デアル鐵鋼鋼ハ固有林地帶ニアリマスカラ、此ノ固有林地帶ニ切ツテ開放スルカ開放シナイカト云フ所ニ、土庫式ノ生命ガアルノデアリマス、此處ニハ政務次官モ居ラマセヌガ、之ニ對シマシテハ能ク農商大臣ト軍需大臣、乃至ハ總理大臣ト御協議ノ上ニ、思ヒ切ツテ鐵鋼鋼所在ノ國有林地帶下ゲルト云フ根本方針ヲ早速御決定ニナリマシテ、各縣ニ通牒ヲ御出シニナルト云フト、必ズ是ハ今マデノ炭鐵鋼ガ鐵鋼製造スルコト云フ、所謂本當ノ新ライシ戰力ト云フモノガ生レテ來ル所ノ體系ガ私ハ出來ルノデハナイカト思ヒマス、軍需省ハ今年ハ百萬「トン」計畫スルトカ、二百萬「トン」計畫スルトカト云ツテ居ラマセヌガ、農商省山林局ト何等誤解ナシニサウ云フ計畫ヲサ

戴キタイト在ズルノデアリマス、ソレカラ次ニ御願ヒシタイコトハ、サウ云フ土庫式或ハサウ云フヤウナ問題ヲ除キマシテモ、今日ノヤウナ狀態デハ、炭ト云フモノノ増産ガ出來ナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニハ是非共一ツ企業製炭ヲヤツテ戴キタイ、是ハ外ノ土地ハ存ジマセヌガ、私ノ郷里島海山澤ニハ、マダ數千萬石或ハソレ以上カモ知レマセヌガ、萬古斧鐵ヲ加ヘザル事々タル「ブナ」ノ林ガウンタルノデアリマス、唯ドウシテ斯ウ云フ所ニ企業製炭ガ出來ナイカト申シマスルト、道路ガナイト云フコトダケデアリマス、ソレデアリマスカラ農商省ハ斯ウ云フ風ナ固有林地帶ニ對シマシテハ、思ヒ切ツテ大キナ道路ヲヤツテ、ソコヘ澤山ノ鐵工ヲ安心シテ炭ヲ燒キ得ル狀態ニ置イテ燒カセナケレバ、今日ノヤウナ副業製炭ノ域ヲ脱セザル多クノ炭鐵鋼ヲ持ツテ居リマスル以上ハ、段々減産デアリマス、第一其ノ實際ヲ調ベマスルト、炭鐵小屋デ炭ヲ燒イテ、毎日ノ食糧ヲ賣マデ取りニ行カナケレバ食糧ガ取レヌノデアリマスカラ、一日燒イテ二日休ム、一日燒イテ二日休ム、ア、云フヤウナ狀態デハ幾ラ獎勵ニ長官ガ酒ヲ持ツテ行ツテモ、其ノ一日二日ハ増産致スデアリマセウケレドモ、後ハ減産、ソレデアリマスカラ私ノ方ノ秋田縣ニ參リマス、懇話ニ言フ、縣廳ノ林務課ノ机ノ上ニハ炭ハ澤山アルケレドモ、現場ニ行クト一ツモナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテ農商當局ハ思ヒ切ツタ企業製炭ヲオヤリニナル御意思ガアルカナイカ、之ヲ一ツ承リタイノデアリマス

○鈴木(二)政府委員 御答ヘヲ申上ゲ

テ現物化ハ相當ニ進捗スルモノト考ヘテ居リマス、是ト同時ニ未稼働物資ノ中カラ四千「トン」實ヒマシタ、是ハ粹デハナクテ、現物デアリマス、此ノ現物化サレタモノト、ソレカラ今ノ第四、四半期カラノ現物化ノ促進ト云フコトニ依ツテ、極力此ノ急迫シタ問題ヲ切抜ケテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、更ニ今後ノ問題ト致シマシテハ、土庫式ノ問題、或ハ木炭鐵ノ問題、新ウ云フヤウナ問題ニ付キマシテモ努力ヲシテ参リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○農機具統制會社 農機具用鋼材ト云フモノハ中々難カシイ問題デアリマシテ、未稼働鋼材ノ四千「トン」ヲ入手シ、或ハ地方官署監理部ニ其ノ枠ヲ設ケタカラ出セト云フモノモ、中々容易ナ問題デハナイト云フコトヲ俱レノデアリマス、例ヘテ申シマス、鐵ヲ作リマスノ、丁度宜イ「カーボン」ノ分量ハ千分ノ七乃至千分ノ五デアリマス、サウデアリマセヌト千分ノ二ヤ千分ノ三ノ低「カーボン」ノモノヲ持ツテ來マス、一回使フトグニヤクニナツテシマフト云フ軟カイモノガ出來ル、サウ云フ風ニ專門ノ考ヘテ参リマス、鐵用ノ鋼材ハドウ云フモノダ、或ハ除草機用ノ鋼材ハドウ云フモノダ、鐵ハ是デナケレバイケナイト云フコトガアルカラ、刀鍛冶ノ一子相傳ハ出來ルガ、野鍛冶ノ一子相傳ハ中々出來ナイトマデ言ハレテ居ルノデアリマス、農民モ亦農機具會社カラ薄ッペラナ鐵ヲ配給シテ貰ツテモ、ソレハ一挺ハ一挺アルケレドモ一遍使フトオ終ヒニナルト云フヤウナ鐵デア

トノ何等誤解ナシニサウ云フ計畫ヲサテ來ナイノデアリマス、是ノ應急處置トシテハ、今年ハ已ムヲ得ナイトシテモ、此ノ農機具ト云フモノハモット農機具ニ於テ深刻ニ考ヘテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、只今土庫式ト云フヤウナ話モ出マシタガ、其ノ點ニ關シマシテハ今日ハ山林局長ガ御見エニナツテ居リマセヌガ、山林局長ハ何等認識ガナイト思フ、ソレハ何デアルカト云フト、先般豫算總會ニ於テ同僚ガ此ノ點ニ對シテ質問ヲシタノデアリマスガ、軍需省ノ鐵鋼局ト農商省ノ山林局ト間ニハ、何等土庫式ニ付テハ交渉ガナイヤウナ御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、軍需省デハ土庫式、土庫式ト云フ土庫式ノ製鐵法ヲヤツテ居リマスガ、其ノ本據ハ農商省ニアルノデアリマス、農商省ガ全方力ヲ二傾ケテ製鐵ヲヤツテ居ルノデアリマス、其ノ土庫式製鐵ト云フモノハ失敗ニ終ルト思フ、結局今日ノ日本ノ新資源デアル鐵鋼鋼ハ固有林地帶ニアリマスカラ、此ノ固有林地帶ニ切ツテ開放スルカ開放シナイカト云フ所ニ、土庫式ノ生命ガアルノデアリマス、此處ニハ政務次官モ居ラマセヌガ、之ニ對シマシテハ能ク農商大臣ト軍需大臣、乃至ハ總理大臣ト御協議ノ上ニ、思ヒ切ツテ鐵鋼鋼所在ノ國有林地帶下ゲルト云フ根本方針ヲ早速御決定ニナリマシテ、各縣ニ通牒ヲ御出シニナルト云フト、必ズ是ハ今マデノ炭鐵鋼ガ鐵鋼製造スルコト云フ、所謂本當ノ新ライシ戰力ト云フモノガ生レテ來ル所ノ體系ガ私ハ出來ルノデハナイカト思ヒマス、軍需省ハ今年ハ百萬「トン」計畫スルトカ、二百萬「トン」計畫スルトカト云ツテ居ラマセヌガ、農商省山林局ト何等誤解ナシニサウ云フ計畫ヲサ

戴キタイト在ズルノデアリマス、ソレカラ次ニ御願ヒシタイコトハ、サウ云フ土庫式或ハサウ云フヤウナ問題ヲ除キマシテモ、今日ノヤウナ狀態デハ、炭ト云フモノノ増産ガ出來ナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、之ニハ是非共一ツ企業製炭ヲヤツテ戴キタイ、是ハ外ノ土地ハ存ジマセヌガ、私ノ郷里島海山澤ニハ、マダ數千萬石或ハソレ以上カモ知レマセヌガ、萬古斧鐵ヲ加ヘザル事々タル「ブナ」ノ林ガウンタルノデアリマス、唯ドウシテ斯ウ云フ所ニ企業製炭ガ出來ナイカト申シマスルト、道路ガナイト云フコトダケデアリマス、ソレデアリマスカラ農商省ハ斯ウ云フ風ナ固有林地帶ニ對シマシテハ、思ヒ切ツテ大キナ道路ヲヤツテ、ソコヘ澤山ノ鐵工ヲ安心シテ炭ヲ燒キ得ル狀態ニ置イテ燒カセナケレバ、今日ノヤウナ副業製炭ノ域ヲ脱セザル多クノ炭鐵鋼ヲ持ツテ居リマスル以上ハ、段々減産デアリマス、第一其ノ實際ヲ調ベマスルト、炭鐵小屋デ炭ヲ燒イテ、毎日ノ食糧ヲ賣マデ取りニ行カナケレバ食糧ガ取レヌノデアリマスカラ、一日燒イテ二日休ム、一日燒イテ二日休ム、ア、云フヤウナ狀態デハ幾ラ獎勵ニ長官ガ酒ヲ持ツテ行ツテモ、其ノ一日二日ハ増産致スデアリマセウケレドモ、後ハ減産、ソレデアリマスカラ私ノ方ノ秋田縣ニ參リマス、懇話ニ言フ、縣廳ノ林務課ノ机ノ上ニハ炭ハ澤山アルケレドモ、現場ニ行クト一ツモナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對シマシテ農商當局ハ思ヒ切ツタ企業製炭ヲオヤリニナル御意思ガアルカナイカ、之ヲ一ツ承リタイノデアリマス

○鈴木(二)政府委員 御答ヘヲ申上ゲ

マス、薪炭事情ハ御承知ノヤウニ昨年々條件ガ悪クナルバカリデアリマシテ、本年ドウツテ参ルカト云フ計畫ニ付キマシテ、實ハ苦慮致シテ居ル譯デアリマス、其ノ一ツノ方法ト致シマシテ只今御話ノゴザイマシタ企業製炭ノ積極的ニヤツテ行ツタラドウカト云フ點デゴザイマスガ、我々其ノヤウナ方向ニ行カナケレバ、確實ニ製炭ノ數量ヲ確保シテ参ルコト云フコトハ非常ニ難カシノデハナイカト云フコトカラ、企業製炭ノ方ニ只今デハドチラカト申シマスト重點ガ掛ツテ居リマス、副業製炭ノ方ハ御承知ノヤウニ企業關係ノ仕事ガ段々確ニ参リマス關係上、今同林業要員制度ガ出來ルコトニナリマシタガ、中々要員ノ數ヲ確保スルコト云フコトモ困難デゴザイマスシ、又其ノ時期ガ專業製炭、企業製炭ノ如ク年カラ年中編イテ賣フコト云フ譯ニハ参リマセマノデ、企業製炭ニ對シマシテ今後十分力ヲ盡シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○廣農(憲)委員 時間ノ關係上諒クハ中上デマセメガ、ドウゾ一ツ諒案ニ炭ノ生産出來ルヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト存スルノデアリマス

ソレカラ其ノ次ハ是ハ今日農商省所管デハゴザイマセメガ、時局斯クノ如ク相成リマシテ、其ノ地方々々デ食生活ヲ完全ニ把握シテ参ラナケレバナラヌヤウナ現状ニ立至リマシタ今日、自家用製炭ノ許可ヲ致シテ居ル現状デハ、此ノ問題モ一ツ農商省デ御取上デニナリマシテ、所謂大藏省ノ所管カラ農商省ニ御移シニナリマシテ、農商省ガ自家用製炭ト云フモノヲ思ヒ切ツテ獎勵シテ、之ニ依リ食生活ノ確保ヲ御同リニナツタラ如何カト存スルノデア

リマス、一々御答辨ヲ御願ヒシタイノデアリマスガ、時間ノ關係上私ノ意見ヲ纏メテ申上デマスガ、私昨年度自家用製炭ト云フモノヲ實際ヤツテ見マシタハ、約三百坪ノ自家用製炭ヤツテ見タノデアリマスガ、私ノ所ハ蔬菜ガ少イ所デゴザイマスノデ、此ノ自家用製炭ヲ山ノ送りマシテ、サウシテ山菜ノ鹽漬物ニ變ヘルト、恐ラク五%カラ七%ノ鹽デ以テ鹽漬物ガ出來ル、即チ五百貫目持ツテ参リマス、百貫ノ鹽漬物ガ出來ル譯デアリマスルカラ、百貫目位ノ鹽ヲ送リマシテ山菜ノ鹽漬ニ變ヘマシテ鹽ヲ持ツテ参リマス、冬期間ノ蔬菜ノ不足ト云フモノハ解消スルノデアル、農村ノ鹽ト云フモノニ對スル憧憬ハ、是ハ本當ニ大變ナモノデアリマシテ、今日私ノ所デハ鹽一俵米一俵ト云ツテ居ル、所ガ是ハ海岸地帶シカ出來ナイ、山ノ方ニ居リマス者ハ如何ニ鹽ガ欲シクツテモ是ハ作レナイノデアリマス、ソレデアルカラコ、ニ交換經濟ヲ應用シマシテ、山ノ中ニアル村落カラドン、薪ヲ下ニ下シテ來テ、海岸ニ在ル所ノ町村デハ、其ノ薪炭材ヲ以テ所謂鹽漬シタ所ノ鹹水ヲ煮テ、鹽ヲ作ツテ山ノ返シタル、是デ私ハ相當ニ地方食生活ノ強固性ト云フモノガ増スト思フノデアル、此ノ點ハ單ニ今マデ事實ヤツテ居ツタノガ大藏省デアルカラト云フコトデナク、食生活ハ農商省ノ所管デアルト云フ譯前カラ致シマスレバ、之ヲ農商省ノ所管ニ移シテ、思ヒ切ツタ助成スル、今大藏省デハ自家用製炭ニ對シテハ半額補助ヤツテ居ルヤウデアリマスガ、額補助トシテ自家用製炭ヤレバ、至額國家補助シタルノダト云フコトデ、海岸ニ在ル所ノ町村ニ實任制ヲ布

イテ、是非トモ之ヲ澤山作ラセルト云フヤウニシテ裁キタイト思フノデアリマス、此ノ前仙臺ノ事實局長ガ見エテ、此ノ自家用製炭ノ獎勵ノ意圖ノ下ニ、若シ輸送路ガ敷ノ空氣ニ依ツテ破壞セラレルコトガアツタラバ、農村ニ於テハ食生活ノ根本デアル鹽ヲモ把握スルコトガ出來ナイヤウナ狀態ニナリハセヌカト云フコトヲ慎レルガ故ニ、ドウカ自家用製炭ヲヤツテ呉レト云フコトデアツタガ、事ハ左程重大ナラバ、食生活ヲ掌ツテ居ラレル農商省ハ、思ヒ切ツテ之ヲ御探上ゲニナツテ、大々的ニ自家用製炭ヲ御獎勵ニナリ意思ハナイカドウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 便宜私カラ申上デマス、米鹽ト稱セラレル位、鹽ハ國民生活要定上ノ重要デアリマス、同時ニ農商省關係ニ於テモ水產關係、或ハ味噌醬油ノ關係、其ノ他蔬菜ノ關係、是等ノ仕事ヤツテ參ル上ニ於テ缺クベカラザルモノデアリマス、所ガ御承知ノヤウニ最近輸送ノ關係カラ、特ニ海外鹽ガ参リマセヌ關係カラ、鹽ノ問題ガ非常ニ重要ニナツテ参リマシタ、農商省トシテモ所管ノ問題ハ別ニシテ、大藏省ト共同デ、此ノ問題ニ付テハ極メテ大ナル關心ヲ持チ、又今御座ニナリマシタルヤウナ方向ニ向ツテ行キタイ、考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ數日前農商次官、大藏次官共同デ、關係各方面ニ自家用製炭ノ獎勵ニ付テ逆關係ヲ發シ、又獎勵ヲ致シ居ルノデアリマス、其ノ要點ハ、事實局所デ色々御研究ニナリキ、事實局所ハヤウデアリマスカラ、事實局所ハオホネ敷ケバ、幾ラデモ簡易ナ方法ニ付テ御教ヘ申上ゲルト云フコト、ソレカラ許可ハ

勿論問題ナク出來ル譯デ、其ノ出來タモノハ全部自家用ニ供シテ差支ヘナリ、若シ自家用製炭ヤツテ相當數量出來テ、自分ノ所デ使ツタ以上ニ剩ツタ場合ニハ、希望ガアレバ只今ノ收納價格ヲ收納スル、斯ウ云フ内容デ各方面ニ兩次官名ヲ以テ通牒モシ、勸奨モシテ居ルト云フ情勢デアルノデアリマス、更ニ只今御話ノヤウナ財政的ノ援助ノ問題、其ノ他今後ノ推進ニ付キマシタハ、此ノ仕事ノ重要性ニ鑑ミ、十分農商省トシテモ努力致ス考ヘデアリマス

○廣農(憲)委員 ドウゾ積極果敢ニ自家用製炭ノ獎勵ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、次ニ食糧管理局長官ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、ソレハ供出米後ノ食糧對策ニ付テデアリマス、私ハ昨年此ノ供出ヲ控ヘテ難關突破ノ爲ニ、自分ノ町ノ町長ニヤラサレタノデアリマスガ、實際農民ノ中ニ入ツテ供出米ヲ完了セシメルコトヲヤツテ見マス、毎日涙ナシニハヤレヌノデアリマス、殊ニ私ノ地方ハ昨年ノ九月ニ大暴風雨ニ出遭ヒマシテ、平均三割位ノ減收ヲ見タノデアリマス、之ニ對シテ如何ニ供出ヲ完了サスベキカトニ付テ、私ハ連日連夜自分ノ全努力ヲ傾注シテ農民ニ接觸シタルノデアリマス、併シ初メハ、牢屋ニ入レラレテモ出サヌ、ヤルナラヤツテ見ト云フ態度デアツタノデアリマス、私ハ懇々トシテ國家ノ現状ヲ説キ、町村ノ名譽ヲ説キ、農民ノ忠誠心ハ國家ノ戰爭完遂ノ要諦デアル、お前ノ息子モ戰爭ニ行ツテ居ルデハナイカト云フ所マデ突詰メテ話ヲ致シマシタ所ガソレナラ宜シイ、出シマス、ガ、憲、食ヘナクナツタ時ハ一體町長ハドウ云フ責任ヲ執ツテ呉

何等カノ應急處置ガナイト、私ノ町ナドハ大退却ニ陥ルノデハナイカト憂慮シテ居ルノデアリマス、農民ガ喰フモノ喰ハズシテ、兎ニ角國家ノ要請ニ應ジタト云フ忠誠心ニ對シ、其ノ人達ガ本當ニ困ツテ來タ時ニ、國家ハドウ云フ處置ヲ執ル積リデアリマスカ、食糧管理局長官ニ御尋ね致シマス

○湯河政府委員 供出ガ非常ニ強化サレテ參リマス、地方ニ依ツテハ只今齋藤議員ノ御話ニナリマシタヤウナ相違シタ事態ガ起ルコト、或ハナシトシナイト考ヘマス、是ハ併シ供出制度ノ豫期シナイ所デアリマシテ、サウ云フコトアラセテハイケナイ、片方ニ自家保有米ノ數量ハ一應問題トシナイコトニナリマシタケレドモ、農家ノ食生活ハ確保シテ、而モ其ノ食生活ニハ或ハ他ノ米以外ノモノヲ合セテ喰フ、或ハ更ニ喰フモノヲ作ツテ埋合セマシテ賣ツテ、國家ノ所要量ヲ出シテ賣フヤウニ仕向ケタイト云フノガ、今日ノ食糧管理ノ趣前デアリマス、是ガ全國的ニハマダ可能デアルト信ジテ居リマス、ソレヲ細分シテ末端ニ參リマスト、ソコニ狂ヒガ出來テ來マシテ、只今仰セノヤウナマジ事態ガ起ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ趣前ノ問題トシテハ稱カアラシメテハナラナイト思ツテ居リマス、御承知ノヤウニ非常ニ窮乏ナ時デゴザイマスルカラ、農家ノ生活モ都會ノ消費者ノ生活ニ近ク段々不自由ニナツテ來ルコトハ、當然覺悟シテ賣ハナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、併シ先程申シマシタ地方の二問題ノアル所デモ、是非、常ニ色々ナ場合ガゴザイマセウガ、其ノ中ニモ樂ナ人ト苦シイ人ガアル、ソレデ其ノ苦シイ人ノ切實ナ聲ガ高マリマ

ノダラウト思フ、食ハナクナル前ニ物ガ買ヘナクナルト云フ事態デハナイカト思フノデアリマス、是ハ私モ餘リ事態ヲ能ク知リマセヌド、サウ云フ風ニサウデナイコトヲサウ思ツテ居ルノカモ知レマセヌガ、併シ今日ノ「インフレーション」ノ狀態カラ見ルト、農家ハ食用自家保有米ノ外ニ、物々交換用ノ自家保有米、或ハ修繕用ノ自家保有米ト云フモノガアルダラウト思フ、是等ノ點ニ食ヒ込メテ供出ヲ求メタルコト云フコトハ、是ハ管理制度上當然ノコトデアリマス、併シ其ノ爲ニハ農家ノ生活ヲ確保シテ上デラレル爲ノ他ノ措置ハ必要ダト思ヒマスガ、ソレヲ縣廳、地方事務所、市町村ノ御當局ノ御斡旋ヲ戴キマシテ、農家ノ手許ニ自家保有米以外ノ餘裕米ガアルニモ拘ラズ、食用米ガナインド云フヤウナコトヲ懸ヘテ居ル事態ハ、是正ヲシテ戴クコト、ガ願ハシイト思ヒマス、併シ最後ノコトトシテ、是ハ地方長官等モ本當ニ食ヘナイ農家ヲ見殺シニスルコトハ私ハナカラウト思ヒマス、ソレヲ氣易ク取りマシテ、ソレハ當然ナコトダト云フ風ニ持ツテ行クコトハ、農村ノ指導上適當デナイ、ソコデ趣前トシテハサウ云フコトハナイイト云フコトヲ我々ハ思ツテ居リマスガ、是ハ非常ニ微妙ナ問題デアリマスカラ、我々ノ方モ十分注意シテ參リタイト思ヒマス

○齋藤(急)委員 此ノ邊デ質問ヲ打切ラウト思ツテ居リマシタガ、只今食糧管理局長官カラ、物々交換用ノ米ガアルデヤナイカ、斯ウ云フ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ確カニアルト思ヒマス、私ノ知ツテ居リマス所デドノ位アルカ分リマセヌガ、例ヘテ申シマスト魚ヲ買フ米、農具ヲ修理スル米、斯ウ云フモノハアルト思ヒマスガ、併シソレハナケレバ生キテ行カレナイ米デアリマス、ソレデ私モ實際問題ニ達者致シマシテ、ドウシタナラバ宜イカト云フコトヲ考ヘタノデアリマスガ、此ノ農畜デモ隨分問題ニナツテ居リマス、米價ノ引上デ、是ハ當然行ツテ行カナケレバ「カンフル」注射ガ效カヌデアリマス、後期制當ガ二回、早期制當ガ一回、是ガ失敗ニ終ツテ、アト農民ニ生産意欲ヲ昂揚セシムル爲ニハ、結局他物價ニ比較シテ農産物價ト云フモノハ正當ダト云フコトデ、米價ヲ正當ヅケル以外ニ「カンフル」注射ハナイノデアリマスカラ、米價ト云フモノヲ思ヒ切ツテ引上ゲテ戴キタイ、少クモ兩二百掛ニ相當スル反當三百五十圓ノ程度ノ收入マデニ引上ゲテ行カナケレバ、生産意欲ハ昂揚シナイノデアリマス、唯、コ、デ考ヘテ行カナケレバナラヌノハ、米價ヲ引上ゲルト同時ニ共同調整ヲ嚴重ニ、所謂法令化シテ戴キタイト思ヒマス、結局農民ガドレダケノ收穫ヲ取ツタカ分ラヌ爲ニ、總テノ問題ガ起キテ來ルノデアリマス、是サヘハツキリスレバ値段ヲウント吊上ゲテ、粗摺調整ヲ共同ニヤツテ、個々ノ收穫ガハツキリ致シマスレバ、問題ハ何モ起ラナイノデアリマス、之ヲ十分ニ御考ヘ下サイマシテ、單ナ米價吊上ゲテヤリマス、私ハ關ノ對象ニナラヌト思フ、米ノ値段ハ百圓ダカラ關相場ヲモット上ゲロ、從來ノ報奨制度ハ確カニ關相場ノ標準價格ニナツテ居ル傾向ガアル、懷口勘定ガ分ラナイカラ、供出サセル側デ幾ラ御願ヒヨシタラ宜イカ、アレハ幾ラ他ノ品物ト換ヘル米ヲ持ツテ居ルカ分ラナイノデアリマス、ドウカ此ノ際米

ノ値段ヲウント引上ゲルト同時ニ、初摺ノ共同調整トカ、所謂サウ云フ點ニ一ツ極端ノ御施策ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ地方ニ參リマス、一村デ「モーター」ガ五十モ七十モ遊ンデ居リマス、各個人々々デヤルノデアリマスカラ、米ヲヤル時ダケ「モーター」ヲ使フ、後ハ遊ンデ居ル、氣ノ利イタ村長ハ「モーター」ノ部分品ヲ強制的ニ外シテ行ツテ、一德所デ調整ヲヤリマス、ハツキリ收穫ガ分ルカラ、斯ウ云フ町村ハ供出ガ實ニ整然トシテ、何等ノ不平ガナイ、デアリマスカラ斯ウ云フ點マデ徹底シテ御施策ヲ願ヒマシテ、今度ハ十分農民ノ生産意欲ヲ昂揚スルヤウニ一ツ御願ヒ致シタイト思ヒマス

尙ホ最後ニ私ハ一言希望意見ヲ申述ベテ、此ノ質疑ヲ終ラントスルノデアリマスガ、只今食糧管理局長官ハ、色々ナ物ニ換ヘル米ガアルデヤナイカト言ハレマシタガ、色々ナ物ニ換ヘル米ガアル其ノ原因ヲ追求シテ見マス、結局農民ノ生活ニ必要ナ配給、消費ト云フモノガ一元化サレテ居ナイト云フ所ニ來ルデヤナイカト思ヒマス、此ノ問題ハ是非トモ此ノ議會中ニ解決シテ戴キタイト私モ要望シテ居ルノデアリマスガ、第一、議會ニ於ケル所ノ論議ガ輕々ニ取扱ハレテ居ルカラ斯ウ云フ結果ニ、陥ルノデハナイカト思ヒマス、此處デ是ダケ「私ノハ詰ラヌ議論デアリマスケレドモ、先輩諸君ハ大イニオヤリニナツテ居ル、善イコトダト考ヘタナラバ直チニ之ヲ行政ニ果敢ニ遂行シテ戴カナケレバ、此處デ如何ナル議論ヲ戰ハシテモ、時間ヲ費スダケデ何ニモナラヌト思ヒマス、第八十一回帝國議會デ農林團體法案ガ議題ニ供

セラレマシテ、アレダケノ論議ガ戰ハサレタ、速記録ヲ調ベテ見マス、同ヲ重ルコト十四回、ドレダケノ頁數ヲ變シテ居ルカト云フ、二百十頁變シテ居ル、サウシテ結局最後ニ農業團體法案ヲ通ス時ニ、アレダケノ論議ヲ盡シテ先聲諸公ハ各方面カラ農村問題ヲ突詰メテ行ツテ、ドウ云フ附帶決議ヲ付ケタカト申シマス、政府ハ農業團體ノ重大使命ニ鑑ミ速ニ農業關係團體等ニ對シ徹底ノ整理ヲ斷行シ其ノ業務ヲ農業團體ニ移譲セシムベシト云フ附帶決議ヲ付ケテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ農商大臣ハ必要ニ即シテ之ヲ斷行スルト云フ言明ヲ致シテ居リマス、サウシテ二箇年經ツテ又其ノ問題ガ今再返サレテ居ル、斯ウ云フヤウナコトデ、一體口デハ決斷行政ト云フケレドモ、決斷行政ニナツテ居ルカドウカ、苟クモ帝國議會ハ一億國民代表ノ聲ダ、其ノ聲ヲ擯ンデ行政ニ轉化スル所ニ初メテ決斷行政ノ希望ヲ遂行ノ途ガアルノデアリマス、二年前ニ附帶決議ガ出來テ居ルノニ、マダ一ツモ國策統制會社ノ整理ヲヤツテ居ラヌ、地方ニ行ツテ御覽ナサイ、モウ此ノ聲ハ不平怨嗟ノ聲デス、私ノ知ツテ居ル限リニ於キマシテハ、青果物統制組合カラ、是ハ軍ニ供出スルノダカラ大根ヲ出セト言ウテ來タラ、私ノ知ツテ居ル村デハ、自動車ヲ持ツテ來テ、ソレニ大根ヲ山ト積ンデ軍へ直接ニ之ヲ寄附シテシマツタ、ナゼカト云フト、大根ノ代金ヲ言ウテ居ルノデヤナイ、青果物統制組合ガ何等爲ス所ナクシテ掠リテ取ツテ居ル、其ノ掠リハ我々ハ此ノ決斷ニ於ケル所ノ國家トシテ必要ダト認メルカラ、俺ハアレニ一文モヤラヌト云フノデス、是

ハ全ク國家統制理論デハナイ、農民ガ此ノ不必要ナル所ノ國家統制會社或ハ統制組合ニ對シ、爆彈ヲ投付ケル所ノ形ダト思フ、斯クノ如ク農民ノ怨嗟不平ノ聲ガ巷ニ滿チテカラ之ヲナクシテシマツタトテ、不信侮蔑ヲ助長スルダケデアリマス、私ハ斯ウ云フコトデハ到底農民ノ生產意欲ヲ向上スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、モウ八十一年帝國議會ノ時カラ、此ノ統制組合トカ統制會社ト云フモノハ必要ダト決マツテ居ル、サウシテ二年經ツテ見テモヤハリ必要ダ、デスカラ之ヲ切ツテ行政ヲ決斷化シテ、農民ノ生產意欲ヲ助長スル、サウシテ大事ナ時ノ戰爭遂行ノ基礎タル所ノ食糧確保ニ、一ツ農商省トシテハ萬全ヲ期シテ效キタイト思フ、地方行政官ノ中ニハ斯ウ云フコトヲ言フ人ガアリマス、農業會ハ生産ヲサヘヤレナイノニ消費部面ガ受持タルカ、斯ウ言フ、併シハ洵ニ徹底シタル誤リニ陷ツタ議論ダト思フ、生産ノ右手ヲ與ヘ、消費ノ左手ヲ撈取ツタ所ノ不具者ノ形ニ置イテ、サアカラ出セト云ツテモ駄目デス、所謂生産、消費、配給ノ一元化ヲ農業會ニ與ヘテヤレバ、之ヲ一元化スレバ一人前ニ育チ上ガル、ソコニ農民ハ安心シテ魚ヲ買フ米、乃至ハ農機具ヲ買フ米ヲ餘分ニ持タナクテモ濟ム生活ガ實現ナルト思フ、ドウカ農業團體ヲ思ヒ切ツテ助長シテ、茲ニ要ラザル所ノ統制會社、統制組合ハ此ノ際全部整理シテ、ハツキリシタ所ノ決斷行政ヲ確立セラレマシテ、此ノ國家トシテ最モ大事ナ昭和二十年年度ノ食糧生産ニ萬全ヲ期セラレンコトヲ切ニ私ハ御願ヒ致シマシテ質問ヲ終リマス

○高橋委員長 ソレデハ午前中ハ此ノ程度ニ止メテ、午後一時ヨリ開會致シマス、是デ休憩致シマス
午後零時五十分休憩
午後一時十六分開議
○森部委員 是ヨリ開會致シマス
○森部委員 我ハ本會議或ハ豫算委員會ニ於テマダ餘リ多ク論ゼラレテ居ラヌ生鮮食料品、就中青果物、野菜ノ集荷、出荷、配給及ビ其ノ價格ト云フヤウナ問題ニ付テ、當局ノ御所見ヲ拜聽致シタイト存ジマス、私ノ申上ゲルマデモナク、決斷下ニ於ケル國民ノ食生活ノ安定ヲ圖ルコトガ如何ニ大事デアルカト云フコトハ、駁辯ヲ要シナイノデアリマス、而シテ食生活ヲ論ズル上ニ於テ、主要食糧ノ米麥ヲ重ク取扱フコトハ是レ亦當然デアリマスガ、同時ニ魚類及ビ蔬菜類ト云フ副食物ノ問題ヲ今少シク政府トシテハ、總テ二點ニ於テ之ヲ重ク取扱フコトガ必要デヤナイカ、現在ノ青果物、蔬菜ノ集荷或ハ配給ト云フヤウナ方面ニ對シテ、若シハ價格等ノ方面ニ付キマシテモ、其ノ法令カラ言ツテモ、或ハ豫算ノ方面カラ言ヒマシテモ、ドウモ我々ノ見ル所ハ甚ダ不十分デアルト思ツテ居リマスガ、此ノ國民生活ノ上ニ於ケル是等生鮮食料品ノ重要ト云フコトニ付キマシテ、ドウ云フ御見解ヲ持ツテ居リマスカ、生活物資局長ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○田中(省)政府委員 生鮮食料品ガ國民生活維持ノ爲ニ極メテ重要ナ食料デアルコトハ、只今御述ベニナリマシタ通りニ私共モ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ從來主要食糧ト主要食糧ト云フコトガ唱ヘラレテ、政府ニ於テモ、又地方ノ農業會等ニ於テモ、主要食糧ニ非常ニ力ヲ入レマシタ關係上、其ノ反面ニ於テ蔬菜等ノ結果ニ於テ輕シジタト云フヤウナ風ニモ思ハレルノデアリマス、左様ナコトハ洵ニ遺憾ナコトデアリマシテ、國民ノ食糧ヲ確保致シマスニ付テハ、米麥ノ主要食糧ト相並ンデ他ノ副食物、或ハ調味料ト云ツタヤウナモノヲ綜合シテ考ヘテ行カナケレバナラヌト云フノデ、御承知デモアリマセウガ、昨年ノ秋多作カラ、麥ト相並ンデ蔬菜ニ付テモ同様ノ重サヲ以テ作付面積ヲ確保スル、肥料ニ付テモ亦同様ニ考ヘテ配給スルト云フコトニナリ、農村ヲ指導セラレル地方ノ指導者、又農村ノ人々自體モ、蔬菜ト云フモノニ對スル考ヘヲ改メテ、麥ト同ジデアルト云フ考ヘデ是ガ生産ニ當ツテ實フト云フコトニ致シタ譯デアリマス、只今ノ御意見ニハ全ク同感ノ意ヲ表シマス

○森部委員 副食物、魚類、青果物ノ重要性ニ付テハ十分ノ認識メテ居ルト云フ只今ノ御答辯デアリマシタガ、引續キソレニ關聯致シマシテ一寸御尋ネ致シタイト思ヒマス、現在國家總動員法ニ基キ青果物ノ統制規則ガアリマシテ、ソレニ依ツテ重要ナ消費地帯ニ對スル野菜類ノ計畫の集荷、出荷、配給ト云フ所謂統制ガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、世間ノ一部ニハ相當有力ナ人々ノ中ニ於テモ、生鮮食料品、魚デアルトカ、或ハ野菜デアルトカ云フヤウナ物ハ、其ノ貯藏性ガ非常ニ低イ、又一方ニ於テハ其ノ種類モ非常ニ多岐ニ互ツテ居ル、其ノ生産セラレル時期モ年ニ數回生産セラレルト云フヤウニ、特殊ナ事情ガアル、隨テ生鮮食料品、野菜類ノ如キハ自由取引ニシタラ宜イデハナイカ、計畫の集荷、出荷、配給ヲ廢メテ自由取引ニ任シテシマツタラ宜イデハナイカト云フ說ヲ唱フル者ガ相當アルノデアリマシテ、私ハ其ノ論者ノ說ニモ一應首肯スベキモノガアルト思ヒマスガ、私等ガ實際體驗シテ居ル所カラ考ヘマス、今ソレ等ノ論者ノ言フ如ク、生鮮食料品殊ニ野菜類ノ集荷、配給ノ繩ヲ斷チ切ツテ自由取引ニシタルト云フコトニナリマス、恐ラク自己ノ職場ニ輸送機關、即チ「トラック」等ヲ持ツテ居ル大キイ工場、山或ハ軍部ト云フヤウナモノニ主トシテ品物が集マツテシマフ、乃至ハ農村ニ因縁或ハ知己ガアルト云フヤウナ特殊ノ案ダケニ品物が偏シテ、何等傳手ヲ持タナイ、又轉送機關ヲ持タヌ一般市民ノ生活ハ非常ナ窮境ニ迫リマシタレテ、結局生活ガ出來ナイト云フ結果ニ陥ルノデアリナカ、隨テサウ云フ一部ニ自由取引ヲシタラ宜イト云フ說モアリマスガ、ヤハリ私共ノ體驗カラ言ヘバ、合理的ナ統制ハ一層之ヲ強化シテ行クベキデハナイカ、非常ニ難カシイコトデアアルガ強化シナケレバナラヌノデアリナカ、即チ第一ハ計畫的ニ生産セラレタモノヲ計畫的ニ集荷シ、ソレヲ計畫的ニ出荷シ、ソレヲ消費地ニ於テ計畫的ニ末端ノ消費者ニ之ヲ配給スル、此ノ統制アル取引ヲナスコトガ必要デハナイカ、即チ結論的ニ申シマス、合理的統制ハ一層強化スルコトガ必要デハナイカト思ヒマスガ、之ニ對シテ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○田中(省)政府委員 只今御述ベニナリマシタ通り、青果物ノ如キ物ヲ計畫的ニ集荷、出荷、配給致シマスコトハ中々難カシイノデアリマスケレドモ、

全部ヲ自由取引ニ致シマスレバ、只今御述ベニナリマシタヤウナ工合ニナツテ、國民生活ノ確保ハ出來ナイデアラウト思ヒマス、ソコデ現在ニ於キマシテハ農商省ノ指定致シマシタ指定消費地域、即チ大消費地ニ付キマシタハ農商大臣ガ地方長官ニ出荷ノ制當ラシテ、サウシテ所謂計畫の三集出荷ヲシ配給ヲスルト云フコトニ致シテ居リ、其ノ他ノ地方ノ中小都市等ニ付キマシテハ、地方長官ニ於テソレニ、必要ナル方法ヲ執ルト云フコトニ相成ツテ居リマス、私ハ地方ノ中小都市ニ至ルマデ大消費地ト同ジヤウナ方式ノ統制ヲ強化シテ行クト云フコトハ、必要ハナイデアラウト思ヒマスガ、大消費地域ニ於キマシテハ、現在ノ統制ニ付テ更ニ實情ニ即シタ改善或ハ強化ヲ圖ルト共ニ、中小都市ニ付キマシテハソレハ、地方ノ實情ニ應ジテ、地方長官ガ然ルベキ統制ヲ加ヘ、或ハ非常ニ生産ガ官行ツテ之ヲ緩メテモ宜シイト云フ時ニハ、或ハ自由ニスルトカ、ソコニ地方ノ實情、生産ノ狀況ニ應ジテ、謂ハバ機動の措置ヲ執ツテ行クノガ宜シイノデハナイカ、全部全國のニ一律ニヤルト云フコトヨリモ、實情ニ應ジテ統制ノ改善或ハ強化ヲシテ行クノガ大體ノ方針トシテ宜シカラウ、斯樣ニ考ヘテ居リマシテ、只今ノ御意見ニハ全ク同感デアリマス

○森部委員　政府ハ昨年ノ四月ニ臨時閣議ヲ開キマシテ、決戰遂行上戰力増強ノ基地デアルト見ルベキ重要都市即チ六大都市、ソレニ北九州ヲ含ム福岡縣ノ七大地ニ對シテ、公的性質ヲ持ツタ統制會社ノ設立ヲナサシメテ、ソレニ出荷配給ト云フモノヲ現在掌ラシメテ居リマスガ、是等ノ重要ナル地

城、蔬菜類ヲドウシテ集メルカト云フコトニ對シテ、政府ノ執ツテ居ル現在ノ手段ハ所謂價格上ノ點デアリマス、即チ九月ノ初メニ政府ガ發表セラルマシタ通り、東京及ビ大阪ニ對シテハ監督價格、ソレカラ其ノ他ノ都市ニ對シテハ指示價格ト云フ特別ナル價格ヲ設ケマシテ、之ヲ極端ニ言ヘバ東京、大阪ニ對シテハ半鮮食料品ニ關スル限り一種ノ治外法權ノ區域アツテ、東京、大阪ニ於ケル統制會社ノ社長ノ欲シタ値段デ、農商省ノ監督ノ下ニ品物ヲ集メルコトガ出來ルト云フ制度ニナツテ居ルト承知致シテ居リマス、其ノ他東京、大阪以外ノ都市ノ所謂指示價格ニ於テモ、非常ニ彈力性ノアル緩ヤカナ方法デ、一般ノ公定價格ニ依ラズ相當ナ價格ノ引上ガ出來ルノデアリマス、即チ水ガ低キニ向ツテ流レ行クヤウニ、逆ニソレ等日本内地ニ於ケル最重要ナ都市ニ、價格ヲ吊上ゲテ其處ニ品物ヲ集メヨウト云フ、現在ノ政府ノヤリ方デアリマスガ、此ノ制度デヤツテ行キマス、蔬菜類ノ如ク非常ニ腐敗シ易ク、而モ非常ニ容積及ビ重量ガ多い爲ニ運賃ガ多ク掛ル、而モ品物其ノモノノ値段ハ安く、現在私ノ方ノ門司市ニハ非常ニ蔬菜類ガ少イ、其ノ爲ニ隣郡カラ大根ヲ「トラック」チ持ツテ參リマス、ト「トラック」一臺ノ大根ノ値段ハ公定二百五十圓、而シテ其ノ運賃ガ二百二十五圓掛ツテ居ル、サウ云フヤウニ大根トカ南瓜トカハ價格ガ非常ニ安い、而モ重量、容積ガ多いカラ運賃ガ大キク、價格全體ノ中ニ占ムル運賃ハ大ナルモノデアリマス、隨テサウ云フ一方ニハ貯藏性ガナク、物ニ依ツテハ二三日テ腐ルト云フ腐敗性カラ來ル目切レ、或ハ運賃ト云フモノヲ總

テ現在ハ消費若ニ轉嫁スルハ、即チ小賣價格ヲ高メテ行クト云フ制度ニ今ノ所ナツテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フ式デ行キマスト、生産者ガ消費若ト距離ノ非常ニ近イ所ニ住ンテ居ルヤウナ場合ハ、農家ガ自分デ作ツタ大根ガ自分ガ賣ル場合ハ十錢ダガ、隣リノ消費者ガ買フ場合ハ十八錢ニ消ツテ居ルハ、此ノ現實ヲ見テ生産者ハ其ノ生産費ヲ害スル、同時ニ一方ニ於テハ小賣價格ガ非常ニ高クナリマス關係上、市民ノ生活ヲ壓迫スル、同時ニ又蔬菜ノ場合ハ魚或ハ主要食糧ト運ツテ、都會周邊ノ市民ノ中ニハ、自分デ或ル程度ノ蔬菜ヲ作ツテ居ル人モアル、隨テ價格ヲ高メ、一切ノ中間ノ費用ヲ消費若ニ轉嫁スルト云フ行キ方ハ、私ハ決シテ良イ策デハナイト思フ、私ガ謂フベテ居ル所ニ依リマスト、六大都市並ニ北九州ノ所謂大臣指定地域ニ對シテ、蔬菜及ビ果物ノ入荷ハ昭和十八年ガ約三億圓トナツテ居リマス、ソレカラ昭和十九年、去年ハ約一億ヲ減ジテ二億圓程度デアリマス、假ニ此ノ一割ヲ政府ガ生産獎勵金ト云フヤウナモノデ出ストシマスレバ、昨年度昭和十九年度ノ實績ニ依レバ、僅カニ二千萬圓程度ノ金ヲ政府ガ出セバ宜イト云フコトニナルノデス、現在政府ガ此ノ監督價格及ビ指示價格ノ指定地域ニ對シテ、統制會社ニ平衡資金トシテ積立ヲ認メテ居ル金額ハ實上金ノ一割、結リ百萬圓取扱ツタ會社ニ對シテハ一割、十萬圓ノ調整資金ノ積立ヲ認メテ居ル、只今私ガ申上ガルヤウナ凡ソ一割程度ノ金ヲ政府ガ助成スルト云フコトニナレバ、生産者ノ意欲ヲ害スルコトモ非常ニ減殺サレ、一方ニハ消費者ノ負擔モ餘程輕減サレル、之ヲ現在ノ日本ノ食

糧政策カラ言ヒマス、主として、主要食糧ノ第一デアル所ノ米ニ對シテハ、基準ノ米價ガ石四十七圓、ソレニ對シテ一石十五圓五十錢ノ獎勵金ヲ出シテ居ルノデアリマス、其ノ獎勵金ノ税額ガ現在凡ソ六億四、五千萬圓程度、政府ハ現ニ支出シテ居ルヤウデアリマス、主要食糧デアアル米ニ對シテ生産獎勵金ヲシテ六億五千萬圓ノ金ヲ出スナラバ、國民生活ノ上カラ主要食糧ニ次イデ重要デアアル所ノ野菜ニ對シテ、其ノ一割ノ獎勵金ヲ出シテモ備刀ニ二千萬圓デ宜シイ、六億數千萬圓ニ對スル二千萬圓ト云フモノハ非常ノ寡少ナ金額デアリマス、思ヒ切ツテ政府ガソレ等ノ手段ヲ講ゼラル、ナラバ、今申シマスヤウニ農民ノ心理ニ及ボス影響モ非常ニ宜シイ、又消費者ノ生活基準モサウ上リマセヌシ、消費者ノ壓迫スルコトモ非常ニ少クナツテ來ル、政府ハ是等ニ對シテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、御同意ヲ致シタイと思ヒマス

○田中(中)政府委員　イト御意見ハ二重價格制度ヲ執ツタラドウカト云フ御意見ノヤウニ拜聴致シマシタ、御話ニアリマシタ如ク米麥ニ付テハ、政府ハ二重價格制度ヲ執ツテ居ル體デアリマス、此ノ二重價格制度ヲ蔬菜ニマデ及ボスカドウカト云フ問題ハ、中々重要ナ問題デ、財政上米ニ比べバ大シタ金額デナイデナイカト云フ御話モアリマシタケレドモ、此ノ米麥ニ行ツテ居ル二重價格制度ヲ他ノ食糧ノドノ限度マデ擴張シテ行クカト云フ問題トシテ考ヘマス時ニ、財政上ノ問題莫ク他色々ノ問題ガ起ツテ參リマスノデ、只今直チニソレヲ宜カラウトカ、或ハ惡イトカ云フハツキリシタ御答ヘヲ私カラ申上ゲル程度ニ至ツテ居リマセ

○露郵委員 只今ノ物資局長ノ御答持
御覽ヲ重ネテ行キタイト思ヒマス
ヌ、御意見トシテ十分ニ拜聴シテ更
デハ、私満足ノ意ヲ表スルコトガ遺憾
ナガラ出来ナイノデアリマス、一回カラ
上ニ、主要食糧ニ次イデ副食物トシテ
必要ナルは鱈ノ魚類及ビ蔬菜類ノ集
荷 出荷ト云フヤウノ供給ヲ最モ速達
ニナス爲ニハ、色シナ手ヲ打タナケレ
バイカヌノデス、其ノ爲ニハ今ノ政府
ガ執ツテ居ラル、價格措置ト云フモノ
モ決シテ悪ガアリマセウガ、只今中シ
マスヤウニ中間ノ費用ヲ殆ト消費スル
尊嫁セシメルト云フコトハ、私ハ公衆
同意ガ出来ナイノデアリマス、今日ハ
大臣モ御見エニナツテ居ラヌヤデア
リマスガ、大臣初メ首腦部ノ各位トモ
ク御研究願ヒマシテ、私ノ今申シマシ
タコトガ速カニ具現スルヤウニ御願
願ヒタイ、是ハ強ク要望ヲ申上ゲテ候
キマス

次ニ先刻申シマシタヤウニ、蔬菜ノ
六大都市及ビ北九州ノ農林大臣指定地
域ニ對スル及ビ北九州ノ數量ガ、昭和十八年
ハ約三億萬圓、去年ハ約二億萬圓、遊
ニ一億減ツテ居ル、而モ價格ハ或ル程
度上ツテ居ル、此ノ見地カラ言ヒマス
ト、蔬菜ノ現實ノ入荷ノ量ト云フモノ
ハ、凡ソ四割位減ジテ居ルノヂヤナイ
カト私ハ思フ、全國ニ於ケル最モ重要
ナル消費地帶デアル六大都市ト北九州
ニ對スル蔬菜ノ入荷量ハ、一昨年ニ比
ベルト去年ハ約四割減ニ近イ、之ニ對
シテハ其ノ起ツテ來ル原因ハ一面ニ於
テハ相常生産ノ減退ガアルノヂヤナイ
カ、勿論一方ニ於テハ農村ニ於テ生産
サレタ物ガ搬送其ノ他ノ關係デ消費地

ニ集マラナイト云フ關係モアリマセウ
ガ、生産ガ相當ニ減ツテ居ルノデヤナ
イカ、斯ウ云フコトモ考ヘラレル、今
段々議會問題ニナツテ居リマスル政
府ノ大キイ問題トシテ、食糧政策上、
燃料政策上取上ゲラレテ居ル甘藷ノ増
産、之ヲ飛躍的ニ二十七億或ハソレ以
上ニ増産サリマスレバ、其ノ及ボス
影響ガ、サナキダニ蔬菜ガ四割減ニナ
ツテ居ル上ニ更ニ又非常ナル減退ガ起
ツテ來テ、延イテハ一般消費者ノ生活
ヲ壓迫スルコト云フ結果ニ陥ルノデヤナ
イカ、サウ云フ方面ニ對シテ、所謂甘
藷ノ作付ノ計畫ヲ現ニ増進シテ居ル農
政局、或ハ主務課トシテハ澤山アリマ
セウガ、ソレ等ニ於テ蔬菜ノ或ル一定
量ノ確保、國民生活維持ノ最小限度ノ
蔬菜ノ供給量ノ生産ト云フコトニ對シ
テハ、ドウ云フコトヲ生活物資局ノ方
デハ關係局ト御協議ニナツテ、ドノ程
度ニ御自備ヲ持ツテ居ラセウカ、
御見解ヲ伺ヒタイと思ヒマス

各府縣當局、農業會等ニモ協力ヲ求メ
テ、其ノ確保方ニ付テ努力シテ參ツタ
ノデアリマス、今度諸ノ大増産ヲヤ
レルト云フコトニナリマス、只今御
話ノ如ク更ニ蔬菜ガ其ノ壓迫ヲ受ケテ
作付面積ガ減ツタリ、或ハ折角計畫ヲ
立テテモ、其ノ計畫面積ガ確保サレナ
カツタリスルコトガアリハナイイカト
云フコトヲ深ク憂慮致シテ居リマス、
ソコデ農政局トモ能ク連絡ヲ遂ゲマ
シテ、諸ノ増産ヲヤルケレドモ、其ノ
爲ニ蔬菜ノ必要ナル面積ニ食込マナイ
ヤウニ確保シテ作付ラシテ賣フヤウ
ニ、綜合作付ノ中ニ蔬菜ノ面積ヲハツ
キリ繰込メテ計畫ヲ立テテ賣ヒタイト
云フコトヲ要望シ、農政局ニ於テモ
其ノ繰込メ計畫ヲ立テテ居ツテ居ル
譯デアリマス、ソコデ計畫トシテハ蔬
菜ノ面積ヲ確保シ得ルと思ヒマスガ、事
實ニ於テ是ヲ確保サレナケレバナリマ
セヌノデ、シツカリ其ノ確保出來マス
ヤウニ私共トシテモ努力ヲ致シタイト
思ヒマス、各府縣或ハ農業會等ノ協
力ヲ得、農民諸君ノ蔬菜ニ對スル認識
ヲ確立シテ戴イテ、サウシテ蔬菜ノ生
産ヲ確保スル爲ニ更ニ一段ノ努力ヲ傾
注致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

ト云フモノヲ政府ハ認メテ居ルノデア
リマス、一定數量ヲ車ヲ挽イタリ、或
ハ其ノ他ニ依ツテ消費地ニ於テ之ヲ賣
ツテ廻ルコトヲ認メテ居ルノデアリマ
スガ、此ノコトガ、市民ノ生活ノ上カ
ラ言ヒマス、生産者ノ或ル一定量ノ
自由販賣、又販賣ト云フモノガアル
コトニ依ツテ、是ガ一ツノ緩和劑ト言
ヒマスガ、安全辨ナツテ市民ノ生活
ガ確保出來ル、是ハ是非トモ存シナ
ケレバイカヌト云フ論者ト、今度其ノ
反對ニ農業會側ノ、或ハ出荷團體、出
荷組合等ノ、青果物ヲ指定サレタ時期
ニ指定サレタ數量ヲ指定サレタ場所ニ
集メル、所謂集荷ノ責任ヲ持ツテ居ル
團體側カラ見マス、斯ウ云フ詰リ振
リ賣リ何時マデモ許シ、又斯ウ云フ自
由販賣何時マデモ認メルノデ、結局都
會地ニ於ケル消費者ガ農村ニ出テ來
ル、買出シヤル、所謂買出部隊ガ來
ハ、必ズ其ノ價格ガ公道價格トハ取引
ガ出來ナイ、即チ公道價格以上ノ價
格、所謂闇價取引スル、隨テ是ハ純朴
ナル農民ノ隱微引ト云フモノヲ一層磨
長スル好イ機會ヲ與ヘルコトニナル、
ノミナラズ一日ニ二賣目マデハ生産者
ハ賣ツテ宜イト云フコトニナツテ居ル
ケレドモ、實際ハ一日ニ二賣目モ二十賣
目モ賣ツコトハ、結局所謂集荷團體側
ニ賣ハセルト、是等ノ振リ賣、或
ハ買出シト云フヤウナモノ、生産者
ノ自由販賣ヲ認メバ我々ハ集荷ニ責任
ヲ負ヒ切レル、所謂振リ賣、或ハ買出
シ、生産者ノ自由販賣ト云フモノハ嚴
禁シテ賣ハナケレバ集荷ノ責任ガ負ヘ
ナイト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリ
マスガ、當局デハソレニ對シテドウ云

フ御考ヘラ持ツテ居ラセマスカ
○田中(農)政府委員 一定量ノ自由販
賣ヲ許スト云フコト、及ビ振リ賣ト云
フコトニ付キマシテハ、要否兩論ト申シ
マスガ、ソレハ只今御述ベニナリマシ
タ如ク私共モ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、ソコデ之ヲドウスルカト云フ問題
ニナリマス、私共ハソレハ蔬菜ノ生
産狀況ニモ依リ、又大消費地ニ近キ集
出荷ノ大イニヤル場所ト、ソレカラ地方
ノ中小都市附近ノ農村、サウ云フ場所
ト云フコトニ依ツテモ違フと思フノデ
アリマス、ソコデ全圖一律ニ之ヲ律ス
ル譯ニハイカヌノデハナイイカト考ヘテ
居リマス、ソコデ是ハ地方長官ノ權限
デ、一定量ノ自由販賣ヲ許スカ許サヌ
カ、或ハ振リ賣ヲ許スカ許サヌカト云
フヤウナコトヲ取決メ得ルヤウナ規定
ニナツテ居リマス、ソコデ地方ノ實情
ニ應ジテ此ノ制度ヲ運用シテ賣フノ
ガ、最も適當デハナイイカト考ヘテ居ル
ノデアリマス、全國一律ニイカヌト
云フ譯ニモ參ラズ、却テ地方ノ中小都市
ニ於キマシテハ、零細ナル產額ヲ振リ
賣等ニ依ツテ出サセルコトニ依ツテ緩
和スルコト云フ場合モアリマスノデ、結
論トシテハドウモ全國一律ニハイカヌ
ト云フ結論ニ、只今ノ所到達致シテ居
ル譯デアリマス

○農務委員 生鮮食料品ノ主要性、又
其ノ複雜性、特殊性ト云フヤウナモノ
カラ見テ、政府ニ於ケル行政ノ機構ヲ
少シ改メル必要ガアルノデヤナイイカト
思フノデアリマス、一例ヲ申上ゲマス
ニ、魚類ノ生産或ハ其荷、配給ト云フヤ
ウナ部分ニ付テハ、是ハ水產局ガ擔當サ
レテ居ルヤウデアリマス、而モ價格ノ點ニ
付テハ物價局デ關係サレ、蔬菜或ハ果
物ノ場合ニハ出荷、配給ト云フヤウナ生
活部側ニ觸ル方面ハ生活物資局デ擔當
サレテ居ル、然ルニ先般申上ゲマス
シヤウニ、政府ハ昨年ノ閣議決定ニ依ツ
テ監督價格ト云フヤウナ特殊ノ措置ヲ
講ジテ、價格ヲ吊上ゲルコトニ依ツテ
品物ヲ其ノ地點ニ集メルト云フ政策
ヲ執ツテ居ル以上、出荷、配給ト云
フヤウナ青果物ノ統制トハ全然不可
分ノコトデ、而モ米麥ト違ツテ非常
ニ種類ガ多イ、主要食糧ト云フノハ
米、麥、雜穀ト云フヤウニ、數量的ニ
ハ多イノデスガ、種類ハ非常ニ少イ、
現ニ今政府ガ指定サレテ居ル青果物ノ
出荷統制上ノ對象ニナツテ居ル野菜及
ビ果物ノ數ハ五十幾ツカニナツテ居ル
ト私ハ承知致シテ居リマス、隨テ其ノ
五十幾ツニ上ル各種ノ蔬菜、果物ノ種
類多シ、而モ年間開始終值段ガ違フ、
米ノ值段ナラバ一月カラ十二月マデ同
ジデアル、所ガ野菜及ビ果物ノ場合ニ
ハ、出盛リノ時ニハ值段ガ安ク、品物
ガ少イ時ニハ值段ガ高クスルコト云フヤ
ウナコトデ、一年ノ中デモ其ノ時々ニ
依ツテ值段ガ違フ、一箇月ノ中デモ上
旬ト下旬トデハ值段ノ違ツテ居ル場合
ガアル、サウ云フヤウニ五十幾種ニ上
ル青果物、而モ大根ニシテモ葉菜ニ
シテモ、一年中何同モ值段ノ違ツテ居
ルモノヲ、局ガ違ツテ居ル關係上非常
ニ價格ノ決定ガ其ノ時期ヲ失シ、或ハ
集荷ノ上カラモ、生産者ニ及ボス影響
カラ云ヒマシテモ、非常ニ適當デナ
イ、私ハ今日國民生活ノ安定ヲ圖ル上
ニ於テ、是等ノ魚類及ビ蔬菜類、即チ
生鮮食料品ト云フモノノ非常ニ重要性
ニ鑑ミラレマス、農商省ノ中ニ外局
デモ御作リニナツテ、生鮮食料品ニ關
スル一ツノ部局デモ作ツテ、其處ガ生
産、集荷、配給、價格、是等一聯ノ關

係ノアル行政ヲ擔當シテ、モウ少シキ
チンキチント其ノ時期ニ當テマルヤウ
ナ、機動性ノアル行政ヲヤツテ救キタ
イト思フノデアリマシテ、之ニ對スル
御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○農林中央金庫法中改正法律案委員會
生鮮食料品が國民生
活確保ノ上ニ最重要ナ地位ヲ占メテ
參ッテ居リマス今日ト致シマシテハ、
之ニ對スル思ヒ切ッテ行政措置ガ講ゼ
ラレナケレバナラヌコトハ申上ゲルマ
デモナイノデアリマス、此ノ點カラ致
シマシテ、只今御指摘ニナリマシタヤ
ウナ弊害モ當局ト致シマシテ、相當考
慮シナケレバナラヌコト考ヘテ居リ
マス、唯現在ト致シマシテハ、或ハ價格ノ點
ニ付キマシテ、或ハ作付ノ點供出ノ點、
配給等ノ點ニ付キマシテモ、ソレレ
所管ノ局部ハ分レテ居リマシテモ、同
ジ農商省內ノ機構デアリマスノデ、
出來ルダケ緊密ナル連絡ヲ取リマシ
テ、其ノ綜合的行政ニ付キマシテ機
宜ノ措置ヲ誤ラヌヤウニ致シテ居ル大
第デアリマスガ、併シ御述ベニナリマ
シタ點ニ付キマシテハ、十分考慮致シ
タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○農林中央金庫法中改正法律案委員會
質問者ガ大變多イヤウデ
アリマスカラ、極ク簡便ニモウ一、二
問御答ネ致シタイト思ヒマス、參與官
ハ先刻マダオイデニナリマセヌデシタ
ノデ、物質局長カラ御答ヘテ願ッタノ
デアリマスガ、現在政府ハ魚及ビ野菜
ニ對シテ所謂監督價格、指示價格ト云
フモノヲ採ッテ居リマシテ、六大都
市、北九州ノヤウナ重要地帯ニハ、サ
ウ云フ特別ナ價格操作ニ依ッテ品物ヲ
其ノ地方ニ集メル手段ヲ講ジタノデア
リマスアレドモ、殊ニ蔬菜ノ場合ハ腐
敗シ易イシ、而モ容積、重量ノ割合ニ
價格ガ安イ、隨テ價格ノ中ニ占メル運

賃ノ割合ガ非常ニ大キイ、サウ云フヤ
ウニ腐敗及ビ目切レ、輸送費ト云フヤ
ウナ中間ノ費用ヲ全部消費者ニ轉嫁ス
ル今ノヤリ方ハ、消費者ノ生活ヲ壓迫
シ、生活水準ヲ高メルト同時ニ、生産
者カラ見タ場合ニハ、自分ノ賣ッタ大
根十錢ノモノガ、隣ノ炭坑ノ坑夫ガ買
ッテ居ルノハ十八錢、二十錢デアルト
云フコトニ依ッテ、非常ニ生産者欲ヲ
阻礙シテ居ル、サウ云フ事實ガ澤山ア
ッテ、出荷ト云フモノガ計畫的ニ中々
行カナイ、隨テ私ハ先刻數字ヲ申上ゲ
タノデスガ、今茲ニ頂戴シタ表ヲ見ル
ト、米ノ生産獎勵金ガ六億一千萬圓出
サレテ居ル、蔬菜ト果物デ六大都市及
ビ北九州ニ入ッテ來タ數量ハ金額ニシ
テ二億圓前後デアリマス、其ノ一割

詰リ調整資金額立ガ一割デアリマスカ
ラ、一割程度ヲ政府ガ出セバ僅カ二千
萬圓、此ノ米ノ六億數千萬圓ニ對スル
二千萬圓ハ極ク僅少ナ金額デアリマ
ス、先刻物質局長ハ非常ニ難カシイ問
題ト言ハレマシタガ、ドウゾ一ツ、大
臣方ト十分御研究ヲサレコトハ結構
デアリマスガ、速カニサウ云フコトガ
具現セラレルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス、尙ホ御所見ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○農林中央金庫法中改正法律案委員會
先刻ノ御質疑ハ私ハ
承ッテ居リマセヌケレドモ、只今御述
ベニナリマシタ點ニ付テ考ヘテ見マス
ルト、現在ニ於キマシテ主トシテ重要
都市ニ生鮮食料品ヲ集荷致シマスル方
策トシテ、御指摘ニナリマシタ如ク、
政府ニ於キマシテ幾ニ機動的ノ價格ヲ
設ケタノデアリマシテ、之ニ依リマシ
テ相當ノ見レキ成績ヲ擧ゲテ居ルノ
デアリマス、而シテ之ニ對シマシテハ
只今御述ベニナリマシタ如ク、其ノ價

格差ヲ全部消費者ニ轉嫁シテ居ルトハ
限ラナイト考ヘテ居リマス、現ニ大都
市ニ於キマシテハ或ハ市會ノ決議等ヲ
經マシテ、市會ヲ以テ是ガ負擔ヲ致シ
テ居ルト云フヤウナ點モ多ク見受ケラ
レテ居ルノデアリマス、併シ斯様ナコ
トガ永久ニ續ケ得ラレルモノデアルカ
ドウカト云フコトニ付テハ、相當研究
ノ餘地ガアルト考ヘテ居リマス、之ヲ
御述ベニナリマシタ如ク、國庫ノ負擔
トシテ賄ッテ行カ、或ハ全部ヲ消費
者負擔トシテ行カト云フヤウナ點ニ
付キマシテハ、相當考慮ノ餘地ガアル
ト考ヘマシテ、現ニ研究中デアリマ
ス、今御述ベニナリマシタ點ニ付キマ
シテモ、十分御趣旨ノアル所ヲ諒致
シマシテ、研究ヲ電ネタイ、而シテ速カ
ニ解決點ニ到達シタイ

○農林中央金庫法中改正法律案委員會
森部君、先程カラ物質
局長ガ御見ニナリマシタ居リマスカラ、
物質局長ニ對シテ御質問ニナッテハ如
何デスカ

○農林中央金庫法中改正法律案委員會
先刻ノ問題ハ物質局長カ
ラ御答辯ガアルト思ッテ居ッタノデア
リマスガ、物質局長カラ御答辯ガアリ
マシタカラ、物質局長ハ宜シウゴザイ
マス——ソレカラ現在ノ食糧ニ對スル
政府ノ政策ノ中デ、米麥ハ御案内ノ近
リ政府ガ所謂買主ニナッテ、實際ニ買
入レル現物ハ、農業會ガ現業トシテ相
當世話シテ居リマス、而シテ一旦政府
ガ買上ゲタモノヲ食糧管理ラシテ配給
セシメテ行カト云フ現在ノヤリ方デア
リマシテ、而モ政府ガ米ノ買入ノ相手
方、所謂買主ニナル關係上、地方ノ縣
廳或ハ地方事務所、若シハ町村長ト
云フヤウナ方面マデ、凡ユル官民ガ非
常ニ力ヲ入レテ居ルカラ、供出詰リ出

荷ト云フコトガ兎ニ角大體豫定ノ數
ニ毎年行ッテ居ル、所ガ蔬菜ノ場合ニ
於テハ、別ニ政府ガ買ッテハナクテ、
政府ハ一ツノ規則ヲ出シテ、重要ナ地
域ニ對シテ、農業者ニハ指示シタダケ
ノ數額ヲ統制會社ニ覽レ、統制會社ニ
ハ買ヘ、斯ウ云フヤウナヤリ方デアリ
マス等ニ、地方ノ府縣廳ニ於テモ、或
ハ地方事務所ニ於テモ、行政ノ施策ノ
末端方面ニ於テハ、計畫的ノ出荷トカ
集荷トカ、斯ウ云フ方面ニ對スル懸念
ガ非常ニ弱イ、又農業者モ政府ガサウ
云フヤウナ弱イ措置ヲ講ジテ居ル關係
上、米麥ハ供出シナケレバナラヌ、是
ハ國民生活ノ安定上、何トシテモ割當
テラレタダケハ出サナケレバナラヌ、
併シ蔬菜ノ場合ハマア餘ッタモノヲ出
セバ宜カラウ、別ニ供出ト云フ觀念ト
ナイカラト云フ意味デ、供出觀念ト云
フモノガ農業者モ非常ニ低イノデアリ
マス、隨テ非常ニ腐リ易イ、而モ容積
ノアル蔬菜類ト云フモノガ、指示サレ
タ時期ニ、指示サレタ所ノ最、所謂計
畫通りノ出荷ト云フモノガ實際行ハレ
ニタイ、其ノ結果ガ東京ニ於テモ非常
ニ蔬菜ガ少イ、或ハ北九州ニ於テモ少
イト云フ現狀デアリマス、ソコデ私ハ
政府ノ心構ヘトシテ、此ノ生鮮食料品
ニ對シテモ、先刻カラ數回申シマシタ
ヤウニ相當ニ其ノ重要サヲ強ク認識シ
テ戴イテ、行政上ニモ色々サウ云フ風
ニ適當ナル手ヲ打ッテ戴クト同時ニ、
農業者ニ對スル供出觀念ノ教育ト言ヒ
マスガ、訓練ト申シマスガ、サウ云フ
モノヲモウ少シ與ヘル方法ヲ講ジテ、
計畫的ノ出荷——蔬菜モヤハリ米麥同様
ニ出サナケレバ、國民生活ノ安定ハ出
來ニタイノデ、斯ウ云フ觀念ノ教育ト
云フモノガ非常ニ必要デヤナイカ、斯

ウ思ッテ居ルノデアリマス、所謂生産
者ノ供出觀念ノ培養ト申シマスガ、涵
養ト申シマスガ、サウ云フコトニ對シ
テドウ云フ御考ヘヲ持ッテ居ラレマス
カ、又ドウ云フ施策ガアルカ、御答
シタイノデアリマス

○農林中央金庫法中改正法律案委員會
蔬菜ノ供出ニ付テ生
産者ノ懸念ト申シマスガ、サウ云フ風
ナ心持ヲドウ云フ風ニシテ今後擧揚シ
テ行カト云フ點ニ關スル御尋ネト存
ズルノデアリマスガ、御承知ノ通り生
鮮食料品、特ニ蔬菜ニ付テハ、從來中
央ニ於テ是ガ生産ノ計畫ヲ立テ、或ハ
之ヲ供出セシメルト云フコトニ付キマ
シテハ、ソレ程力ヲ入レナクともドウ
カ斯ウカ間ニ合ッテ來タノデアリマ
ス、所ガ最近ニ於ケル食糧事情等カラ、
政府ノ施策トシテ強ク推進シテ行カ
ケレバナラヌ現狀ニナッテ來タノデア
リマスアレドモ、併シ從來ノ沿革等ニ
鑑ミマシテ、政府ト致シマシテハ出來
ル限り行政措置ニ於テ之ヲヤツテ行キ
タイ、サウシテ出來ルナラバ消費地ノ
公共團體ト消費地ノ近クニ於ケル生産
地域トノ繋ガリ等ニ於テ之ヲ措置シテ
行カトコトガ適當デヤナイカト云フ風ニ
私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ爲
ニ政府ト致シマシテハ生産地ノ指定ト
云フヤウナコトヲ致シマシテ、出來ル
ダケ其ノ繋ガリヲ密接ニ濃厚ニヤツテ
行ク、例ヘバ東京ニ付テ考ヘマスレ
バ、東京ノ周邊ト出來ルダケ、其ノ五割
五分トカ六割ノ消費量ハ確保シテ、足
ラナイモノハ遠隔カラ持ッテ行ク、斯
ウ云フ點ニ付キマシテモ懸念其ノ他ノ
點ニ關シマシテ、政府ハ出來ルダケノ
便宜ヲ供スル、即チ出來ルナラバ其ノ
消費地ノ公共團體ト生産者トノ繋ガリ
ニ依ッテ、私ハ完全ヲ期シテ行キタイ

ト云フ考ヘヲ持ツテ居ル譯デアリマス
○森部委員 最後ニ希望ヲ一、二中上
ガ、中上ゲルマデモナク農村ニ於キマ
シテハ、蔬菜が相當減産シタトハ言ヒ
ナガラ、各農家ノ自家用ノ残りヲ集メ
マシレバ、マダ一村デ「トラクタ」ノ一
臺ヤ二臺ハ僅ニ集マル地方モ少クナイ
ノデアリマス、併シハ全ク小運送ガ
今非常ニ窮乏ニ爲ニ、消費地ニ品物ガ
集マツテ来ナイ現状ナノデアリマス、農
商省トシテモ是等ノ生鮮食料品ノ輸送
機關ノ確保ト云フコトニ付テハ、運輸
通信省トモ御折衝ニナツテ居ルハ思
ヒマスガ、一段ト是等ノ生鮮食料品ノ
輸送ニ對スル必要ナル輸送用、主トシ
テ「トラクタ」其ノ他ノ小運送機關デア
リマスガ、サウ云フモノノ充實ト申シ
マスガ、サウ云フ方面ニ御努力ヲ願
ヒマス
ソレカラモウ一ツ御願ヒラシテ置キ
タイト思ヒマスコトハ、先刻申シマシ
タ大都市及北九州、最近デハ廣島
及及モサウナツテ居ルヤウデアリマ
スガ、是等ノ重要地帯ニ對スル出荷、
配給ノ機關トシテ、統制會社ヲ作ラレ
タノデアリマス、併シドウモ生産者ノ
聲ヲ聞キマス、如何ニ出資者ガ公共
團體デアリ、性格ガ公共的性格ヲ持ツ
タ統制會社トハ言ヒナガラ、普通ノ農
家ノ限カラ見ルト、ヤハリハ株式會
社デ利益ヲ追求スル營利會社デ、殊ニ
我々ノ賣ツテ居ル野菜デ非常ニ其ノ會
社ハ儲カツテ居ル、利益ヲ非常ニ取ツ
テ居ルノドト云フヤウナ氣持ガ多分ニ
アルノデス、ソレデ出來得ベクンバヤ
ハリ此ノ統制會社、配給統制株式會社
ト云フヤウナ名前ヲ、是ハ恐ラク魚類
モ同ジデラウト思ヒマスガ、何トカ適

當ナ或ハ營團ト云フヤウナ名前ニデモ
シマスガ、之ヲ變ヘラレト云フコト
ガ、相當農民ノ心理ニ、是ハ何デモナ
イヤウデアリマスガ、微妙ナ關係ガア
ルヤウニ思、農村デ開クノデアリマ
ス、是ハ直チニ御即答ガ出來ナケレバ
適當ニ研究シ戴キマシテ、出來ルコ
トナラサウ云フコトヲ何トカ急遽ニ實
現サシテ戴キタイ、ソレ等ノ點ヲ希望
トシテ申上ゲテ置キマス、是デ質問ヲ
終リマス
○高橋委員長 前川君ニ御相談申上ゲ
マスガ、物價局長ハ御忙シイ中ヲ、午
前中カラ此ノ席ヲ保タレテ居ラレノ
デアリマスガ、若シアナタノ質問ノ中
ニ物價局長ニ對スル分ガ含まレテ居
ラ、ソレヲ先ニシテ戴キタイト思ヒ
マス
○前川委員 承知致シマシタ——私達
ハ最近ノ色々ナ政府ノ言明等ヲ聞キマ
シテ、主要食糧ノ價格ガ相當値上ゲサ
レルノデアルト云フコトヲ、期待シ確
信致シテ居リマス、恐ラク米ハ百圓ニ
引上ゲル、麥ハ七、八十圓、蕎麥ハ十圓程
度ハ最低限度ニ於テナサレル、私ハ斯
ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマシテ、又
サウナラナケレバナラヌト思ツテ居ル
ノデアリマスガ、ソレニ伴フテ他ノ農
產物價ヲ引上ゲテ呉レ、斯ウ云フ意味
デハナクシテ、ソレガ假令決マシ
テモ決マラナクテモ、ソレト全然切離
シテモ宜イノデアリマスガ、農水產物
ノ色々ナ方面ニ於ケル價格ノ間ニ於
キマシテ、非常ニアンバランスノ點ガ
アルノデアリマス、ソレガ度々公定價
格其ノ他訂正ハサレタノデゴザイマ
スケレドモ、支那事變前ノ食糧ノ價格
ガ、所謂嗜好品デアルトカ云ツタヤウ
ナ點カラ、色々ナ價格ガ自然ニ決定サ

レテ居リマシタモノガ、最近ハ食糧品ノ
價格ガ一變致シマシテ、今日ノ段階ニ
於キマシテハ所謂兵器ダ、軍需品ダ、
斯ウ云フコトヲ言ハレハ段階ニ於キマ
シテハ、食糧品ノ價格ト云フモノモ必
要ノ度ニ於テ、各、決定セラレナケレ
バナラナイト思フノデアリマス、單ナ
ル過去ノ實績若シハ過去ノ傾向ト云
フモノニ拘泥スルコトガアツテハナラ
ヌト思ヒマス、斯ウ云フ意味デ最近政
府ハ綜合作付ヲ計畫シテ居ラレノデ
アリマスガ、價格ガ正シク安定シテ居
ラナイ點ニ、折角ノ作付統制令ノ短ヲ
超エルヤウナ場合ガナイデモナイ、斯
ウ云フコトヲ考ヘマスル時ニ、農水產
物全體ノ價格ニ對シマシテ再檢討ノ餘
地ガアラウト思フノデアリマスガ、物
價局ニ於ケレバ之ニ對シテノ所見ガ
オアリデゴザイマスガ
○岡本政府委員 御説ノ通り農地綜合
作付ヲ執ツタ今日ニ於キマシテハ、其
ノ要望サレテ居ル各種ノ農產物ニ付
テ、價格ノ均衡ヲ得ナケレバナラナイ
ト云フコトハ、從前以上ニ其ノ必要ガ
加ハツテ居ルト信ジマス、隨テ左様ナ
不均衡アリト認メラレルモノニ付キマ
シテハ、逐次之ヲ改訂致シテ行キタイ、
斯様ニ考ヘテ居リマス、但シ言フマデ
モナク主要農產物ト云フモノ中核ニ
シマシテ、是ト說ニ合セツ、又例外
トシテ特殊ニ必要度ノ薄イヤウナモノ
ハ別ニ致シマスガ、綜合作付ニ致シテ
居ル重要ナ作物ニ付キマシテハ、今申
シタ趣旨ニ於キマシテ、改訂致シテ行
キタイト考ヘテ居リマス
○前川委員 逐次ト云フ御話ガアツタ
ノデアリマスガ、今ハ逐次ト云フヤウ
ナ言葉ハ許サレナイ非常ニ緊迫シタ情
勢下ニゴザイマスノデ、今後食糧ノ生

產計畫モ私ハ劃期的ナ手ヲ打タナケレ
バナラナイト考ヘテ居リマスガ、是ト
相違ナツテ居リマス價格ニ於キマシテ
モ、相當迅速ナ態度ヲ以テ御決定アラ
ソコト御願ヒ致シ置キマス
物價ニ對シマシテハ是デケデアリマ
スガ、續イテ工場疎開ノ問題ニ付テ御
尋ネシタイト思ヒマス、先日來ノ議會
ノ色々ナ委員會等ヲ見テ居リマスル
ト、本會議等デモアツタノデアリマス
ガ、最近ノ情勢カラ工場ハ急速ニ疎開
ヲスル、斯ウ云フコトヲ我々ハ聞イテ
居ルノデアリマス、所ガ今マデノ工場
疎開ト云フモノヲ見マスルト、又今マ
デノ工場ノ新シイ建設ヲ見マスルト、
大抵ノ場合ハ田舎ノ美田ヲ潰シテ參ッ
タノデアリマスガ、今日ノ工場ノ疎開
ノ性格ハスツカリ變ツテ居ルト思ヒマ
ス、空襲ト云フモノヲ前提トシテノ工
場疎開ガ考ヘラレルノデアリマシテ、
過去ノヤウナ徒ラニ美田ヲ潰サユウナ
コトハ餘リナイト思ヒマスガ、サウ云
フコトニ對シマシテ、軍需省ト農商省
トノ間ニハ、相當緊密ナル連絡ノ下ニ
此ノ計畫ヲ進メラレテ居ルト思フノデ
ス、又今後ソレニ對シマシテ農商省ト
シテハ、ドウ云フ方針デ以テ工場ノ急
速ナル疎開ニ對シテ、農地若シハ土
地ノ提供ヲナスカ、ドウ云フ方向ニ向
ケルコトヲ農商省トシテハ考ヘテ居ル
カ、斯ウ云フ點ニ付テ御尋ネラ致シタ
イト考ヘテ居リマス
○岡本政府委員 從來モ工場等ノ擴充
ノ爲ニ美田ヲ潰ス云フヤウナモノ
ニ付テハ、御承知ノヤウニ農地管理
令ノ規定ニ基キマシテ、嚴重ナル檢討
ヲ加ヘテ、工場擴充ノ必要ガアリマシ
テモ、美田ヲ出來ルダケ潰サナイヤウ
ニ、又工場ノ敷地ヲ一週ニ購入シマシ

テモ、食糧増産ニ利用セシメルヤウナ
強い條件ヲ付ケテヤツテ居ツタノデア
リマス、所ガ御話ノヤウニ最近ニ於キ
マシテ工場ガ色々疎開ヲシテ參リマ
スガ、是ハ軍需省方面トモ緊密ナル連絡ヲ
取ツテ居リマシテ、最近ノ工場ノ疎開
ハ新シク建物ヲ造ツテ居リマシテハ間
ニ合ハナイノデ、出來ルダケ元ノ建物
ヲ潰ス、又ハ利用スルコトヲ方法ヲ執
ツテ居リマス、又色々防空其ノ他ノ關
係上森林デアリマス、或ハ山地ノ
方面ヲ利用スルヤウナ方策ヲ執ツテ居
リマスルガ、是ハ農林方面カラモ出來
ルダケ左様ナ方針ヲ執ツテ實ヒタイノ
デアリマス、今日食糧増産ガ是程喧シ
ク言ハレテ居ルノデアリマシテ、農地
ナクシテハ食糧増産ハ困難デアリマス
ノデ、御話ノヤウナ點ニ付テハ軍需省
トモ十分連絡ヲ取り、工場ノ疎開ノ便
宜ハ勿論計ラヒマススケレドモ、食糧増
産ニ對スル影響ハ最低限度ニ之ヲ止メ
ルヤウニ、極力注意ヲ致シテ居ル次第
デアリマス
○前川委員 サウ致シマスルト農村ニ
ハ場所ハ色々ト違フ所ガゴザイマセウ
ガ、相當多クノ工場ガ參ルコトハ當然
デアリマシテ、又サウシナケレバナラ
ヌト思ヒマスガ、其ノ後ニ於ケル農村
ノ努力ノ問題ナノデアリマス、勞働力
ノ問題ガ考ヘラレルト思フ、勿論一方
ニ於キマシテハ戰時農業委員ノ指定ガ
アリマスケレドモ、或ル桿ガ出來テ居ルノデ
ゴザイマシケレドモ、今日ノ農村ノ實
情カラ見マスルト、相當多クノ農民ガ工
場ニ走ルモノト見ナケレバナラヌト思
フ、其ノ場合ニ於ケル農村ノ努力ノ不
足、是ハ一ツ大キナ新シイ問題トシテ
考ヘラレナケレバナラナイ問題トシテ
ヒマス、ソレニ對スル對策、ソレカラ

又、其ノ工場ガ参リマスルニ件ウテ色
多クノ都市ノ人達ガ農村ニヤツテ参
ルト思ヒマスガ、ソレ等ノ勞務ヲドウ
云フヤウニ農村ニ使ツタラ宜イカ、是
モ一ツ新シイ問題トシテ考ヘナケレバ
ナラヌト思ヒマス、勿論ソレニハ住宅
其ノ他色々ナモノモ關聯シテ參ルノデ
アリマシテ、一ツノ新シイ方法ガ今カラ
考ヘラレテ置カケレバナラヌト思ヒ
マス、尙又農閑期ニ於キマスル所ノ農
村ノ勞力、之ヲ又、例ヘバ會テヤツテ
居リマシテ農閑期ノアノ式ノヤウナ
デ、極メテ簡易ナ作業場等デ農村ノ婦
女子ノ勞力ヲソコニ又使フト云フコト
モ、是レ亦アリ得ルト思ヒマス、斯ウ
云ツタ工場ガ農村ニ参リマシテ場合
農村ト工場ト所謂農工一體化——
一體化トマデ行カナクテモ、ソコニ緊密
ナル結付キノアル一ツノ新シイ形態ガ
生レテ來ルノデヤナイカ、之ニ對シマ
シテ前以テ先手ヲ打ツテ一ツノ方針ヲ
以テ之ニ臨マナケレバ、唯自然發生的
ニ後カラ問題ヲ追駈ケテ行クヤウナコ
トデハナラヌト思ヒマス、是ハ極メテ
急速ヲ要スル問題デアリマス、ソ
レ等ニ對シマシテ一ツノ構想ガ農商省
ニ於テハオアリカト思ヒマス、ソレニ
附隨シマス他ノ問題モ澤山アルト思ヒ
マスガ、一應ソレ等ニ對シテノ御方針
ヲ承リタイト存ジマス

○西村政府委員 最近行ハレテ居リマ
スル工場疎開ニ件ヒマシテハ、工場方
面ニ於テモ、生産力ヲ減退サセナイ爲
ニ、熟練工員其ノ他工員ガ一團トナツ
テ疎開スルヤウナ方針ヲ執ツテ居リマ
ス、今俄カニ其ノ近所カラ勞務ヲ
工場ニ吸收スルヤウナコトハ比較的少
イト思ヒマス、併シナガラ色々ナ工場
ノ勞務ノ援助其ノ他ノ關係ニ於テ、相
當ナ勞務者ガ又工場ニ吸收セラレルヤ
ウナコトニモナルト思ヒマス、又御話
ノヤウニ工場ノ勞務ト農業ノ收入トノ
不均衡ノ問題カラ、農業關係ノ勞務者
ガ其ノ方面ニ走リタガリマシタリ、或
ハ生産意欲ヲ減退スルト云フヤウナ心
配ガ多分ニアルト思ヒマス、農業勞務
ノ關係ニ於テハ、從來ヨリモ段々具體
的ニ、其ノ地方ノ單ナル農業要員ノ數
ダケデナクシテ、其ノ地方ニ課セラレ
タル農業生産ニ必要ナル所ノ勞務ノ總
量ト云フモノヲ、季節的ニ各町村ナリ
各地區ニ付テ色々研究ヲシ調整ヲ致シ
マシテ、ソレニ依ツテ現在農業要員ヲ
確保シタケデハ、其ノ地方ノ農業生
産ノ完遂ガ困難デアルト云フヤウナモノ
ガ多分ニアルノデアリマシテ、是等ニ付テハ
他地方カラ勞務者ヲ農業要員ニハスレ
ルト云フ問題、又學徒等ニ付テモ、從
來ハ農業學校ノ生徒ダケヲ農業方面ニ
通年動員スルコト云フコトニシテ居
タノデアリマス、昨年ノ十一月カラ
閣議ノ決定ヲ以テ、國民學校ノ高等科
並ニ中等學校ノ低学年ノ相當ナ人數、
全體ノ六割位ト云フモノヲ農業方面ニ
通年動員スル、斯ウ云フヤウナ制度
モ執ツテ居ルノデアリマシテ、結局其
ノ地區全體トシテ、工場ヲ導入シタ場
合ニ於テ、農業生産トノ關係ノ勞務計
畫ト云フモノハ、全般的ニ其ノ地區ニ
於テ計畫的ニ考ヘテ其ノ按配ヲスル必
要ガアルト思フノデアリマシテ、其ノ
方針ニ向ヒマシテ著々進メテ居ル譯デ
アリマス、尙ホ只今御述べベニナリマシ
タヤウナ工合ニ、工員ノ家族等デ其ノ
地方ニ参リマシテ、其ノ勞力ヲ農業方
面ニ利用シ得ルト云フ者モ多分ニアル
ノデアリマシテ、是等ニ付テハ蔬菜ノ
關係デアルトカ、簡單ナ開墾ト云フコ

トニ付テハ之ヲ機動的ニ動かサヤウニ
致シマシテ——今度ノ議會ニ於テ乙種
増產隊ト云フモノノ豫算ガ更に倍額ニ
ナツタノデアリマスガ、是其ノ町村
ニ在住シテ居ル所ノ婦女子、又小國民
學校ノ生徒ト云フヤウナモノヲ廣ク入
レテ乙種増產隊トシテ、ソレノ自分
ノ中ノ農業經營、其ノ他ノ事業ニモ從
事致シマスケレドモ、朝早ク二時間デ
アルトカ、或ハ田圃ノ頃トカ、或ハ一
ト五ノ日ニハ機動的ニ隊長ノ下ニ動イ
テ除草ヲシタリ、收穫ヲ手傳フコト云
フヤウナコトヲ計畫的ニ進メテ居ルノデ
アリマスガ、工場ト共ニ疎開ヲ致シマ
シタ工員等ノ家族ハ、是等ノ中ニ編入
ヲ致シマシテ、出來ルダケ之ヲ其ノ地
方ノ農業生産ニ積極的ニ役立ツヤウニ
今後モ指導シテ参リタイ、斯様ニ考ヘ
テ居ル譯デアリマス

○前川委員 尙ホ農閑期ニ於ケル農村
婦女女子、サウ云ツタ工場方面ニ使
ル時期ガ來ルト私ハ思フノデアリマ
ス、今日ノ協力工場ガ、親工場ガ田舎
ニ参リマシテモ協力工場ハ出て行ケナ
イト云フヤウナ場合ガアルノデヤナ
イカ、サウ云ツタ場合ガ協力工場ニ代
ルベキ一ツノ仕事ト云フモノヲ田舎ニ
於テヤラナケレバナラヌ時ガ來ルノデ
ヤナイカ、協力工場ガ完全ニ全部地方
ニ行クコトニナラヌト云フコトガ必
アルト思ヒマス、サウ云フ場合ニ對シ
テ、既ニ農村ニ於キマシテハ、理研ノ
ア、云ツタ農舍設備單ナ「ドリル」ナ
ソカヤツテ見タ經驗モ既ニ持ツテ居ル
所モアルノデアリマシテ、農村ノ婦女
子ニモサウ云フヤウナ新シイ途ヲ開
ト云フコトモ、今カラ御計畫ニナツテ
居ツテ宜イノデヤナイカ、農村勞力ノ
足ラナイト云フノハ、或ル一定ノ季節

ニ足リナイノデアツテ、時ニハ過剩ナ
場合モアルノデアツテ、其ノ過剩ナル
勞力ヲ使フト云フコトハ、今日國民ノ
根コソギ動員ヲシテ一人モ殘ラズ無
ノナイヤウニ使フト云フ上カラ、非常
ニ重大ニ考ヘテ置カケレバナラヌコ
トデヤナイカト思ヒマスガ、如何デア
リマスカ

○西村政府委員 從來多少工場方面ニ
於テハ資材其ノ他ノ餘計ニ費ヒ、此ノ
際要員ヲ確保シテ置カケレバ將來ガ
案ゼラレルト云フヤウナコトカラ、無
暗ニ工員ヲ確保シヨウト云フヤウナ傾
向ガナキニシモアラズデアツタと思
フノデアリマス、又農業方面ニ於キマ
シテモ、農業要員ヲ確保シタナラバ、是
ハ絕對ニ手放サナイト云フヤウナ考ヘ
ガ、從來ナキニシモアラズデアツタ
思フノデアリマスガ、今日ノヤウナ時
局ニ於キマシテハ、勿論必要ナル限度ハ
ソレハ、工場ニ於テモ、又農村ニ於テ
モ確保スル必要ガアルノデアリマス
レドモ、更ニ機動的ニ、其ノ地方ノ農
業ノ事情ナリ、又工場ノ疎開其ノ他ノ
關係ニ依リ、工場ノ資材其ノ他ノ關係
ニ依リマシテ、機動的ニ相互ニ融通シ
テ、全體トシテノ生産力ヲ發揮スル
コト云フヤウナ措置ヲ執ルコトハ非常ニ必
要ダト思フノデアリマシテ、厚生省方
面トモ色々相談ヲ致シテ居リマスガ、
厚生省方面ニ於テモ、學徒其ノ他ニ於
テモ機動的ナ工場生産ノ方ノ部隊ヲ作
リマシテ、是等ノ各工場ニ付テモ融通
スル、又場合ニ依レバソレガ農村方面
ニモ出動シテ農業生産ヲ手傳フ、又、
農業方面モ勿論勞力ハ逼迫シテ居リマ
スケレドモ、工場ノ關係等ニ於テ必要
ナル場合ニハ、多少農業ノ閑ナ時期ヲ
選ンデ、二箇月工場方面ニ出動ス

ル、斯ウ云フヤウナ風ニ相互融通ヲ
致シマシテ、機動的ニヤルヤウナ工合
ニ、今後モ十分其ノ點ハ考ヘテ参リタ
イト思ツテ居リマス

○前川委員 私ハ、日本デ今マデ見ナ
カッタ農工ガ非常ニ緊密ニナツタ姿
ヲ、今後日本ノ農村ニ現ハシテ行ク場
合ガアルト思フノデアリマス、而モソ
レハ極メテ最近ニ於テ現ハレテ來ルト
思フノデアリマス、其ノ場合ニ先ヅ農
商省トシテ、又我々トシテ考ヘテ置カ
ナケレバナラナイコトハ、日本ノ最後
ノ力ハ私ハヤハリ農村ガ持ツテ居ルト
思フノデアリマス、是ハ精神的ニ見
テ、凡ユル面カラ見テ、日本ノ我々ノ
先祖ハ皆農民デアツタ、ソレガ色々
段々ニ職業ガ變ツテ参リマシタケレド
モ、一應日本人全體ガ農民トシテノ觀
ヲシナケレバナラヌ時ガ來ルト思フ、
幸ヒ今日都市ノ多クノ工員ガ農村ニ参
リマシテ、其ノ家族ノ者ガ農民デナク
トモ土ニ親シムト云フ機會ヲ與ヘラレ
ルト云フコトハ、非常ニ大キナル效果
ノ上ルコトデアルト思フノデアリマシ
テ、ソレニ對シマシテハ、先ヅ以テソ
レヲ受入レル所ノ態勢ヲ十分ニシテ置
カケレバナラナイト思フノデアリマ
ス、ソレガヤツテ來タラ其ノ時ニ合
ハスト云フノデナクシテ、ソレヲ受入
レテ農民のナ一ツノ精神ヲ以テ、都會
ノ工員ノ精神ヲ農民のナ精神ニ叩キ
直スノコト云フ、非常ニ大キナル氣魄ヲ
以テ之ニ對スル態勢ヲ前以テ立テ置
クト云フコトハ、今日此ノ情勢下ニ於
キマシテ、工場ノ疎開モシナケレバナ
ラナイト云フヤウナ情勢下ニ於テ、特
ニサウ云フ精神ガ必要ニナツテ來ルノ
デハナイカト思ヒマス、是等ニ付
キマシテハ尙ホ一層構想ヲ練ラレマシ

テ、十分ナル対策ヲ立テラレシコトヲ
願ヒマス

尙ホ續キマシテ、空襲ニ依リマスル
罹災者ノ対策ニ付キマシテ、昨日デア
リマシタカ、食糧管理局長官ハ、食糧ニ
付テ三月位ノ量ノモノヲ各地方ニ分散
シテ貯蔵シテ居ルコトヲ云フヤウナコトヲ
言ハレマシタガ、勿論相當我々ハ安心出
來ルト思ヒマスガ、最近ノ空襲ノ罹災
ヲ見マスル時ニ、一番ノ問題ニナツテ
居ルコトハ衣料ノ問題ト思ヒマス、食
糧ハ何トカ彼トカシテ間ニ合ツテ居リ
マスガ、衣料ノ問題ガ非常ニ困ツテ居
ルノデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニ
同ジ農商省ノ管轄ニアリマスル問題
ナンド、食糧ト共ニ衣料ニ對シマシ
テ、若シクハ住宅ノ資材トモ言ヒマ
セウカ、他ノ方面ニ疎開シテ出シマス
ルナラバ、ソレヲ持ツテ參リ、ズルヤ
ウナ対策ガ十分ニ御立チニナツテ居
ナケレバナラヌト思ヒマス、勿論ハ
内務省トモ關聯ノアル問題デアリマシ
テ、農商省ノモノ考ヘデハドウカト思
ヒマスケレドモ、其ノ案ガナケレバナ
ラナイト思フノデアリマス、現在唯漫
然トハ申シマセヌケレドモ、多ク田舎
ニ疎開シテ參リマス都會人ノ細君達
ハ、所謂貧民リトカ、農村ヘ廻相場
植付ケルヤウナ、餘リ芳バシクナイコ
トヲヤツテ居ルモノガアリマシテ、私
達ハサウ云フ人達ガ極力農村ニ役立ツ
ヤウニシナケレバナラナイト思ヒマ
ス、今マデニ於キマシテハ餘リ芳バシ
クナイ結果ヲ生シテ參リテ居リマス
デ、之ヲ農村ニ疎開セシメル場合ニ於
ケル対策、而モ罹災民ヲ其ノ場ニ於テ
救済スル対策、食料同時ニ衣料等ニ付
テノ準備、斯ウ云フモノニ對シテ一般

國民ノ安心スルヤウナ方針アリマス
カ、若シアリマシタナラバソレニ對シ
マシテ國民一億ガ安心出來マスヤウニ
御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○總見政府委員 空襲被害ノ問題ニ關
聯致シマシテ、私カラ御答ヘ申上ゲテ
置キタイト思ヒマス、實ハ空襲ノ頻度
ガ相當多クナツテ參ルコトヲ豫想ノ下
ニ、昨年ノ三月ニ閣議決定ヲ以テマシ
テ、防空備蓄ノ方針ヲ決定シタノデア
リマス、勿論ソレマデニ大東亞戰爭
勃發ノ當初カラ防空備蓄ノコトハ考ヘ
テ居タノデアリマスガ、具體的ニ數
量ヲ定メ、又保管ノ場所ヲ定メマシテ、
主トシテ分散備蓄デスガ、全國重要
防空都市ニ對シマスル衣食住ノ備蓄ヲ
始メテ居ルノデアリマス、數量ヲ按デ
申上ゲル際ニハ參リマセヌガ、食糧ニ
付テハ主食糧ノ外副食品、乳兒用ノ乾
「パン」、煉乳等ヲ合セマシテ、食糧
ノ備蓄ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソ
レカラ衣ノ方デアリマスガ、衣ノ方ニ
付キマシテモ毛布、蒲團ハ勿論ノコ
ト、肌膚、作業着、其ノ他軍手、縫
針、縫針マデ含マシテ居リマスガ、衣
ノ方ニ付キマシテモ相當數ノ現在備蓄
ヲ致シテ居ルノデアリマス、又住ノ方
ニ付キマシテモ、是レ亦數字ハ申上ゲ
ル際ニ參リマセヌガ、一定ノ戶數ノ目
標ヲ定メマシテ、ソレノソレニ必要
ナ資材、即チ木材デアリマスツカ、或
ハ釘其ノ他ノ住宅資材ガ一應ハ調ツテ
居ルコトヲ云フ情勢デアリマス、昨年ノ春
カラノ北九州ヲ初メ各地方ノ空襲ニ對シ
マスル防空備蓄ノ抽出シノ狀況デアリ
マスガ、從來ノ程度ノ空襲デアリマス
ト、始メ食糧ニ付キマシテモ微々タル
數量デアリマス、併シナガラ今後ノ空
襲ノ狀況ヲ考ヘマス、此ノ數量ト云

フモノハ相當御役ニ立ツコトヲ考ヘル
ノデアリマス、唯問題ハ、衣料ニ付キ
マシテハ先般來御聞及ビノヤウナ衣料
纖維ノ事情デアリマス、隨テ是ガ擴大
強化ト云フコトハ現在ノ情勢カラ申シ
マス中ニ困難ナノデアリマス、出來
ルダケ現在手持ノ衣料ハ、近郊或ハ田
舎ノ方ニ疎開ラシテ實ヒタイト云フ
デ、各防空都市ニ於キマシテモソレ
ゾレ手配ラシテ實ツテ居ルノデアリマ
スガ、併シナガラ急場ニ合フモノ
ハ、我々ト致シマシテハ十分用意致シ
テ居リマスノデ、此ノ點ヲ申上ゲテ置
キマス

○前川委員 配給ノ直接指導ニ當ラル
ルノハ一體何處ナシデセウカ、例ヘバ食
糧ノ場合ニハ食糧機關ガアリマスシ、
其ノ他色々小サイモノガアリマスガ、
衣ノ如キモノハ統制組合ノ如キモノガ
ヤルノデセウカ、ソレトモ區役所ト云
ツタヤウナ所ガヤルノデセウカ
○總見政府委員 現在備蓄ラシテ居リ
マスル機關ハ、食糧ニ付キマシテハ、
主要食糧、副食品ヲ合セマシテ、中央
食糧機關ガ備蓄ノ機關ニナツテ居リマ
ス、其ノ外衣料ニ付キマシテハソレ
ゾレノ統制會社ガゴザイマス、中央及
ビ地方ノ統制會社ガ備蓄ノ保管擔當機
關ニナツテ居リマス、之ヲ具體的ニ災
害ガアリマシタ場合ニ配給致シマスノ
ハ、市町村ガ中心ニナリマシテ、特別
ノ配給機關ヲ設ケテ用意ラシテ居
ルノデアリマス、之ニ付キマシテハ内務
次官、厚生次官、農商次官、此ノ三次官
通謀ヲ以テマシテ、既ニ一昨年カラ地
方廳ニ通達シテ、之ニ依ツテソレハ、
ノ態勢ヲ整ヘルヤウニ致シテ居リマス
○前川委員 食糧管理局長官ガ御見エ
ニナリマセヌガ、生活物資局長ニモ關

聯シテ質問ガアルノデアリマスガ、ソ
レマデ質問ハ續ケマスケレドモ、御連
絡ヲ願ヒマス、農政局長ニ伺ヒマス
ガ、現在第三次土地改良事業ガ進行シ
テ居リマシテ、二十八萬石ノ米麥ノ増
產ヲ目指シテ居リマス、所ガ一方又諸
ノ増產ガ劃期的ニナサレヨウトシテ居
ルノデアリマス、米麥ヲ作ル場所ト諸
ヲ作ル場所トハ違ツテ來ル譯デアリマ
スガ、第一次第二次ノ土地改良ハ非常
ニ成績ガ良カッタ、第三次モ成績ノ舉
ランコトヲ期待シテ居リマスガ、努力
ノ問題ト資材ノ點ニ於テ、今日ニ於キ
マシテハ既ニ土管ガ不足シテ居ル所モ
アリマスシ、竹ガ足りナイ、粗朶ガ足
リナイト云ツテ居ルヤウナ狀態デ、資
材難ガ土地改良ニ伴ツテ居ルト思ヒマ
ス、土地改良モ既ニサウ云フヤウナ所
カラ段々變ツテ參リマシテ、農道ニ重
點ヲ置イテ見タリ、特ニ速效的ナ客土
ニ重點ヲ置ケルヤウナ土地改良ガナサレ
テ居ルコトハ結構ト思フノデアリマ
ス、私共ハ資材ノ要ヲナイ客土中心ノ
土地改良ガナサレラバ非常ニ效果
的ダト思フノデアリマシテ、暗渠排水ト
云フヤウナ所ニ重點ヲ置キマシテハ、
資材ヲ要スルモノハ可ナリ困難ヲ感ズ
ル狀態デアルト思フノデアリマス、此
ノ土地改良ノ第三次計畫ガ現在行ハレ
テ居ル時ニ當リマシテ、甘藷、馬鈴薯
ノ徹底ナ増產計畫ガ政府ニ於テ立テ
ラレタ譯デアリマスガ、是ト現在ノ二
十八萬石ノ米麥増產ヲ中心トシテ、第
三次ノ土地改良計畫トガ旨ヲ結付キ合
フノカドウカ、ソレ等ノ土地改良ノ土
地以外ニ、甘藷、馬鈴薯ノ増產ヲ企圖
シテ居ルノデ、斯ウ云フヤウニ我々ハ
考ヘテ宜イノカドウカ、先ツ此ノ一點
ヲ伺ヒタイ

○西村政府委員 耕地ハ色々臨時農地
管理令等ニ依リマシテ、其ノ確保ニ努
力ヲ致シテ居リマスガ、最近三、四年
間ニ於キマシテ田畑ハ相當色々ノ方面
ニ使ハレテ居リマシテ、水田ノ面積、
普通畑ノ面積ハ相當ニ減少ヲ見テ居ル
ノデアリマス、左様ナ意味ニ於キマシ
テ開墾助成法ニ依リマシテ改田改畑ヲ
ヤリ、又第二次第三次ノ土地改良ニ依
リマシテ、二毛作田ヲ殖ヤスヤウニ
シ、其ノ他客土、農道ノ擴張等ラシテ
居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、
是等ハ何レモ一般ニ耕地ガ減少スルモ
ノノ補充デアリマシテ、此ノ補充ヲ致
シマシテモマダ耕地ハ減少スルヤウナ
實情デアリマス、左様ナ意味ニ於キマ
シテ土地改良ナリ開墾ノ方面ノコト
ハ、農村ノ勢力不足ノ折柄デアリマ
スケレドモ、極力是ハ進メテ參リタイ
ト思ツテ居ルノデアリマス、土地改良
ニ付キマシテハ只今御述ベニナリマシ
タヤウニ、今後ハ農道其ノ他資材ノ要ヲ
ナイモノニ力ヲ注イデ參ル積リデアリ
マス、尙ホ暗渠排水ノヤウナモノニ致
シマシテモ、幹線ニ付テハ土管ヲ若干
必要ト致シマスケレドモ、其ノ他ノモ
ノニ付テハ粗朶デアリマスツカ、或ハ
藥ノヤウナモノデモ數年間保ツノデア
リマシテ、農業者ガ自分ノ土地ヲ良ク
シ、之ニ依ツテ生産ノ増強ヲ圖ルコト
ヲコトニ付テハ、是ハ極力今後モ援助シ
テ參リタイ考ヘデアリマシテ、普通
ニ參リマシテ米麥ノ増產目標ヲ立テ
ルニ致シマスレバ、今日ノ現狀カラ二
百萬石、三百萬石ノ減少ハ已ムヲ得ナ
イコトデアリマスガ、是ハ土地改良ニ
依リマシテ二毛作田ヲ殖ヤシ、土地改
良ニ依ツテ收量ヲ增加スルコトヲ云フコト
ニシテ、少クとも面積ニ依ル所ノ減少

ハ、此ノ土地改良ニ依ツテ補ツテ行キ
タイト云フ方針ヲ以テ進ンデ居ルノデ
アリマス、併シナガラ只今御述ベニナ
リマシタヤウニ、甘藷ノ大増産ヲ圖ル
ト云フコトニナリマス、結局耕地ノ
面積ノ確保ヲ圖ラナケレバナラヌノデ
アリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ第
三次及比十九年度ノ土地改良ニ依リマ
スル所ノ改畑——畑ニ付テハ兩方合セ
テ六千町歩カリノモノヲ甘藷作ニ振
向ケルコトニ致シマシタ、又農地開發
費圖ガ改畑ヲ致シマシテ、之ニ依ツテ
マダ其ノ處分ノ濟ンデ居ラナイモノ
モ、此ノ際思ヒ切ツテ糖作ニ向ケル
コトニ致シマシテ、是モ三千數百町歩
アル譯デアリマス、尙ホ此ノ外ニ從
來ノ開墾ノヤウナ手ノ掛ツタモノデナ
クシテ、伐木跡地ヲ簡單ニ開墾スル
カ、或ハ土地ヲスツカリ掘起サシメ
兩側カラ土ヲ盛上ゲテ、其處ニ糖ヲ作
ルコト云フ簡易開墾、斯ウ云フ方面ニモ
極力此ノ際力ヲ注イデ、糖作ノ後ハ雜
穀其ノ他色々ノ物ヲ作ル、斯ウ云フヤ
ウナ風ニヤルコトニ致シ、是等ノ荒蕪地
其ノ他ニ付テハ四萬八千町歩ノモノヲ
開墾致シマシテ、糖ヲ植付ケルコト云フ
コトニ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ
軍用地其ノ他ノ土地ニ於テ、簡單ニ手
ヲ加ヘレバ之ニ糖ガ作レル、雜穀ガ作
レルト云フヤウナモノヲ極力利用シテ
行カウ、之ヲ要スルニ糖ノ方ハ畑デア
リマスノデ、此ノ程度ノ簡單ナル開墾
デ間ニ合フ、勿論本式ノ開墾ヲスレバ
收量ガ多イデアリマスガ、努力其ノ
他ノ關係デ急場ニ間ニ合ヒマセヌノ
デ、此ノ糖ノ方ハ簡易開墾其ノ他ニ依
リマシテ擴張ヲ圖ツテ行ク、普通ノ從
來ノ開墾ハ田畑ノ消耗ノ穴埋メヲス
ル、斯ウ云ツタ考ヘ方デ、進ンデ行キタ

イ積リデアリマス
○前川委員 農地開發費圖ノマダ處分
サレテ居ラナイ所ガ現在三千町歩アル
ンデスカ
○西村政府委員 處分サレナイモノ
ハモウ少シ多イデアリマスガ、豫定
ガ付キマシタリ、又水田デ米ヲ作ル
ト云フモノガ相當デアリマスノデ、畑ニ付
テ三千數百町歩ノモノヲ糖ニ向ケル
コトニ致シテ居ルノデアリマス
○前川委員 ソレデ結局五十四萬町
歩、二十七億圓ト云フ計算ガ出來ル譯
デ、能ク分リマシタ、尙ホ今ノ御説明
ニ依リマスルト、最近土地ガ非常ニ足
リナイ、而モ食糧ノ増産ハ緊要ノ要務
ニナツテ居ル、然ルニ一面ニト逆ノ現
象デアリマスル耕地ノ拋棄ト云フノガ
アルノデアリマス、是ハ非常ニ残念ナ
コトデゴザイマスルケレドモ、頻々トシ
テ私達ノ耳ニ傳ハツテ參ルノデアリマ
ス、是ハ何ト致シマシテモ、農民精神
ノ昂マラナイコトモシツノ原因デアリ
マスガ、又資金ノ差等ガ餘リニ有リ過
ギルコト云フコトモ一ツノ事由ニナリマ
セウシ、ソレカラ供出ノ方法等ニ於テ
モツト勘案シナケレバナラナイ點等
アリマス、洵ニ是ハ憂慮スベキ事態デ
ゴザイマシテ、此ノ重要ナ農民精神ガ
既ニ頹廢シ掛ケル一部分ガ現ハレテ參
タノガ土地ノ拋棄デハナイカ、斯様ニ
サヘ思フノデアリマス、私達ハ此ノ土
地拋棄ヲサセナイヤウニシナケレバナ
ラナイと思ヒマス、之ニ付キマシテハ
色々ナ案ガアルノデアリマスガ、又私
達ハ土地拋棄ヲサセナイ前提ト致シマ
シテ、今日飯米農家ト申シマセウカ、
百姓ニシテ同時ニ工員モ兼務シテ居ル
職工農家ト云フモノガアル、サウ云フ

農家ハ漸次殖ニ掛ケテ居ルノデアリマ
ス、更ニ是ガモウ一ツ脫落致シマス
ト、土地ヲ拋棄シテ都市ニ移ツシマ
フト云フコトニナルノデアリマシテ、
中間ニ漂流シテ居ルノガ職工農家、飯
米百姓ト云ツタ部類ニ屬スルと思フ
デアリマス、而モ此ノ數ガ段々殖エテ
參ツテ居リマス、是ハ地方ノ農村ヲ擔
當シテ居リマスル方々ニ於テモ非常ニ惱
ミノ種デアリマシテ、自己ノ飯米ダケ
ヲ作レバ宜イ、アトノ供出ノコトハ十
分考ヘナイ、ソレガ部落ノ他ノ一般ノ
者ニ影響ヲ及ボシテ、部落ノ平和ヲ害
スルト云フヤウナコトニモナツテ來テ
居ルノデアリマスガ、此ノ農地ヲ放ス
人、而モ自分ノ食糧ダケヲ確保シテ行
クト云フ農民ガ漸次殖エテ參リマスル
ナラバ、食糧ハ兵器ナリト云フ此ノ大
キナ命題ハ完成シナイ、是ハ何トカシ
テ打開シナケレバナラナイと思フノデ
アリマス、之ニ付キマシテ我々ノ今一
番考ヘナケレバナラナイコトハ、政府
モ長イ間努力ヲセラレテ居ルニ拘ハラ
ズ、效果ガ擧ラナイ所ノ自作農創設ノ
事業デアルト思フ、是ハ昨今以來非常
ニ大キナ規模ニ於テ自作農創設維持
ノ仕事ガナサレテ居ルノデアリマス
ガ、是ハ餘リ成績ノ見レベキモノガナ
イノデハナイイカト云フヤウニ考ヘテ居
ル、少クトモ政府ガ期待シタ程度ハナ
イ、斯様ニ思ヒマス、之ニ付キマシテ
ハ午前中木村委員カラモ御話ガアリマ
シタガ、私達ハ昭和十二年ノ十二月末
日現在ノ價格ト、賣買シタ時ノ價格ト、差
ニ際カル戰時利得稅全額ヲ廢止スベキ
デハナイイカト云フ意見ヲ持ツテ居ル、
農政局長ノ御説明デハ、政府ノ獎勵金
ニ對スル額ダケノ戰時利得稅ヲ廢止シ
テ居ルノダト云フヤウニ私ハ承ツタノ

デアリマスガ、ドチラデセウカ、私ハ
少クトモ平均出百二十圓トカ或ハ畑
九十圓トカ云フ價額ニ對シテハ戰時利
得稅ノ廢止ト云フノハ、寧ろ廢止ト云
フ名前ニナラヌノデハナイカ、ヤルナ
ラバ昭和十二年十二月末日ノ價格ト今
日ノ賣買スル價格トノ差等ニ對シテ
全體ノ戰時利得稅ヲ廢止シナケレバナ
ラナイと思フ、是ハ非常ニ自作農創設
ノ妨害トナツテ居ル、非常ニ其ノ難點
デハナイイカと思フノデアリマス、地主
モ最近ノ情勢カラ土地ヲ賣ラウトシテ
居ルケレドモ、ドウモ算盤ヲ彈クト面
白クナイ、引換リトナルノハ是ナンデ
ス、之ニ付テ農商省當局ハ大藏省ニ對
シテ、一ツ強ク押サレタドウカ、特
ニ政務次官等モ居ラレタデアリマス
ガ、是ハ非常ニ重大ナ問題デアリマス
シ、又今ノ大藏省トシテモサウ大キナ
問題トシテ考ヘナイ、金額ニ於テモ大
シタモノデハナイイカと思フノデアリマ
ス、國家ノ非常ナ大事ナ兵器ヲ造ル
基礎ニナル土地問題ヲ妨害シテ居ル
デアリマスカラ、強ク押シテ戴キタイ
ト思ヒマス、御見解ヲ承リタイ
○小山政府委員 仰セノ通り其ノ點ハ
非常ニ障礙ニナツテ居ルト思ヒマスカ
ラ、極力大藏省ト交渉ヲ進メタイト存
ジテ居リマス、唯今マデノ經過ヲ農政
局長カラ御聽キテ願ヒタイと思ヒマス
○西村政府委員 戰時利得稅ノ問題ハ
御話ノヤウニ二點ガ中心デアリマシテ、
私共極力大藏省ト交渉ヲ致シマシテ、
又上局ノ指圖ヲ受ケタノデアリマス
ガ、其ノ報獎金ニ對シテハ午前中申上
ゲタヤウニ全免スルト云フコトニ致シ
タノデアリマスガ、土地ノ價格ノ騰
貴ニ對スル部分ハ、戰時利得稅ノ趣旨
デモアリ、之ヲ輕減スルコトハ困難デ

アル、御話ノヤウニ其ノ報金額ハ僅カ
デアルノデアリマスケレドモ、今非常ナ
増稅ノ行ハレテ居ル際、實際ニ土地ノ
價格ハ上ツテ居ルノニ、ソレニ付テ全
面的ニ免除スルト云フコトハ困難デア
ル、斯ウ云フヤウナコトデ、折衝ハ其
ノ儘ニナツテ居ル譯デアリマスガ、
取敢テ今度ノ議會ニハ、其ノ報獎金ノ
部分ダケヲ法律ニ依リマシテ免除スル
ト云フコトニ致シテ謝デアリマスガ、
只今政務次官カラモ申上ゲタヤウナ次
第デ、尙ホ私共モ此ノ點ハ自作農ヲ今
後積極的ニ進メル意味ニ於キマシテ、
十分一ツ考慮ヲシテ行キタイト考ヘテ
居リマス
○前川委員 是ハ農商省當局ノ大藏省ニ
對スル力ガ足りナカッタデヤナイイカト
思フ、自作農創設ハアレ程ノ大計畫
以テ、而モ日本ノ土地制度ノ上ニ於テモ
ツト手荒イ方法モ考ヘラレルケレド
モ、此ノ點ニ一應妥協シテ、サウシテ
一ツ土地問題ノ解決ヲ行カウト考
ヘテ居ル、ソレ程ニ大キナ問題ナンデ
ス、自作農創設維持ト云フノハ、單ニ
大正十五年頃カラヤツテ來タ其ノ流レ
ヲ汲ンデ居ルノダト云フ考ヘデハイカ
ヌト思ヒマス、食糧ハカリデモ國內ノ
需給趨勢ヲ執ラネバナラス、又公式ニ
ハ、今デハ日滿支一體化ト言ツテ居
ル、サウシテ滿洲ノ食糧ガ日本ニモ非
常ナ影響ヲ與ヘテ居ル、支那ノ食糧ト
滿洲ノ食糧ト問題ヲ考ヘナケレバナラ
ヌト云フ時ニ、本當ニ支那ノ農民ヲ援
マヘヨウトスルナラバ、支那ノ農民ノ
魂ヲ捉マヘナケレバナラス、日本ノ對
支外交ヲ見テモ分リマスガ、大體ニ於
テ上層階級ノ者ダケヲ擲ツテ居ル、軍
閥トカ、財閥トカ、要人ダケヲ擲ツテ居
ル、支那ノ生産民ヲ日本ノ對支外交ハ

掘ツテ居ラナイ、支那ノ生産者ハ農民
デアル、此ノ農民ノ魂ヲシカリ掘ル
ヤウナ案ガ立ツナラバ、私ハ日本ト支
那トノ問題ハ割合ニ早ク行クンデヤナ
イカト思フ、其ノ支那ノ農民ノ魂ヲ掘
ムノニ一番ノ捷徑ハ何カト云フ、土
地ノ問題デアリマス、滿洲ハ幸ヒニ致
シマシテ、例ノ開拓農場法ニ依リマシ
テ、滿人ノ農民ノ諸君ハ土地ノ安定ガ
出來テ居ル、此ノ東亞ノ盟主ヲ以テ任
ジ、而モ日本ガ、土地問題ノ解決ヲ此ノ
先驅ノ日本ガ、土地問題ノ解決ヲ此ノ
自作農主義ニ依ツテ行カウトシテ居
ル、滿洲ハ進メテ方法ヲヤツテ居ル、
支那ノ農民ニ對スル土地ノ政策、日本ノ
案ハ斯様ナモノト示シテ、農民ヲシ
ツカリ掘ルナラバ、大キナ手ガ打テル
ト思フ、サウ云フヤウナ非常ナ大キナ
内容ヲ持ツタ自作農創設ノ問題デア
ル、地主ガ土地ヲ賣ルトカ賣ラヌト
カ、小作人ガ買フトカ買ハヌトカ、今
マデヤウナ來タ引續キデヤツテ居ル
カ云フヤウナ輕イ意味ノ自作農創設
ハナイト思フ、本當ニ日本ノ農民ガ土
地ノ上ニ安定ヲ感ジ生命ヲ打込ンデ、
土地ト農民ノ魂トガビツタリ合フ所ニ
來タ時ニ、本當ニ農民ト土地トガ一體
化スルノデアアル、サウ云フ重大ナル土
地ノ問題ノ解決ノ一ツノ方法トシテ、
自作農創設維持ノ問題ガ考ヘラレテ
居ル、ソレハ而モ急激ニ昨年度カラ大
キナ計畫ノ下ニナサレテ來タ、其ノ最
モ大キナ支障トハ言ヘマス、マイケレド
モ、一ツノ難關ト認メラレノガ、戰
時利得稅ノ問題デアアル、是ハバカリノ小
サイ問題デアアルカラ、農商當局ガ、此
ノ土地問題ノ大キナ考ヘ方カラ行クナ
ラバ、大蔵省ナドハ直グ傾クト思フ、
百八十五億ノ財源ノ中デ此ノ戰時利得

稅ガ幾ラアルカ、極メテ微々タルモノ
デアリマス、是ハ一ツノ氣魄ノ問題デ
アリマシテ、サウ云フコトハ強ク大蔵
當局ニ折衝シテ、是非廢止シテ貰ヒタ
イト思フ
ソレカラ尙ホ自作農創設ノ場合ニ、
土地ヲ賣リタガラナイ一ツノ理由ガア
ルト思ヒマス、同一町村內ニ居
住シテ居ル地主ガ、保有米ガ容易ニ手
ニ入ル爲ニ、農村指導ニ任ジテ居リ
マス地主諸君ニ對シテハ、大イニ敬意
ヲ拂フシ當然ダト思ヒマスガ、小サナ
村ハ宜イガ、大キナ町ヤ市ニナルト、
農民トハ全然關係ノナイ者ガ、白イ
米ヲ食ヒタイバカリニ土地ヲ買ツテ、
サウシテ保有米ヲ取ツテ居ル、斯ウ云
フ農村ニ何等ノ寄與ヲシナイ者ガ、土
地ヲ唯名前ノ上ダケデ所有シテ、保有
米ヲ獲得シテ居ルト云フ事實ガアリマ
ス、私ハ實際ノ農村ノ指導ニ任ジナイ
地主、名前ダケノ地主、同一町村ニ居
住シテ居ルト雖モ、指導モ何モ出來ナ
イ地主ニ對シテハ保有米ノ、寧ろ廢止
シテ、一般ノ二合三斗ノ配給ヲ満足シ
ト云フヤウニ、強ク進メル方ガ宜イノ
デヤナイカト思フ、保有米ヲ得タイ爲ニ
自由ニ土地ヲ買ヘナイカラ、其ノ連中
ハ關デ買ツテ居ル、本當ニ耕作シタイ農
民ガ買ヒタクモ買ヘナイト云フ實情ニ
ナツテ居ル所ガアル、私ハ農商當局ハ
今申上ゲマシタヤウナ地主ニ對シテハ
保有米ヲ廢止スル意思アリト云フヤウ
ニ言ツテ貰ヒタイ、サウ一週ニ言ヘナ
イト云フカモ知レマセヌガ、ソレニ對
シテドウ云フヤウニ考ヘテ居ラレ
カ、御考ヘテ承リタイ

○國府府政委員 自作農ハ只今色々御
述ベニナリマシタヤウニ、農業生産ノ
根本ノ問題デアリマシテ、土地ノ問題
ニ付テハ及バズナガラ研究努力ヲ致シ
テ居ル積リデアリマスガ、今後一層促
進ヲシテ參リタイト存ジテ居リマス、
不在地主ノ保有米等ノ問題ハ、始終問
題ニナルコトデアリマシテ、又小作料
ヲ金納小作料ニシタ方ガ宜イト云フヤ
ウナ議論モ、多分ニ出テ居ルノデアリ
マシテ、是等ノ小作料ノ問題等ト考ヘ
マシテ、自作農ノ促進ニナルヤウニ、
保有米其ノ他ノ關係モ、食糧管理局ト
打合せ、上局ニモ相談シテ、適當ニ考
慮致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○前川委員 特ニ其ノ點ヲ御願ヒ致シ
タイト思ヒマス、ソレカラ昨年モ御話
ガアツタノデアリマスガ、土地ヲ賣
ラナイ地主ニ對シテ政府ハドウスル
カ、是ハ自作農ノ一番大事ナ鍵ニナル
ノデアルト云フ質問ニ對シマシテ、勸
獎スルノダト云フ御話ガアツタノデア
リマス、一年間オ勸メニナツタ結
果、一體ドウノ程度ニナツテ居ルカ、餘
リ其ノ結果ガ芳バシクナイナラバ、此
ノ勸メノ方法ニ付テ、何カ御考慮ガ
アルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ、
○西村府政委員 自作農ノ創設ノ場合
ニ於テ、土地ノ賣却ヲ強制スル方ガ自
作農ノ促進ニナルコトハ、仰セノ通りデ
アルノデアリマス、昨年カラ自作
農ノ創設事業ヲ開始ノ二大キ進メテ
參ツタノデアリマス、色々農地委
員會等ノ運用ニ依リマシテ、地主ニ十
分勸獎ヲ致シマス、現在ノ所
デハ自作農ノ創設ニ於テ頑固ナ地主ガ
アツテ、土地ノ獲得ガ出來ナイト云フ
事例ハ比較的少イト思フノデアリマシ
テ、現在ノ所ニ於テハ、是ハ大キナ障礙
ニナツテ居リマセヌ、併シソレハ尙ホ
將來考究スル必要ガ十分ニアルト考ヘ
マス

○前川委員 朝木村君ノ質問ニ對スル
御答辯ニモ、只今ト同ジヤウナ御答辯
ガアツタノデ、私ハ殊更同ジコトヲ二
度御伺ヒシタノデアリマス、ソレハ農
政局長ノ見解ト私達ノ見解トハ全然逆
デアリマス、事實上賣ラナイノデアリ
マス、今日ノ採算カラ見マシテモ、土
地ヲ持ツコトハ有利ナリト云フ考ヘ方
ノ地主モアリマス、ソレカラ米價ガ恐
ラク近ク上ルト云フコトハモウ既ニ分
ツテ居ルノデ、尙ホ私ハ賣ラナクナル
ト思ヒマス、ソレハ單ニ獎勵ニナツテ居
ル、農政局長ハ賣ラナイト云フ話ハナ
イト云フ御見解ナラバ、是ハ非常ニ實
際農村ニ居ル私達トノ考ヘ方違フガ
デアリマス、是ハ根本ノ二話ノ反リガ
合ハナイコトニナルノデアリマス、各
府縣廳カラドウカ報告ガ來テ居ルカ
ハ知りマセヌガ、事實上自作農ノ創設
ニ付テ我々中ニ入ツテ走り廻リマス
レドモ、中々賣ラナイ、是ハ一ツ農政
局長ノ認識ヲ改メテ戴カレバ、是
カラノ話ガ進マヌコトニナルノデス
ガ、何ヲ骨子ニサウ云フ風ニ御考ヘガ
生レテ來タノカ、承ツテ置キタイ
○西村府政委員 農村ノ實情ヲ私共モ
色々承ツテ居ルノデアリマスガ、勿論地
主ガ二ツ返事デ土地ヲ賣ルト云フヤウ
ナコトハナク、色々個々のニハ御話ノ
ヤウナ點ガ支障ニナツテ居ルコトモ十
分知ツテ居ルノデアリマスガ、農地委
員會、小作官等ノ相當強イ勸獎ニ依ツ
テ、或ル程度ノ效果ヲ擧ゲテ居ルコト
ハ、十分私共モ承知ヲ致シテ居ル譯デ
アリマス
○前川委員 小作官ハ其ノ縣ニ依リマ
シテ、小作官個人ノ能不能ニ依リマシ
テ、非常ニ效果ヲ擧ゲテ居ル小作官モ

アルノデアリマス、農地委員モ人選ニ
依リマシテハ、非常ニ效果ヲ擧ゲテ居
ル場合モアリマスガ、私達ノ知ツテ居
リマス、限リデハ、農地委員ハ土地ヲ
賣ルコトニハ協力ヲシナイ側ノ人ガ多
イト云フコトハ事實デアリマス、寧ろ
居ルナラバ自分カラ賣ラナケレバナ
ライコトニナルノデアリマシテ、表面
デハドシナ綺麗ナ言葉ヲ用ヒマシテ
モ、肚ノ底デハ成ベクハ賣リタクナ
イ、斯ウ云フヤウナ態度ヲ露骨ニ現ハ
サヌケレドモ、サウ云フ心ヲ持ツテ居
ル人ハ相當多イノデアリマス、中々サ
ウ簡單ニ土地ヲ賣ルヤウニハ農地委員
會ノ力デハ出來ナイノデアリマス、小
作官ノ方ハ割合ニ效果ガアルヤウデア
リマスガ、サウ云フ御見解ハ尙ホ一層
御調査戴キマシテ、土地ハアルガ地主
ハ賣ラナイモノデアルト云フ考ヘ方ハ
私達事實地方ニ居ツテ持ツテ居ルノデ
アリマス、モウ一度御検討戴キマ
シテ、尙ホ私達ノ申シマスコトガ正シ
イノデアリマスガ、若シサウ云フ御見
解ニ一致ガ出來マヌナラバ、土地ヲ賣
ルヤウニ獎勵スルノ獎勵方ニ付キマシ
テモ、モウ一段ノ工夫ヲ願ヒタイト思
フノデアリマス

次ハ極ク簡單ナ點デアリマスガ、農
產物ノ國營檢査ノ問題デアリマス、是
ハ最近餘リ多クノ聲ヲ聞カクナツテ
來タノデゴザイマスガ、森ニ依リマス
ト集合檢査ヤアルコトガアルノデアリ
マス、農業倉庫マデ持ツテ行ツテ檢査
ニ持ツテ行ク、非常ニ多クノモノガ殺
到シテ來テ其ノ日ハ檢査ガ出來ナカ
シタ、又持ツテ歸ル、是ハ實ニ農民トシ
テ困ツテ居ル場合ガ多イノデアリマ
ス、ヤハリ昔懷カシイ農家ノ庭先檢査

第六類第九號 農林中央金庫法中改正法律案委員會議錄 第四回 昭和二十年二月一日
五

ニシテ吳レヌガ、斯ウ云フ聲ガ最近農村カラ起上ツテ來掛ケテ居ルノデアリマス、是ハ勿論検査員ノ人数等ノ問題モ關係スルトハ思ヒマス。勿論検査ノ内云フヤウナ簡單ナ手續ヲ此ノ際御考ヘ願ヒタイと思ヒマス、勿論検査ノ内容ニ付キマシテハ、會テノヤウナ議論ハ減ツテ參リマシタ、勿論國營検査ト云フモノハ實ラ是クシヨウ、商品價值ヲ高メヨウトスル時代ニ出來テ來タ遺物デアリマシテ、量ヲ多ク獲ラナケレバナラヌト云フ今日ノ食糧問題ニ對シマシテハ、大分變ツテ來テ居リマス。勿論、検査ノ内容デハ大シテ問題ハアリマセヌガ、手續ノ煩瑣ト云フコトデ、勞力不足ノ場合非常ニ困ツテ居ル、モツト簡易ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ聲ハ恐ラクドノ地方ノ農村ニ參リマシテモ非常ニ強イデアリマスガ、何カ御考ヘガアレバ承リタイと思ヒマス、是ハヨク考ヘテ戴キタイ點デアリマス。

○西村政府委員 農産物ノ検査ハ御話ノヤウニ、從來ハ其ノ聲價ヲ高メルト云フヤウナ意味デヤツテ居リマシタケレドモ、現在ニ於キマシテハ指導検査デアリ、又米麥等ニ付キマシテハ、此ノ検査ガ其ノ地方ニ於ケル所ノ實際ノ數量ヲ確保スルト云フ、一ツノ管理上ノ役目ヲ持ツテ居ルヤウナコトニナルノデアリマシテ、此ノ検査ハ勿論進メテ參ル考ヘデアリマスガ、検査ノ方法等ニ付キマシテハ、検査員等ノ數ガ非常ニ少イ爲ニ御話ノヤウナ點ガアルト思ヒマスガ、農家ハ又非常ニ勞力不足デアリマスノデ、出來ルダケ先等ニ於テ簡易ナル検査ヲヤルヤウニ、此ノ上トモ極力進メテ參リタイ考ヘテ居リマス。

○前川委員 向ホ此ノ際附加ヘテ御考

ネシテ置キタイコトハ、今頃物ヲ買ヒマシテモ、容レ物ハ皆持參デアリマスガ、農家ノ場合ハ一俵ノ俵ヲ作ルノニ丁寧ニヤレバ一人役ハ掛ルノデス、金目ニスレバ相當ナモノノデアリマス。ドモ、其ノ俵ゴミニ持ツテ行ツテシマフ、米價ハ四十七圓ト云ヒマス。ケレドモ、恐ラク俵モ皆人ツテ居ルノデアリマス、サウシテ見マスト中身ノ米代ト云フモノハ非常ニ安いモノニナルノデヤナイカト思ヒマス、斯ウ云フヤウナコトカラモ考ヘマシテ、俵ノ食糧當量ノ取扱ヲモツト親切ニシテ貰ツテ、非常ニ亂暴デ、鐵デ打切ツテシマツテ米ヤ麥ヲ出スト云フヤウナ場合ガアルノデスガ、是ハ百姓ノ俵ヲ作ル苦勞ヲ全然知ラナイ方々デス、是ハ一ツ十分御監督戴キマシテ、俵ヲ出來ル限り何回モ使ヘルヤウニ、親切丁寧ヲ取扱マシテ、還元出來ルヤウナ方法ヲ此ノ際是非御執リ願ヒタイと思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ。

○西村政府委員 米ノ俵、容レ物ノ回收ニ付テハ、御話ノヤウニ非常ニ勞力ヲ致シマシテ、營團等ニモ注意ヲシテ、鹽工品等不足ノ折柄、極力之ヲ農家ニ還元スルヤウニヤツテ居ルノデアリマス。ケレドモ、向ホ地方ニ依リマシテハ御話ノヤウニ、不親切ニヤツテ居ル所ガナイデモナイヤウデアリマシテ、今後共此ノ鹽工品不足ノ折柄、農家ガ自ラ僅カナ鹽資材ヲ使ツテヤル所ノモノニ付テハ、極力農家ニ還元スルヤウニ、輸送ノ方法其ノ他ニ付テモ十分考慮シテ參ル積リデアリマス。

○前川委員 此ノ前ノ議會ニ於キマシテ政府ハ有畜農家ノ必要ヲ認メラレマシテ、牛馬ノ相當量ノ貸付ヲヤルコトヲ決メタノデゴザイマス。ガ、マダ

決定致シマシテ日ガ經ツテ居リマセヌケレドモ、大體其ノ後ノ經過ハドウナツテ居ルノデアリマセウカ、成績ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス。

○西村政府委員 此ノ前ノ議會ニ於キマシテ牛七頭、馬一頭ト云フモノヲ無畜農家ニ導入スルコトノ計畫ヲ立テマシテ、ソレハ進メテ參ツタノデアリマスガ、縣内ニ於テ牛ヲ動かシテ農家ニ導入スルノト、ソレカラ他ノ縣カラ他ノ縣ニ牛ヲ移動シナケレバナラヌモノト二ツアル譯デアリマス。ガ、大體數字ハ今ハツキリ覺エテ居リマセヌガ、縣内ニ於テ間ニ合ヒマス。モノガ半分以上デアリマシテ、二萬數千頭ト云フモノヲ他ノ縣カラ他ノ縣ニ動かスコトニナルノデアリマシテ、縣内ノモノハ十一月頃ニスツカリ農家ニ導入ヲ完了ラシテ居リマス、縣カラ縣ニ動かスコトニ付キマシテモ相當進捗致シテ居リマス、輸送其ノ他ノ關係上マダ若干殘ツテ居リマス。ケレドモ、相當進捗マシテ、農家ガ農畜ヲ得テ居ル、斯様ナ實情デアリマス。

○前川委員 農民ノ之ニ對スル聲ヲ聞イテ見マス、實ハ農民ハ貸付ケテ貰ハナクテモ、買ツテモ宜イト云フノデアス、ダカラ一ツハ公正價格ヲ取引ガ出來ルヤウニ政府ガ指導シテ呉レコトト、モウ一ツ大事ナ問題ハ、飼料ノ問題ヲ解決シテサハ呉レナラバ、幾ラデモ牛ハ飼フ、是ガ農民ノ本當ノ聲ダト思フノデアリマス、今問題ニナツテ居ルノハ公正價格ノ取引デスガ、是ハ色々監督ヲ嚴重ニスレバ出來ルコトダト思ヒマス、問題ハ一ツノ點ノ飼料難デアリマスガ、飼料難ト云フモノハ今日非常ニ大キナ問題ニナツテ居ル、一方ニ於テハ鹽工品ノ非常ニ重要

サカラ、鹽ハ殆ド鹽工品ニ持ツテ行ク、土地ニ鹽ガ還元サレナイト云フヤウナ状態ニナツテ居リマス。時ニ、飼料トシマシテ困ルコトハ間違ヒナイコトデス、所ガ是ハモウ少シ政府ガ指導致シマス。ソレハ以外ニ飼料ノ對策ハ幾ラデモアルノデアリナイカ、勿論今日「サイロ」ノ普及モヤリ、石灰處理ノ普及モヤツテ居リマス、ソレニハ資材ノ配給モヤツテ居ルノデアリマス。ケレドモ、マダ飼料難克服ハ出來テ居ラナイ、是ハ有畜農家ヲウシテ御勤メニナル前ニ、其ノ前提トシテ飼料對策ヲモツト親切丁寧ニ、具體的ニ地方ノ最末端マデ浸透スルヤウナ方針ヲ御立テニナツテ、ソレカラオヤリナラナケレババイカヌノデアリナイカ、今日既ニ始マツタノデアリマス。ルカラ、即時其ノ方針ヲ御決定願ヒタイと思ヒマス、特ニ雜草ノ改種ノヤウナ問題ヲ大イニ指導スレバヤリ得ル問題デアリマス、ソレカラ飼料作物ノ作付面積ヲ一定量確保サセル、是ハ綜合合作ノ問題ト結ビ合ハシテ大キナ問題ダト思フノデアリマスガ、ソレモ案ガ出來テ居ルノデスカ、一體其ノ程度ヲ何處ニ置クカト云フコト、ソレカラ其ノ場合ニ於ケル種子ヲ責任ヲ以テ政府ノ方デ確保シテ適期ニ配付シテ貰ヒタイ、大體ノ縣ニ於キマシテハ、是等ノ飼料作物ノ種子ノ縣外移出禁止ヲヤツテ居ル所ガ多イノデアリマシテ、中々手ニ入ラナイ、是ハ政府ニ御馳旋ヲ戴キマシテ、何トカ種子ヲ適期ニ配給出來ルヤウシテ貰ヒタイ、是ガ出來マスナラバ、飼料ノ問題ハ其ノ他飼料對策ハ澤山アルト思ヒマス。ケレドモ、其ノ一部分ノ問題ノ解決ハ付クノデアリナイカ、先ヅ「サイロ」及ビ石灰處理ニ對シマシ

テ、資材ヲモウ少シ潤澤ニ地方ニ流シテ貰フコトト、ソレカラ飼料作物ノ植付反別ノ確保ヲドノ程度ニオヤリナルカラ決メテ貰ヒタイ、ソレカラソレノ種子ノ確保ヲ輪流ヲシテ貰ヒタイ、ソレカラ雜草ノ改種ト云フヤウナ問題ニ對スル御指導ヲモツト親切丁寧ニ最末端マデヤツテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトガ出來マシタナラバ、鹽工品ノ供出ノ餘リ競合セズニ、或ル點マデ行ケルノデアリナイカト思フノデアリマス、若シ是ガ十二分ニ出來マスナラバ、麥ノ供出ノ如キモ多少マダ好クザツテ來ルノデアリナイカ、斯ウ云フ對策ガ十分デナイト麥ノ供出ノ自然ニ離隔ガ伴ツテ來ルコトニナルト思ヒマス、一ツ飼料對策ニ付キマシテ御方針ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス。

○高橋委員 前川君ニ御相談申上ゲマス、有意義ナ御質問デアリマス。カラ敬聽ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、何セ多數ノ諸君ガ待ツテ居ラレルノデアリマシテ、時間ガ大分過ギマス。カラ簡潔ニ御願ヒ致シマス。

○西村政府委員 家畜ヲ農家ニ使用セシムルコトニ付テハ、昭和十九年度ニ實行致シマシタモノニ付テモ、價格ノ公正ニ付テハ十分私ノ方デモ監督ヲ致シマシテ、價格ハ公正價格ヲ以テ十分農家ニ配付スルコトガ出來タ譯デアリマス、今後頭數ガ殖エマス。ト云フ、色々又問題ハアルト思ヒマス。ケレドモ、輸送費其ノ他ノ助成ニ依リマシテ、農家ニハ公正價格ヲ以テ配付出來ルヤウナ工合ニヤツテ行ク考ヘデアリマス、向ホ飼料ノ點ニ付テ色々御意見ガデアリマシタガ、大體ニ於テハ全く同感デアリマシテ、私共更ニ積極的ニ之ヲ進メテ參リタイと思ツテ居リマスガ、

綜合作付計畫ニ於キマシテモ、昭和十九年度ノ秋多作ニ付キマシテハ、從來三、四萬町歩デアリマシタモノヲ、十一萬一千町歩ダケ飼料ノ作物ヲ確保スルコトニ致シマシテ、其ノ肥料等ニ付キマシテハ半額助成ヲヤリ、更ニ助成バカリデナク確實ニ是等ガ手ニ入ルヤウニ、ソレノ感戴ヲ致シテ居ル譯デアリマス、尙ホ農家ガソレノ飼料作物ヲ用意シテ家畜ヲ飼ハセルヤウニシナケレバナラヌコトハ御説ノ通りデアリマスガ、平坦部ノ水田地方ニナリマス、飼料ノ作付ヲ致シマス所ノ畑ノ入手ガ困難デアルト云フヤウナ事情モアリマスガ、是等ニ付キマシテ麥ニモ考慮ヲ運ラシ、飼料ノ確保ガナケレバ家畜ノ増殖ハ困難デアルカラ、今後トモ一層各方面ニ氣ヲ配ツテ參ル積リデアリマス

○前川委員 アト三點ダケ簡單ニ伺ヒマス、有畜農業者今日ノ肥料不足ノ場合、是非トモ必要ナコトハ申スマデモアリマセヌガ、有畜農業者促進致シマスノニハ、畜力利用器具ノ普及ガ大事ダト思ヒマス、水田ノ除草ノ如キモ既ニ畜力デヤツテ居ル所モアリマス、畜力利用器具ノ加速度ノ普及スルヤウニ御願ヒ致シタイノデアリマス、ソレカラ堆肥増産ニ付テ色々獎勵ガゴザイマスガ、堆肥増産ノ獎勵ヲ若シ出來マスナラバ、併セテ草刈ニマデ及ボシテ戴キタイ、堆肥ノ増産セシムルニハ農ヲ其ノ儘ヤルコトハ出來ナイノデ、草ヲ刈ツテ來テヤラナケレバナラナイ、其ノ草ヲ刈ト云フ場面マデ手ヲ伸バシテ是非ヤツテ戴キタイ、是非堆肥ノ増産スルノニハ、唯堆肥増産ト云フ結論ノナモノデナク、其ノ過

程ニアル所ノ草刈ト云フ所ニマデ堆肥増産ト同ジヤウナ方法ヲ御考ヘ願ヒタイト思フノデアリマス

○西村政府委員 畜力機ニ付キマシテハ、昭和十九年度ニ於テ家畜ヲ農家ニ導入スル場合ニ於キマシテ、鋤ト中耕機ヲ一組トシテ、牛馬十頭ニ付キ三組ノ割合ヲ以テ助成ヲシテ、農家ニ配付スルヤウナコトヲ致シテ居ルノデアリマス、今後トモ實材ノ入手難ノ折柄、此ノ方面ニハ十分考ヘテ參ル積リデアリマス、尙ホ堆肥ノ増産ニ伴ヒマシテ、學徒ヲ動員シテ草刈ヲヤツテ堆肥ノ増産ヲ圖ルト云フコトハ、昭和十九年度ニモ實行致シマシテ、學徒約延一億二千萬人ノ者ヲ動カシマシテ草刈ヲヤツテ、堆肥ノ増産ヲ圖ルト云フコトヲ實行中デアリマス、其ノ結果ハ判明致シマセヌガ、各地方ニ於テ學徒ガ非常ニ動員テ吳レマシテ、大體一億二千萬ノ動員ニ略、近イモノガ實行サレタヤウナ狀態ヲ聞イテ居ル次第デアリマス

○前川委員 尙ホ大臣ニ對シマスル質問、水產局長及ビ食糧管理局長ニ一、二點御伺ヒシタイ點ガアルノデアリマスガ、ソレヲ保留致シマシテ私ノ質問ハ是デ打切リマス

○高橋委員 只今政務次官カラ、今貴族院ノ豫算議會ニ多數ノ政府委員ガ釘付ケニナツテ居ツテ、其ノ間拔ケテ來ルノデ、例ヘバ食糧管理局長官ガ此處ニ御見エニナツタ場合ニハ、ドウカ各位ガソコニ質問ヲ集中サレヤウニ願ムト云フコトデアリマスカラ、其ノオ積リテ御願ヒ致シマスソレデハ次ニ平野ト三君

○平野委員 私人大臣、農政局長、食糧管理局長、總務局長等ニ質問スルノデアリマスガ、大臣ハ御見エニナリ

マセヌノデ、大體政務官カラ御答辨ヲ願ヒマシテ、尙ホ要領ヲ得ナイ點ハ大臣御出席ノ時ニ譲リタイト思ヒマス

第一點トシテ戰時食糧政策ノ根本ニ關シテ農林當局ニ實シタイノデアリマス、何ト申シマシテモ食糧ノ増産ヲ圖ラナケレバ相成ラヌト云フコトハ常識デアリマス、ソコデ食糧ノ増産ヲ圖ルニハ、或ハ耕地ノ擴張トカ、或ハ農業ノ技術トカ、其ノ他種々ナル方法ニ依ツテ從來農林當局ハ之ヲ行ツテ來スレタノデアリマスガ、一番肝腎ナ農民ノ生産意欲、生産ノ意思ト云フモノヲ最高度ニ發揮セシムルト云フ點ニ於テ、從來農林當局ノ執ツテオイデニナリマシタ態度ト云フモノハ満足スル譯ニ參ラヌノデアリマス、ドウ云フ譯ニ於テ我々ガ満足スル譯ニ參ラヌカト申シマス、大體戰時下ニ於ケル農民ノ生産意欲ノ昂揚スルニハ、其ノ營利追求ト云フコトヲ重點トシテ農民ヲ指導サレテ來タノデアルカ、國家ノ爲ニ食糧ヲ作ラナケレバナラナイト云フ國家意識ノ上ニ重點ヲ置イテ農民ヲ指導サレテ來タノデアルカ、此ノ二ツノ指導方針ニ對シテ、農林當局ノ頭ト云フモノガハツキリシテ居ラヌト思フ、此ノ點ニ付テ色々現ハレテ居リマス所ノ諸政策ヲ縱橫ニ批評致シマスコトハ、時間ノ關係上許シマセヌカラ、先ヅ此處ニ政務次官モ局長モオイデニナリマスノデ、農林省トシテハ一體此ノ時局下ニ於テ農民ニ生産意欲ヲ呼び起スノ國家意識ノ上ニ根本ノ二目標メテ増産ニ向ハシムルノデアルカ、或ハ利益ノ爲ニ増産スルト云フ方面ニ指導スルノデアルカ、ドチラガ主デアリ從デアルカト云フ點ニ付テ、根本ノナ御認識ト御意見ヲ一應御發表願ツテ置キ

タイト思ヒマス

○小山政府委員 戰時下ニ於キマシテハ農民ト云ハズ、他ノ工業ト云ハズ、一般國民ノ國家意識ノ昂揚ヲ主トスルコトハ勿論デアルト存ジマス、併シナガラ一方ニ於テハ營利追求ト云フ言葉ハ過キテ居ルカト存ジマスガ、追求デナクテモ、多少ノ營利ヲ與ヘナケレバ私ハ農村ノ經濟ガ立チ行カナイト存ジマス、戰時下ニ於キマシテハ國家意識ヲ昂揚致シマスコトハ勿論デアリマスガ、其ノ營利ノ點モ認メナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ他ノ産業ト同様ニ存ジテ居リマスカラ、是ハ並行シテ行ケベキモノデアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○平野委員 御答辨ヲ致シマシテハ大體サウ云フ御答辨ガアルト豫想致シマシタ、ソコデ御伺スルノデアリマスガ、國家意識ニ依ツテ根本ノ二農民ヲ指導スルコト云フコトヲ重點ニシテ、利益ノ方面ハ是ハ食ツテ行ケナイデハ困ルカラソレハ相當ニ考ヘルノデ、是ハ正シイコトデアル、所ガ一例ヲ申上ゲテ見マスナラバ、各委員カラモ屢、申サレマシタカラ、澤山ノ例ハ申シマセヌガ、農家ガ鐵ヲ直スノニ米一升ト四十圓加ヘテ、斷ク鐵ヲ直シテ來タ、サウ云フ感ジテ農民ガハツト考ヘタ時ニ、ドウ云フ心境ガ浮デアリマセウカ、又地下足袋ノ配給ガ正月アルカト思ツテ待テ焦レテ居ツタ、地方ノ事務所ヘ行キマス、其處ノ事務所ノ人達ハ新シイ地下足袋ヲ履イテ居ルガ、自分ハ草履ト下駄ノ片跛ヲ履イテ居ラナケレバナラ、斯ウ云フヤウナコトガ具體ノ現ハレテ來ル、農林當局ノヤツテ居ラレル諸施設ト云フモノハ、本當ニ農民ガ國家意識ニ目覺メテ百姓ヲヤラナ

ケレバナラヌト云フ其ノ政策ガ行ハレテ居ルカドウカ、農民モ此ノ頃聞ヲヤツテ怪シカラヌ、農民モ彼イト云フヤウナコトヲ言ヒマスガ、實際上鐵ヲ直シ、鐵ヲ直ス時ニ、極端ナル闇行爲ヲヤラナケレバ直ラヌト云フヤウナ思想ガ農民ニ屆イテ居ル時ニ、農民ガ本當ニ國家意識ニ目覺メテアラウカ、ヤハリ是ハ闇行ヲヤツテ農具ヲ直サナケレバナラヌト云フ思想ニナルノデハナイカ、コ、ヲアナタ方ハ能ク御考ヘニナラナイトイカヌ、是ハ恐ラク大臣モサウ云フ御答辨デアリマセウガ、國家意識ニ目覺メルヤウニ御説キナツテモ、事實ヤツテ居ルコト自體ハ國家意識ニ目覺メナイ政策ガ行ハレテ居ルと思フノデスガ、之ニ對シテ如何ナル御感想ヲ持タレカ

○小山政府委員 平野君ノ仰セラレル點ハ、單ニ農民ダケデハナク、武器ヲ作ル重要産業ノ間ニモ類似ノコトガ行ハレテ居リマス、農林當局トシテハ、不足ナモノヲ不足勝シニシテ置クコトハ趣意デハアリマセヌ、尙ホ多ク與ヘタイ、尙ホ便利ヲ與ヘタイ、併シナガラ御承知ノ通り武器デサヘモ今日ハ國家ノ急ニ應ジ切レナイト云フ部面ガアルト云フノハ、戰時ト云フモノハ凡ユル資材、凡ユル物資ニ於テ國民ニ相當ノ不便ヲ與ヘル、併シナガラ之ヲ最小限度ニシテ、是非食糧問題ヲ農林省トシテハ解決シテ行キタイ、斯ウ云フ氣分デ全力ヲ注イデ行ツテ居ルノデアリマスガ、所謂戰爭ト云フコトカラ、國家ガ封鎖サレテ居ルト云フコトカラ鐵ノ分量ガ足りナイ、衣料モ十分デナイ、併シ此ノ足りナイモノヲ何トカシテ最小限度、詰リ此方カラ申シマスレバ、最大ノ努力ヲシテ之ガ充足ヲ圖リ

タイト云フ氣持ヲ持ツテ居リマス、ノミナラズ之ガ實行ニ移ツテ居ルノデアリマスガ、何セヨ之ニ及バナイト云フ今日ノ實情デアリマスカラ、粗悪ナモノヲ與ヘテハ満足不足、是デ生産意欲ヲ阻害シテ居ルト云フ部面ガアリマスガ、是ハドウシテモ今日ノ戰局上ハムリ得ナイノデハナイカト云フコトハ、平野君モ大體御察シガ出來ルデアラウト存ジマス、決シテ故意ニヤツテ居ルノデハアリマス、併シナガラ一面ニ於テ多少機構上、或ハ體制上遺憾ナ點ハアリマセウガ、是ハ又皆様ノ御意見モ伺ヒマシテ、矯正シ得ル點ハ最大限度ニ矯正シヨウト云フ考ヘハ十分持ツテ居ル次第デアリマス、御諒承願ヒタイト存ジマス

○平野委員 只今ノ御答辯ハ私ノ聞ウテ居ルコトト少シ離レテ居リマス、地下足袋ニシロ、農具ニシロ、農民ガ少イト云フコトヲ自覺シテ居ルコトハ、今政務次官ノ御答辯ノ通りデ、此ノ時局ノ重大デアアルコトヲ考ヘテ居ル、唯サウ云フコトヲ行ハレル施設、ソレ自體ガ國家的ニナツテ居ラヌ、農民ニ米ヲ出セト云フコトハ、今日ハ保有米制度ドコロデハナイ、國ガ要ルカラ四千萬石出セ、斯ウ農民ニ國家意識デボント要求サレバ、農民ニ必要ナ資材ノ配給部面ハ國家的ニナツテ居ラヌ、其ノ村ニ地下足袋十足ナラ十足デハ足ラヌト云フノハ、此ノ點ハアナタノ仰シヤル通りダガ、ソレヲ如何ニ配給スルカト云フコトニ付テハ、村デ一番必要ナ方ニ配給シナイデ、他ノ方ニ流レテ居ル、之ヲ認メテ置イテ、農民ニ國家意識ニ目覺メト仰シヤラレテモ御無理デス、斯ウ云フコトデス、其ノ點ニ付テモウ一回御説明願ヒタイ

○小山政府委員 只今御答へ申上ゲタ積リデアリマスガ、詰リ配給ノヤリ方或ハ實行ト云フ部面デ遺憾ナ點ガアリマセウガ、其ノ點ハ十分努力致シマシテ、矯正スル考ヘヲ持ツテ居リマス、併シ斯様ナ仰シヤルヤウナコトガ多少アルト云フコトハ、私モ認メテ居ル次第デアリマス、十分矯正シヨウト云フコトニハ努メテ居リマス

○平野委員 ソコデモウツ私ガ本論ヲ御伺ヒスル上ニ必要ナコトデアリマスガ、最近豫算總會ニ於テ大臣モ僕々答辯ヲセラレ、本委員會ニ於キマシテ、農産物ノ根本的値段ノ改正ヲ行フ、斯ウ云フ御説ガアリマシタ、ソコデ色々農産物ニ付テノ議論ヲ致シマスルコトハ、是ハ煩雜ニナリマスノデ、此ノ際ハ米ト云フモノニ付テハツツキリ御聞ヒヲシタイノデアリマスガ、米ノ値段ヲ上ゲラレト云フコトハ、是ハ間違ヒナイデセウ、上ゲラレト云フ肚ガ決マツテ居ルトスレバ、其ノ上ゲ方ニ付テハドウ云フ角度ヲ以テ米價ヲ上ゲヨウトスルカ、モツト端的ニ言フナラバ、米一石ノ現在ノ生産價格ト云フモノハドウ位デアアルカト云フ農商當局ノ研究ガ出來テ居ルカドウカ、之ヲ一ツ本ツテ置キタイ

ト云フ場合ニハ、只今平野君モ仰セラレタ生産費ヲ基準トスル、併シナガラ其ノ生産費モ從來ノ如ク中層生産費デハイカヌ、相當之ニ改正ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトハ、豫算委員會ニ於テモ本署ヨリ述ベラレタ通り、又其ノ他ノ諸君ヨリモ此ノ點ニ付テハ多ク觸レラレタノデアリマス、サウ云フ事柄ヲ全部参照致シマシテ、經濟事情トモ考ヘ、又其ノ他ノ物資トモ考ヘ、又米ノ需要性、食糧管理ヲシテ居ル普通のナ主要食糧トシテノ地位ヲモ考ヘテ、適當ニ是ハ考慮シナケレバナラヌ問題デアルト云フコトダケハ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、唯之ヲドウスルカト云フコトニ付テハ言明ハ避ケサシテ戴キタイト云フコトハ、大臣數次ノ答辯デ御承知ノ通りデアリマス、只今ノ平野君ノ御意見ノ存スル所ハ、私共モ十分考慮シテ居ル次第デアリマス

○平野委員 只今ノ御答辯ニ、供出前ダカラ米價ノ問題ニ付テハ觸レタナイト云フ御言葉ガアリマシタガ、私ハサウ云フ必要ハナイト思ヒマス、昭和十九年度ノ米ノコトニ付テハ最早決マツテ居ルコトデアリマシテ、今更何ヲカ言ハシヤデアリマス、併シ一體從來ノ農商當局ノ價格政策ト云フモノハ、先程價格ハ刺戟ヲシナイト云フ御言葉デハアツタケレドモ、ヤハリ價格モ亦増産ニ相當重要ナル影響アリト云フ御答へデアル以上ハ、價格ト云フモノニ付テ、少クとも該ノ議會ガ開カレテ、新聞紙上デ見レバ專ラ議會ノ全輿論デアリ、殊ニ農業者團體ニ於テモアレダケノ決意ヲ以テ向ツテ居ルト大臣モ答辯サレテ居ルト云フコトデアレバ、何等カノ形ニ於テ米價上ルト云フコトデアレバ、ドウ位上ルカ、又我々委員

ト致シマシテ、先程此ノ委員會ニ於テモ三百五十圓ト云フヤウナ議論モアツタリ、色々ナ議論モアルカラ、宜イ加減ナ上ゲ方ナラバ、米價ニ付テハ相當ノ議論ノ餘地ガアルト思フ、隨テ當委員會ニ於テ、一體米價上ゲル傾向デアルナラバ、米一石ノ値段ト云フモノハドウ位ニ農政局ナリ食糧管理局ナリ今日計算ガ付テ居ルカ、此ノ位ノ値段デアレバ農民ノ生産意欲ヲ昂揚スルコトガ出來ルト云フ位ノ御發表ガアツテ然ルベキダト思フ、總テノモノヲ勘案シテ善處スルト云フヤウナ宜イ加減ナ御説明ハ昔ノ答辯デアリマシテ、若シ上ゲラレト云フナラバ、米價ト云フモノニ付テハ當局ノ御研究ノ結果ト云フモノヲ、此ノ委員會ニ於テ御發表アツテ然ルベキダト思フデアリマスガ、モウ一回御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○小山政府委員 只今遠慮シテ申上ゲタノデアリマスガ、ソレハ既ニ大臣ハ他ノ委員會ニ於テ、改訂スルト云フコトヲ言明セラレタノデアリマスカラ、其ノ點ハ大體御承知デアラウト存ジマシテ、私ハ只今ノヤウナ御答辯ヲ申上ゲタノデアリマスガ、其ノ基準ハドウ邊カ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、其ノ點ハ今當局ニ於キマシテ各方面カラ研究シテ居ル次第デアリマスガ、ソコ迄ハ言明スルコトヲ避ケサシテ戴キタイト存ズルノデアリマス

失シナイヤウナ時ニ之ヲ行ヒタイト云フコトデアリマスルカラ、是モ大體御想像ガ付クト考ヘテ居リマス、ソレカラ尙ホドレ位上ゲルカト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ大體當初各關係當局十分協議ヲ遂ゲタ上デナケレバ決定スルコトガ出來ナイノデアリマス、米價ガ即チ總テノ物資ヲ支配スルト云フヤウナ趨勢ニ於キマシテハ、最も慎重ヲ期サナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、未ダ此ノ點言明申上ゲル域ニ達シテ居ラヌト考ヘマス、唯先般大臣ガ豫算總會ニ於キマシテモ言明サレマシタ如ク、其ノ方針ト致シマシテハ、即チ從來此ノ米價ヲ決定致シマスル基準ト致シマシテ、生産費、家計費並ニ物價指數ノ、所謂趨勢米價ト云フ三ツノ條件カラ之ヲ算定シタノデアリマスガ、其ノ第三ノ物價指數ニ付キマシテハ、所謂政治的考慮ガ要リマスガ、是ハ出來ル限リ廣範圍ニ互ツテ、即チ何ト申シマスガ、從來ノ如キ窮屈ナ考ヘヲ基礎ニシテ之ヲ算定スルト云フコトデナク、出來ル限リ今日ノ此ノ政治的諸情勢ニ基イテ之ヲ考ヘタイ、斯ウ云フ風ナコトヲ言明サレタト思フノデアリマス、斯様ナ點ヲ一ツ綜合シテ御考慮戴キマシテ、當局ノ措置ニ暫ク御期待願ヒタイト思ヒマス

○平野委員 其ノ程度ノ答辯デハ實ハ満足出來マセウ、ソコ更ニ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、單ニ米價上ゲルト云フ場合、農村ニドウ云フ影響ガアルカト云フコトニ付テハ御研究ガ出來テ居ルカドウカ、今日我が國ノ耕地ノ大半ハ小作地デアリマシテ、其ノ小作地カラ上ル約半分ニ近イ小作料、言ヒ換ヘマスト米ノ全數量ノ約四分ノ一ハ小作米デアリマス、六千萬石獲レル

ト致シマスナラバ、千五百萬石ハ小作
米、是ハ現状ニ於キマシテ小作料ト云
フモノハ戰時下釘付ケデアリマスカ
ラ、地主ノ收入ト云フモノハ大體千五
百萬石、是ハ小作料デアリマス、米價
ヲ假ニポント上ラレバ上ラレタ
ダケ、ソレダケ地主ノ收入ト云フモノ
ハ無條件ノ二増エル、不勞所得デア
ル、日本ノ米價政策ト云フモノノ根本
的ノ癭ミト云フモノハ、從來茲ニアツ
タノデアリマス、隨テ私ガ譯ク米價ヲ
ドノ點マデ上ラレカト云フコトヲ
掘ツテ聴キマスノハ、農商當局ガ、唯
最近農業團體カラ米價ヲ上ゲロノト
云フ輿論ガアルカラ、大臣ガ然レバ
適當ナ時ニ——只今政務官カラモ御答
辨ガアリマシタガ、可及ノ早ク、而モ
適當ナ時期ニト云フヤウナ曖昧ナ言葉
デアリマスガ、モット具體的ニ、米價
ヲ上ゲルニ付テハ是レノ用意ガアル
ト云フヤウナ満足ノ出來ル當局カラ
ノ答辨ガナレバ、我々ノ米價論ト云
フモノハ、カラ加減ニ大臣ノ答辨ヲ
得タカラト云ツテ済マセラレナイ、ソ
コデ私ハシツコク聴クノデアリマス、
而モソレモ米價ヲ上ゲテ、利潤追求デ
以テ、ウソント上ラレバウソト作ルト云
フ關係カラバツト上ラレラナラ、高
イ方ガ宜イト云フ議論ニナル、ケレド
モ先刻政務次官ハ、農業政策ハ國家本
位ニヤリタイノデ、利潤追求デハナ
イ、斯ウ云フ御答辨ダツタ、一體當局
ノ米價論、米價政策ト云フモノハドノ
邊ニ頭ガアルト云フコトヲ聴イテ置カ
ナケレバ、満足出來ナイノデ聴イテ置
クノデアリマス、ソコデ、澤山聴イテ
モ要領ヲ得マセヌカラ、端的ニ一ツ、
單ニ米價ヲ上ゲレバ今言ツタ農村ノ土
地關係カラ、地主ノ所得ヲ殖ヤシテ、

小作人ノ方ハソレニ比例致シマシテ、
唯米價ガ上ツタト云フ比率ニ於テハソ
レ程利得ヲ得ナイ、此ノ矛盾ニ對シテ
米價ヲ決メラレル時ニ於テ、ドレダケ
ノ用意ガアルカト云フコトヲ一ツ承ツ
テ置キタイノデアリマス

○農村政府委員 御話ノヤウニ我ガ國
ノ農業經營ノ實情ハ、小作農家ト云フ
モノガ相當ナ部分ヲ占メテ居ルノデア
リマシテ、米價ガ一般物價ノ根本ヲナ
スコトハ勿論デアリマスケレドモ、假
令米價ヲ引上ゲテ、ソレニ依ツテ生
費ヲ「カバ」スルト云フコトヲ唯抽象
的ニ考ヘマシテモ、ソレガ地主小作人
ノ間ニドウ云フ風ニ分配サレテ、本當
ニ生産ニ努力スル所ノ農家ノ手許ニ其
ノ引上ゲノ效果ガ落チル、斯ウ云フコ
トニシナケレバ、相成ラヌ譯デアリマシ
テ、私共農政局ニ於キマシテハ、米ノ生
産ニ要スル所ノ實際ノ經營、物價ノ趨
勢等モ十分考ヘテ居リマスケレドモ、
尙ホ此ノ外ニ小作料ノ問題ト關聯シ
テ、只今御述ベニナツタヤウナ點ハ十
分考ヘテ居ルノデアリマシテ、午前中
ニモ木村委員ノ御質問ニ或ル程度御答
ヘヲ致シタノデアリマス、現在
補給金ノ制度モ、是ハ消費者ニ對シテ
出來ルダケ負擔ヲ少クシ、一般物價ヲ
引上ゲナイヤウニト云フ意味モアルノ
デアリマス、ケレドモ、一面ニ於キマ
シテハ小作人ニ對シ補給金ヲヤリマシ
テ、實際ニ農業經營ニ從事シテ居ル者
ニ其ノ利益ガ十分均等スルヤウニト云
フコトカラ行ハレテ居ル譯デアリマシ
テ、米價ヲ引上ゲマシタ場合ニ、假
令小作料デアリマシテ、固定シテ居
リマスナラバ、其ノ引上ゲノ效果ハ
十分小作人ニ參リマスケレドモ、現
在我ガ國ノ小作ノ慣行ハ、御承知ノヤ

ウニ物納ガ大部分デアリマシテ、畑作
ニ於テハ若干金納ガアル程度デアリマ
ス、此ノ問題ニ於テ此ノ際金納
小作料ニ一週ニシテシマフカ、又從來
ノ小作慣行ヲ屬サナイヤウニスル
ルナラバ、補給金其ノ他ノ關係ヲ地主
小作人ニ對スル所ノ關係ヲ十分考ヘ
テ、米價引上ノ效果ガ實際生産ニ適
ラシテ居ル所ノ、其ノ生産費ヲ十分ニ
償フヤウニト云フ風ニ行テ居ルヤウニ
ナケレバ、其ノ效果ガナイト思ヒマシ
テ、其ノ點ハ十分考ヘテ居ルノデアリ
マス、金納小作料ニスルコトニ付テ
色々御議論モアリ、利害得失等モ考ヘ
テ居リマスガ、金納小作料ニ此ノ際ス
ルカ、或ハ小作ノ慣行ヲ變ヘナイトス
レバ、ソレヲドウ云フ風ニスルカト云
フコトニ付テハ、私共事務當局トスレ
バ十分研究ハ致シテ居ル次第デアリマ
ス

○平野委員 是ハハツキリ承ツテ置キ
マスガ、此ノ際期到ナル米價ノ改正
ト共ニ、只今仰ジャツタ金納小作制
ニ變ヘルト云フ肚ハ出來テ居ルノデ
スカ、研究中ナシテスカ、此ノ點一
ツ……

○農村政府委員 研究ハ十分致シテ居
リマスケレドモ、今左様ニスルト云
フコトヲハツキリ申上ゲル程度ニハナ
ツテ居リマセヌ

○平野委員 私ノ見解ヲ以テスルナラ
バ、此ノ際大臣モ言明セラレ、天下ノ
輿論トシテ米價改正ト云フコトハナル
ニ違ヒナイ、ソレカラ只今農政局長
ハ、御考ヘトシテハ稍、明瞭ニハ仰セ
ラレタガ、是ハ金納小作制ト云フモノ
ヲ玆ニ斷行セラレマスルカ、然ラズ
バ全農家ヲシテ自作農ニ徹底スルカ、
若シ自作農ニ徹底出來ナイナラバ、一

時小作地ト云フモノノ國家管理ヲ行フ
カ、此ノ三ツノ點ヲアタ方ガ斷行セ
ラレバ肚ガナレバ、前段私ガ農民ヲ
指導スルニ當ツテ利潤追求デアリ
カ、國家本位デアリノカト云フコト
付テ置キタル所、政府當局ハ國家本位
ヤルノドトハ仰セラレテ居ルガ、是ハ
事實百姓ハ満足シマセヌ、ナゼカ、
米價ダケ上ラレバ利潤追求ニナルノデ
スカラ、本當ノ生産者ト云フモノハ米
價ダケ上ラレバ満足シナイ、金納
小作制ニナルカ、全部自作農ニナル
カ、然ラザレバ小作地ト云フモノヲ國
家管理ニスルカト云フ此ノ三ツノ政策
ヲ並立セラレタ上ニ於テ米ヲ百圓ナ
リ、二百圓ナリニナサルナラ、農民ハ
欣然トシテ、成程農業政策ト云フモノハ
國家性「ノレ」ニ乘ツタト、斯ウ納
得スルケレドモ、今日マデ種々行ハレ
タヤウニ、米價ガ四十三圓カラ四十六
圓ニ改正サレ、補給金モ十圓五十錢御
出シニナツタガ、米價ハ三圓デアル、
是デハ満足出來ナイ、此ノ前ノ報奨制
度デモ、自作人、小作人ガ四十圓ノ供
出獎勵金ヲ貰ヘバ、地主ノ方ニハ十五
圓付イテ居ル、百圓出セバ地主ノ方ハ
七十五圓付イテ居ル、斯ウ云フ曖昧模
糊タル筋道ノ通ラヌ農業政策、何時マ
デモオヤリニナツテ居ル限リハ、口デ我
我ハ農民ヲ國家本位デ指導スルノドト
言ハレテモ、受入レル側デハ農民カラ
云ヘバ、ナンド依然トシテ從來通りノ
農業政策デヤナイカ、斯ウ云フノデア
リマスカラ、コ、デハハツキリ一ツ伺
ヒタイコトハ、今度ノ米價改正ノ途ニ
當ツテハ、小作料ノ金納制度ヲ斷行セ
ラレバ、全農民ノ自作農ヲ敢行セラ
レルカ、小作地ヲ一應國家管理ニ移行
セラレルカ、此ノ三點ニ付テ眞ニ心構

ヘガアルカドウカト云フコトヲハツキ
リト此ノ際伺ヒタイ

○小山政府委員 其ノ問題ハ非常ニ重
要ナ點ニ觸レテ居リマスカラ、私カラ
御答辨申上ゲマスガ、今述ベラレタ三
點ハ何レノ方面カラモ考慮致シタイト
存ジマス、併シナガラ一口ニ國家管理
ト申シマシテモ、國家管理ノ結果ハ一
體誰ガヤルノダ、議會ニ於テ色々論議
ガ行ハレマスガ、結局是ハ屬僚ノヤル
結果ニナルノデアリマス、官僚ノヤル
結果ニナルノデアリマス、斯様ナコト
ハ容易ニ決定セラレベキ問題デナクシ
テ、主義デナクシテ、此ノ地主ノ方面
カラモ、小作人ノ方面カラモ、自作農
ノ方面カラモ、此ノ戰時下ニ於テ一番
増産ニ適當ダト、國家ノ主要食物ヲコ
コデ確保スル上ニ必要ダト云フコトヲ
各方面カラ考ヘテ行クノデアリマシ
テ、只今ノヤウナ一ツノ主義「イデオ
ロギー」デ進ムト云フ考ヘハ、私トシ
テハ持ツテ居リマセヌ

○平野委員 只今ノ御答辨ニハ私ハ滿
足シマセヌ、私ハ金納ニスルカ、全農
民ヲ自作農ニスルカ、農地ヲ國家管理
ニスルカト云フ三ツノ點ヲ問フタ、御
答辨ハ國家管理ニ反對ダト云フ、ソレ
デハ金納ニナサルカ、自作農ニナサル
カ、ドツチカ、斯ウ云フ御答辨デナク
テハナラナイト思ヒマス、ソレヲ一ツ
伺ヒタイト思ヒマス、同時ニ私ハモウ
一回申上ゲテ置キマスガ、國家管理ト
云フコトニ付テ屬僚ガヤルト仰シヤイ
マシタガ、私ハ此ノ點ニ付テハ永年ノ
研究デアツテ、既ニ自分ノ所見モ多數
年來發表シテ居ルノデアリマス、農
地ヲ國家管理ニシタ場合ニ於ケル實際
ノ國家管理者ト云フモノハ町村デアリ
マス、國家ハ町村ニ農地ノ國家管理ヲ

委任スルノデアリマスガ、若問答ハレ
ルヤウナ農地ノ國家管理ト云フモノ
ハ、今政務次官御心配ノヤウナコトハ
ゴザイマセヌ、此ノ點ハ議論ニナリマ
スケレドモ、私ハ御心配無用ト思フ、
ソコデハ多少私ノ註釋ヲ加ヘタノデ
アリマスガ、問フ所ハ小作料ノ金納制
度ヲ斷行セラルカ、全農民ヲ自作農
ニセラルカ、農地ノ國家管理、詰リ
小作地ノ國家管理ヲ斷行セラルカ、
此ノ三點ニ付テドレカオヤリニナル意
思ガアルカナイカ、ドレモオヤリニナ
ル意思ガナイナラナイト一ツハツキリ
承ツテ置キタイ

○小山政府委員 自作農ニ徹底スル
コトニ致シマシテモ、此ノ結果一
時ニ行クノデハナイノデス、小作ヲ金
納中心トスルコト云ツテモ、是レ亦全
般ノ三行ク譯チヤナイノデス、ヤハリ
兩方相俟ツテ進ムノガ適當チヤナイ
カ、私ハ斯様ニ考ヘマス

〔小笠原(八)委員長代理退席 委員
長著席〕

○平野委員 洵ニ失禮ナ間ヒラスルヤ
ウニナリマスケレドモ、サウ云フヤウ
ナ地ノ、然ルベクトカ、曖昧ナヤウ
ナ考ヘ方デ、此ノ食糧事情ノ窮迫シテ
居ル際、場合ニ依レバ食糧ハ日本國內
ニ於テ滿洲カラ來ナクテモ、朝鮮、臺
灣ガナクテモ行カウ、サウシテ眞ニ最
後ノ日本ノ頑強リト云フモノヲ農村ニ
置カント云フヤウナ、本當ノ決戦ノ
農業政策ヲ決メラレル時ニ、全農民
向ツテ金納制度ヲ布クト云フコトハ出
來ナイト云フガ、是ハヤレバ出來マ
ス、是ハ法律一本デ行キマス、又全農
民ヲ自作農ニスルト云ツテモ、最早農
村ニ於テ購買力ト云フモノハウント出
來テ居ルノデアリマスカラ、法律一本

デ行キマス、隨テオヤリニナルカナラ
ナイカト云フコトノ意思ニ依ツテ決定
スルノデアツテ、然ルベクト云フコト
デハ私ハ満足出來ナイカラ、是ハ若シ
政務次官デイケナケレバ大臣ト御相談
ニナツテ、之ニ付テハ米價ヲ改正セラ
レルト云フ劃期的ナル大政策、マサカ
米價ヲ三圓五圓御上ゲニナルコトハ
ナイト思フ、相當ニ米價ヲ御上ゲニナ
ルデアラト思ヒマスガ、私ガ主張スルヤ
ウニ全農民ニ向ツテ國家意思ヲ感奮興
起セシムルニ付テハ、只今申上ゲタ
三點ニ付テ斷乎タル處置ヲ執ツテ戴キ
タイ、之ニ付テモウ一回ハツキリ御答
辯ヒタイ

○小山政府委員 前ニ申上ゲタコトデ
御諒解願ヒタイト思ヒマス

○平野委員 ソコデ今度ハ少シ具體的
ニ答辯シテ戴キタイ、先ヅコ、デ一
種當ナ政策ヲ致シマシテハ、自作農
ト云フ問題ハ農商當局ガ從來、主張シ
テ參ラレタ政策デアリマスノデ、此ノ際
自作農創定ト云フモノヲ徹底シテオヤ
リニナルト云フコトニ付テハ、御異存
ハナカラウト思ヒマス、ソコデ伺ヒマス
ガ、前川委員ニ對シテ農政局長ハ、自作
農創定ガ洵ニ順調ニ進ンデ居ルト云
フヤウナ御發表デアリマスガ、玆ニ戴
キテ居ル農商當局要求ノ資料ノ「昭和
十九年度自作農創設維持事業ノ進捗狀
況」ト云フヲ見マス、創設又ハ維
持ノ別別ト致シマシテ僅カニ一萬八千
町歩、コンナコトデ行ケバ、是カラ計
算シマスト二百年掛ツテモ二百五十年
掛ツテモ、自作農創定ハ出來ナイト思
フ、農政局長ノ現在ノ自作農創定ガ洵
ニ順調ニ進ンデ居ルト云フ説明ハ、何
ヲ根柢トシテ一體自作農創設ガ旨ヲ行
ツテ居ルト云フ御説明デアリマスガ、

之ヲ數字ノ上ニ於テハツキリ御答辯
願ヒタイ

○西村政府委員 私ノ申上ゲ方ガ惡イ
點ガアツタカトモ思ヒマスガ、私ハ地
主ニ土地ノ賣却ヲ強制シナケレバナ
ライ、強制シナケレバ自作農ガ進マ
ナイト云フコトガ一番大キナ原因ニハナ
リテ居ラス、個々のニハ左様ナコトモ
アルケレドモ、ト云フコトヲ申上ゲ
ノデアリマシテ、此ノ數字通りニ、昭
和十九年度ニ於テハ既發地ニ於テ四萬
五千町歩、ソレカラ開發地ニ於テ一萬
町歩ト云フ計畫ヲ立テテ、是ハ從來ヨリ
モ相當大キナ計畫デアリマスガ、ソレ
ニ對シテ自作農ヲ維持創設ガ進ミマシ
タモノハ約二萬町歩足ラズ、斯ウ云フ
コトデアリマスノデ、其ノ計畫ニ對比
シマスレバ約半分以下デアリマスノ
デ、數字の二見マシテハ必ズシモ順調
ニ、非常ニ積極的ニ進ンデ居ルトハ言
ヒ難ナル次第デアリマス

○平野委員 序デニ伺ツテ置キマス
ガ、昨年ノ議會協賛致シマシタ自作
農創定ニ關スル土地賣却ノ差額ニ關ス
ル費用ヲ協賛シタと思ヒマス、地主ニ對
スル差額ノ補助金デアリマス、其ノ費
用ハ一體ドウナリマシタカ、全部御使
ヒニナツタカ、ソレトモ殘ツテ居ルノ
デアリマスガ、其ノ數字カラ見マシタ
自作農創定ノ内容ニ付テ御發表願ヒ
タイ

○西村政府委員 報獎金トシテ昨年ノ
議會協賛得マシタ金額ハ、此ノ計
畫ガ一萬八千町歩デアリマスノデ、ソ
レニ伴ヒマシテソレダケノ金額ハ殘
テ居ルコトニ相成ル譯デアリマス
○平野委員 既ニ昨年ノ貧弱ト云ツ
テ居ツタ其ノ豫算ガ殘ツテ居ル位ノ自作
農創定デアリマスノデ、自作農創定ノ傾

向タルヤ最早論議ノ餘地ガナク、極メ
テ貧困デアリマス、ソコデ私ハ少シク
自分ノ所見ヲ交ヘテ御聞ヒテ致シ
ト思フノデアリマスガ、私ハナゼ自作
農創定ガ旨ヲ行カナイカト云フコト
ハ、玆ニ四ツノ理由ヲ發見スル、是
ハ前議員カラモ既ニ御述べニナツタ
デアリマスノデ、重複ヲ避ケル爲ニ詳
イコトハ申シマセヌガ、其ノ第一點ハ地
主ハ此ノ際土地ヲ持ツテ居ルコトニ依
ツテ果進的ニ利益ガ上ル、利益ノ上
モノヲ手放スコトハ出來ナイノデ、ヤ
ハリソコニ自作農創定ノ第一ノ缺點ガ
アル、其ノ理由ハ今日國債ヲ持チマシ
テモ、株式ヲ持チマシテモ、昭和十二
年以來詳シイ統計ガ出テ居リマスガ、段
段ニ利廻リハ低下致シマシタ、是ハ今
モ減ツテ來テ居リマス、然ルニ土地ニ
於キマシテハ昭和十二年ニ於テ四・九
%ノ利廻リガ昭和十八年ニ至リマシテ
六・九ト云フ、所謂飛躍的ナル利廻リ
ニナツテ居ル、持ツテ居ルダケデ相當
ノ利益ガアル、之ヲ此ノ儘ニシテ置
キテ土地ヲ賣却ノト云ツテモ是ハ賣
コトハ、是ハ單ニ地主ガ愚イト云フモ
ヨリハ、玆ニ私ハ政策ノ貧困ト云フモ
ヲ一ツ發見セザラ得ナイ、ソレカ
ラ第二點ハ只今政府委員カラモ御答
辯ノアリマシタヤウニ米價ハ上ル、ドレ
ダケ上ルカト云フト相當ニ上ル、サウ
シテ全納制度ニナサルノデモナク自作
農創定ヲオヤリナサルノデモナク、小
作地ノ國家管理ヲオヤリニナルデモナ
ク、他ニモナイヤウデアラガ、之ヲ聞
キタ地主ハ、米價ハボソト上ル、上レ
バ一千五百萬ニ對スルソレダケノ利益
ガ上ルカラ、土地ヲ手放スコト云フ者ハ
ナイ、モウ一ツハ前川委員カラ御話ノ
アリマシタヤウニ、地主ハ地主デア
ルト

云フコトニ依ツテ米ノ保有ガ出來ル、
今日農民ハ保有米ガ出來ルカ出來
ナイカト云フコト位置問題ハナイノ
ニ、地主デアルト云フコトニ依ツテ眞
ノ生産者デハナクトモ、在村地主ハ保
有米ガ出來ル、是ガ自作農ニナラハ
大キナ理由デアリマス、第四點ハ前農
林大臣田中サング供出獎勵ナナル時
ニ、小作料ニ對シテモ一石十五圓ト云
フヤウナ放逐ガアツタ、恐ラク斯ウ云
フヤウナ傾向カラ農林省デアル政策
ハ、小作料ヲ取ツテ居レバ報獎金ガ取
レル、斯ウ云フヤウナ諸點カラ此ノ現
狀ノ儘ニ放ツテ置キマスレバ、到底自
作農ニナル見込ガナイ、ソコデ自作農
ニナル見込ガナイ今、私ノ指摘致シ
マシタ四ツノ點ニ對シテ農林當局ハ、何
等カノ政策ヲ立テラレル用意アリヤ
否ヤ、用意ガナイト云フコトデアリ
マスナラバ、我々ハ自作農創定ト云フ問題
ニ付テハ當局ハ其ノ意思ガナイ、ハツ
キリ放棄シタノダト云フ考ヘ方ノ下
ニ、農業政策ヲ考ヘザラ得ナイ、一
體此ノ點ニ付テハ如何様ニ考ヘテ居
タラ宜シイノカ、此ノ際ハ最早農業政
策モ相當ナ深刻ニ場合ニ到達シテ居
マスノデ、從來ノ議會ノヤウニ何トカ
考ヘマスト云フヤウナ答辯デナク、出
來ルモノナラ出來ル、出來ナイモノナ
ラ出來ナイト云フ、ハツキリシタ答
辯ヲ得タイト思ヒマスガ、今私ガ申シ
マシタ自作農創定ノ障礙ニナル四ツノ理
由、一ハ地主ノ利益、二ハ米價ノ昂
騰、三ハ保有米、四ハ地主デアリマシ
テモ報獎金ガ實ヘル、此ノ四點ニ付テ
何等カノ對策ヲ考ヘテ居ラレカドウ
カト云フコトニ付テ承ツテ置キタイ
思ヒマス

○西村政府委員 只今御述べニナリマ

○西村政府委員 只今御述べニナリマ

シタ四點ハ、ソレハ、自作農ノ創設ヲ積極的ニ進メル場合ニ於テソレハ、障礙トナツテ居ル事實ハ、十分私共認メルノデアリマス、第一點ノ地主ガ土地ノ賣却ヲ希望シナイト云フコトニ付テ、之ニ法的ノ根據ヲ用ヒテ之ヲ強ク強制スルカドウカト云フコトニ付テハ、私共色々研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ付テハモウ少シ考究ノ上デナケレバ御返答申上ゲルコトガ困難デアリマス、第二點ノ米價ノ問題、保有米ノ問題、又報奨金ノ問題等ニ付キマシテハ、先程モ私抽象的ニ申上ゲタヤウニ、米價ノ引上等ニ依リマシテノ利得ハ、實際ノ經營者ノ方ニ十分利益ガ行クヤウニ、ソレ等ノ點ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、又不在地主ガ保有米等ヲ確保スル爲ニ、故ラニ土地ヲ手放サナイト云フヤウナコトニ付テハ、ソレハ、方策モ考ヘラレルト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ私共色々考究ヲシテ、ソレハ、對策ガ立テラレルト思フノデアリマス、第一點ニ付テハ現在ノ所、此ノ際御答辯申上ゲルコトハ困難デアリマス

○平野委員 尙ホ此ノ際同問題ニ付テ、少シテ角度ヲ變ヘテ御問ヒヲスルノデアリマスガ、自作農創定ヲ行フト云フコトハ、只今申上ゲマシタヤウニ、米價政策ノ上ニ於テ必要デアルノミナラズ、自作農ニシレバ小作地ヨリ一反當リノ増収量ト云フモノガ確實ニ確エル、是ハ一反一俵トモ言フ、而モ最近ハナゼサウカト申シマス、供出ガ非常ニ激シ、又勞賃ヲ取ルナラバ農業者ハ他ノ方面ヘ行ツテ幾ラデモ勞賃ハ取レル、馬車ヲ挽イテモ一日百圓、二百圓取レルト云フヤウナ極端ナコトモアルノダカラ、百姓ヲヤツテ居ルノハ馬鹿ラシ、隨テ小作地カラ最近起ツテ居ル米價現狀ト云フモノハ、政府當局ガ幾ラ耕地反別ヲ種ヤサレ肥料ヤ農具等諸般ノコトニ生力ヲサレルト雖モ、現在ノ小作地ノ生産力ノ低下如何セン、又小作地ノ放棄如何セン、モウ作りドウスルカト云フコトハ、恐ラク農政局長ノ頭ニモ深刻ナル惱ミダラウト私ハ推測スルノデアリマス、茲ニ百歩ヲ進メテ創期的ニ自作農ト云フコトニシレバドウ云フコトニナルカト申シマス、土地ヲ所有スル者ハ國家ノ爲ニ生産スル所ノ義務ヲ負フ、是ハ諸外國ノ農政學者ガ言ウテ居ルコトデアリマスガ、日本ノ農政ニモ通ジマス、土地ヲ所有スル者ハ國家ノ爲ニ、民族ノ爲ニ生産スル義務ヲ負フト云フコトガ、農民諸君ハ斯ウ云フ難カシイ言葉デハ表現シマセケレドモ、腹ノ中デハサウデアアル、俺ノ地面デアルト云フコトデアアレバ、米ガ高イ安イト云フコトデアレバ、俺ハ、俺ノ地面デアレバ、俺ハ百姓ダ、ダカラ此ノ土地ノ上ニ於テドウシテモ土地ヲ愛シ、生産ヲスルト云フ心ガ、ムララ腹ノ中カラ起ツテ來ルノデアリマス、今日ニ於テハ、此處ニ澤山ノ先賢ノ方々ガ居ラレマスガ、一反一俵ト云フコトハ決シテ暴言デハナイ、坐リナガラニシテソレダケノ増産ガ出來ル、而モ米價政策カラ見テモ妥當デアリ、農民ノ心理カラ致シマシテモ、農民ガ國家意識ニ目覺マル點ニ於キマシテモ、此ノ大切ナ自作農創定ト云フコトニ付キマシテ、只今指摘致シマシタ障礙ノアルト云フコトモ認識サレマシタガ、モウ少シ之ヲ徹底シ此ノ障礙ヲ打破セラレマシテ、例ヘバ小作人カラ地主ニ向ツテ買ヒタイト云フ時ハ、國家ガ之ニ向ツテ賣レト云フ法律ヲ出ス、又地主ノ方カラ自發的ニドウシテモハ賣ラナケレバナラヌト云フヤウナ政策ヲ用ヒテ、自作農ヲ勸奨スルト云フヤウナ諸點ニ對シテ、モット根本的ナル考ヘ、方ハ農政局長ニナイノデスカ、私ハアツテ欲シイト思ヒマス、更ニ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○西村政府委員 平時タル戰時タルトハ問ハズ、食糧増産ノ根幹ヲナスモハ土地制度ノ問題デアリマシテ、御述ベニナリマシタヤウニ、我が國ノ土地制度ト云フモノハ、小作地ガ相當ナル部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、是ガ假ニ平時ニ於テ解決セラレテ居ツタナラバ、此ノ際食糧増産ニ邁進スル場合ニ於テ、非常ニ憚ミガ少ナル譯デアリマシテ、左様ナコトヲ今彼此申上ゲテモ詮ナイコトデアリマスケレドモ、全ク現在食糧ノ増産ニ邁進スル上ニ於テ此ノ土地制度ノ問題ト云フモノハ、私共ノ頭ヲ悩マシテ居ル根本ノ問題デアルノデアリマス、自作農ニ致シマスルナラバ、相當ナル生産力ガ増加シタルト云フコトモ認メテ居ル譯デアリマシテ、ソレガ爲ニ色々自作農創設ノ仕事ヲ推進ラシテ居ル譯デアリマスガ、其ノ推進ノ方法ガ足りナイト云フコトハ御説ノ通りデアリマシテ、尙ホ今後一層此ノ方面ニハ力ヲ注イデ参リタイト思フノデアリマスガ、唯地主ニ土地ノ賣却ヲ強制スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、勸奨ト云フコトト強制ト云フコトト、ドノ程度ノ相違ガアルカト云フコトハ、假ニ別ニ致シマシテモ、現在農村ノ實情ハ、地主ニ致シマシテモ、又小作人ニ致シマシテ

モ、其ノ中心人物ハ應召其ノ他色々ナ關係上、其ノ地元ヲ離レテ居ルコトガ多イノデアリマシテ、所有權ニ徒ラニ執著スルト云フコトハ是ハ考ヘ物デアリマスケレドモ、ソレ等ノ中心人物ガ離レテ居ル時、強制力ヲ用ネルト云フコトニ付テハ、餘程考ヘナケレバナラヌノデアリマシテ、勸奨其ノ他尙ホ更ニ方策ヲ練リマシテ、自作農ノ創設ヲ積極的ニ進メルト云フコトニ付テハ、平野委員ト全ク同感デアリマシテ、色々考ヘ方ハアルノデアリマスケレドモ、此ノ際土地ノ賣却ヲ強制スルト云フコトニ付テハ、尙ホ考究ノ餘地ガアルト考ヘマス

○平野委員 斯ウ云フ質疑ヲシテ居ル時間ガ、將來尙ホ與ヘラレカドウカ分ラヌト思ヒマス、此ノ際發言ヲ與ヘラレタ機會ニ、端的ニ率直ニ聽イテ置キタイト思ヒマス、只今ノ御答辯ノ御心持ハ私共分リマスガ、ソレガ農村以外ノ凡ユル今日ノ戰時態勢ヲ見マシテモ、例ヘバ都會ノ企業整備ニシテモ、或ハ其ノ他祖先傳來ヤツテ來タ幾多ノ業務ト云フモノヲ、國家ノ爲ニ必要ナル場合ニ於テハ、一枚ノ紙デハ國家ノ爲ニ提供ラシテ居ル、是ハ今日ノ戰爭ノ段階ニ於ケル當然ノ姿デアリ、ナゼ農民デハ——自作農ヲ徹底スレバ米價問題ハ一刀兩斷ニ行ク、而モ局長御説メノヤウニ、自作農ニシレバ、農業放棄ハナクナツテ、生産力ハ一反一俵明カニ上ル、唯問題ハ、地主ニ土地ヲ賣却シテ買ヒマシメ時ニドウスルカト云フ、是ダケノ問題デアル、ナゼ農村ノ地主ニ對シテ土地ヲ賣レト云フコトダケヲアナタ方ハ言ヘヌノカ、ドウシテモハ瞭解ニ苦シム、是ハ私ハ二十何年間農村ノ真中ニ立ツテ、本當ニ土ノ底カラ生産力ヲ昂揚シテ、農民ノ國家意識ヲ惹ケルト云フコトニ付テハ、小作制度ト云フモノハイケナイ、ドウシテモ土地ハ自分ガ耕作スルモノヲ持ツテ、農業ト云フモノハ權利ヲ離レタ天職ト云フ所ニ農業ヲ結び付ケナケレバナラヌト云フ所カラ之ヲ主張シテ居ルノデアリマスガ、行ハレナイ、今日此ノ段階コソハ、最早敵ガ目前ニ迫ツテ居ル、其ノ時日本ノ農村ト云フモノニ立竊ツテ、最後ノ踏張りヲスルト云フ時ニ於テモ、尙且ツ農村ノ地主ノ耕作セザル者ノ所有權ニ對シテ、一片ノ法律ヲ作ルト云フコトヲナゼアナタ方ハヤラヌカ、私ハ分ラヌノデス、若シ私ノ言ツテ居ルコトニ誤リガアツテ、私ノ言フコトガ國家目的ニ副ハヌカラ君ノ意見ハ留保セヨト云フナラ分ルガ、私ノ意見ト云フモノハチャン通ツテ居ツテ、行ヘルモノヲ農林當局ガ行ハレナイト云フコトハ、私ハ了解ニ苦シム、是ハ固ヨリ局長ニサウ云フコトヲ問フハ多少無理デアツテ、是ハ大臣自ラ出テ御答辯ヲナサレナケレバナラヌト思ヒマスガ、大臣オイデニ此ノ米價メヌカラ政務次官デモ宜シイガ、此ノ點ニ付テアナタノ信念ヲモウ一遍承リタイ

○小山政府委員 自作農創定ノ必要ナルコト、其ノ増産ノ圖ル上カラ、其ノ生産意欲ヲ高メル上カラ申シテモ、自作農創定ト云フコトハ、農商省ニ於テハ大體主義トシテ立テ居ルノデアリマス、併シ私ハ、是ハ時間ヲ急グ際デスカラ、此ノ席デナク別ノ席デモ宜シ、平野君カラモ他ノ委員諸君カラモ御意見ヲ御伺ヒタイノデアリマスガ、産業ノ方ハ企業整備ガ行ハレタト申シマシテモ、産業界ニ於テハ相當大キナ資本

家ト云フモノガ出来テ居ルノデアリマ
ス、然ルニ農林ニ於テハ地主ト云フモ
ノガ殆ト極メ付ケラレテ、農業モヤハ
リ産業デスガ、農村以外ノ産業家ハ如
何ニ大キクナツテモ宜シイ、如何ニ所
有慾ヲ満足サセテモ宜シイ、併シ地主
ダケハ其ノ所有慾ヲ満足サセテハイケ
ナイ、地主ダケハ大キクナツテハイカ
ス、斯ウ云フコトデ凡ソ方面カラ地
主ヲイデメルト云フコトガ、果シテ所
謂全體ノ生産ヲ増スカ増サナイカト
云フコトハ、私ハ實ハ疑問ニ思フテ居
ル一人デアリマス、殊ニ土地ハ返還サ
レタ、其ノ土地ヲドウシテ耕スカ、國
家ノ爲ニソコニ或ル資本ヲ投ズルカ、
或ハ或ル努力ヲ投ズレバ、地主ヲシテ相當
生産サセル部面ガ多デアラウ、之ヲ
自作農ニヤラセラル、小作人ニヤラセ
ルト云ツテモ出来ナイ點ガアル、新シ
ク開拓サレタ、或ハ返還サレタ其ノ土
地ヲ活カシテ、兎ニ角戰時中一粒デモ
米ヲ多クシヨウト云フ場合ニ、地主ヲ
利用スベキ點モアルマイカ、今日ノヤ
ウニ金納ダトカ、自分デ耕作スレバ其
ノ保有米ヲ僅カ得ルニ過ギナイ、小作
人ダケハ立派ナモノヲ食ベテ、サウシ
テ地主ハ小作人程ハ米ガナイ、土地ヲ
持テバ、其ノ土地ハ賣レナイ、山林ヲ
持テバ、其ノ山林ハ國家ガ之ヲ供出サ
セル、斯ウ云フコトデ、地主ノ方ガト
云フ點ハ殆トナイヤウニ私ハ思フノデ
アリマス、私ハ地主ノ肩ヲ持ツ譯デヤ
アリマセヌ、併シ返還サレタ農地ガア
ル、其ノ農地ヲ誰ニ處理サセタラ宜
イカト云ヘバ、此ノ邊ハ地主デモ活用シ
タラ宜イデヤナイカト云フ私案ヲ持ツ
居ル次第デアリマス、デスカラ、只今
平野君ノ言フヤウナ點バカリニハ中々
進メナイノデス、一氣ニ法律デ以テ自

作農ニヤレト言フ所ガ、戰爭ノ間ニ
合ハナイ譯デスカラ、ヤハリ成行シテ
最モ適當ナ方法ヲ講ジテ行カケレバ
ナラヌ、斯ウ云フコトヲ局長モ議々申
述ベテ居ルノデアリマシテ、私カラ
モ何等カ答辨セヨト云フコトデアリマ
スカラ、私は是ダケノコトヲ御答辨申
上ゲマシテ、此處デ議論ラシテ居ツテ
ハ時間ガ掛ツテ仕樣ガアリマセヌカ
ラ、他ノ機會ニ皆方ノ御指教ヲ蒙リ
タイノデアリマスガ、私ハ之ヲ以テ平
野君ニ對スル答辨ニ代ヘル次第デゴザ
イマス

○平野委員 政務次官ト討論スル續リ
ハナイノデアリマシテ、私ノ考ヘテ居
リマス角度トハ大分違ツテ居リマス、
併シ只今ノ答辨ハソレト致シマシテ、
然ラバ斯ウ云フ角度カラ尙ホ問ウテ見
タイ、農務省ガ最近大キナ増産政策ヲ
立テテ御打ちチンツタモノハ土地改
良、是ハ山崎農林大臣當時ニ於テ天下
鳴物入りデ土地改良ヲヤラレタ、私調
ベテ見マス、是ハ色々ナ方面ヲ調ベ
タノデアリマスカラ、正確カドウカ分
ラヌガ、此ノ土地改良ニ使ハレタモノ
ハ、延人員一億三千萬人、此ノ爲ニ炭
ガ燒ケナクテ炭ガナイ、土管二千三百
萬本、「セメント」十萬トン、鋼材千
「トン」、國產三億圓、農民負擔一億五
千萬圓、木材十五萬石、石灰三萬一千
「トン」、薪七百萬「トン」、是レ以上ア
ルダラウガ、兎ニ角土地改良ニ使ハレ
マシタ所ノ此ノ膨大ナル資材、膨大ナ
ル費用、膨大ナル人力、是ハ一手ニ増産
ヲ圖ランガ爲ニオヤリナツタ手段ニ
違ヒナイ、私ハ反對ハシナイガ、是ダ
ケノモノヲヤツテ一體ドレダケ増産ニ
ナツタカ、現在極端ナ例デハ、地方農
村ニ於キマシテハ、土地改良ヲヤツタ

ガ費用ヲ實ツタダケデ、マダ事業ハ半
分ヨリヤツテ居ラヌ、恐ラク費用ダケ
ハ取ツタカラ當局ノ方ノ帳面ニハ、是
レ是レノ地面ガ土地改良ニナリマシタ
ト云フ統計ガ出テ居リマセウガ、實際
ハ土地改良ハ行ハレテ居ナイ、所ガド
ウデス、之ヲ自作農創定ニ依ツテポン
ト自作農ニシテシマツタナラバ、自作
農ト云フモノハ、斯ウ云フヤウニ費用
ヲ出サズトモ、延人員一億三千萬人出
スト云フヤウナコトガナクトモ、自分
ノ地面ト云フモノハ自發的ニ之ヲ愛撫
スル、只今政務次官ハ土地ガ返還サレ
テ居ツテ、ソレハ地主ニヤラセタラ宜
カラウト云フコトデスガ、サウ云フ所
モナイトハ言ヒマセヌ、併シ大體シ
テ、今日マダ農林ニ於キマシテハ所謂
小作階級ト云フモノハ、其ノ地面ハ金
ヲ出シテ已レノ所有ニ出來ルト云フ一
ツノ安定ガ出来マシタナラバ、土地ハ
買ヒマス、買ツタラ必ズ作リマス、土
地改良ニ依ツテ是ダケノ資材ヲ使ヒ、
延人員一億三千萬人カラ使ハレテ一體
ドレダケ生産ガ上ツタカ、二百萬石上
ツタカドウカ、ソレヨリハ自作農ニシ
テ置イテ一反一復ノ増産ヲ得ルト云フ
コトデアリマスレバ、何等國費ヲ用ヒ
ズ、資材ヲ用ヒズシテ、農民ノ自發的
ナ意欲ト云フモノニ依ツテ増産明瞭ナ
リト云フ、此ノ利害得失ノ明瞭ナル間
題アルニ拘ラズ、尙且自作農創定ト
云フコトニ付テハ、考慮シマセウ、サ
ウ一遍ニハ參ラヌ、斯ウ云フヤウナ御
答辨デアリマスコトハ、私ノ満足スル
能ハザル所デアリマス、農政局長ハ此
ノ土地改良ト自作農創定トヲ睨ミ合ハ
サレマシテ、先ツ土地改良ニ於キマシ
テ是ダケノ費用ヲ使ツテドレダケノ生
産ガ上ツタカ、同時に自作農創定

ト睨ミ合セタ結果ノ御所見ヲ承ツテ置
キタイト思ヒマス

○西村政府委員 第二次、第三次ノ土
地改良ニ付テ、多額ノ經費、努力ヲ使
ヒマシタノハ、若干ノ數字ハ違ツテ居
リマスケレドモ、大體平野委員ノ御述
ベニナリマシタ所ハ、其ノ要點ヲ擷
デオイデニナリマス、之ニ依リマシテ
ドレダケノ食糧増産ニナツタカト云フ
ノデアリマスガ、昭和十九年度ニ於テ
ハ米ガ約百八、九十萬石ノ増産ニナツ
タノデアリマシテ、食糧増産ニハ相當
役立ツテ居ルノデアリマス、二十年
ニ於テハ尙ホ引續キデアリマスガ、米
二百萬石、又麥ハ裏作ヲ可能ナラシム
アル所ノモノガ百二十萬石ト云フコトデ
デアリマシテ、昭和二十一年度以降ニ於
キマシテモ、相當麥ノ裏作ハ増加スル
豫定ニナツテ居リマス、ソレデハ二百
萬石ガ確エタナラバ、昭和十九年度
ノ平年作ガモット上ツタカト申シマス
ト、ソレハ耕地ノ面積ガ、昭和十八年
度ト十九年度デ付面積ニ於テ——早
害其ノ他ノ關係モアリマシタケレド
モ、相當ノ開キガアリマシタノト、又
天候其ノ他ノ關係モアリマシテ、大體
六千百萬石程度ノ實收ヲ昭和十九年度
ニ於テハ暴ダノデアリマスガ、是ハ
土地改良等ニ依リマシテ反當ノ收量モ
上リ、又麥モ昭和二十年年度ニ於テハ相
當付面積ヲ増加シテ居ルノデアリマ
シテ、土地改良ノ效果ハ此ノ點ニ於テ
ハ十分アルト私共確信シテ居ルノデア
リマス、尙ホ自作農ノ問題ニ付テハ、
先程申述ベタ通りデアリマスガ、自作
農ニズルコトニ依リマシテ相當ノ收量
ガ増加スルコト云フコトハ、是ハ十分認
テ居ルノデアリマス、唯ハ農民ノ意
欲、氣力ニ依ルコトデアリマシテ、法

制の二強ヒル譯ニハ行カヌノデアリマ
スケレドモ、自分ノ土地デナクテモ、
此ノ際食料増産ノ意欲ニ燃エテ、小作
人ガ努力シテ與レルヤウニ仕向ケ、ソ
レニ對シテ平野委員ノ御述ベニナリ
マシヤウナ色々ナ方策ヲ講ジ、米價ノ
改訂等ニ付テモ、小作人モ自分ノ努力
シタ所ノモノガ十分報イラレル、斯ウ
云フヤウニ致シマスナラバ、假令ソレ
ハ小作農地デアリマシテモ、相當生産
増加ノ效果ハアルト思フノデアリマシ
テ、ソレカト云ツテ自作農ノ制度ニ勿
論反對ヲスルノデハナイノデアリマス
ガ、自作農ニズルコト、今ノ小作農
地ヲ其ノ儘ニ置イテ農耕ニ努力シテ實
フコトトニ付テ、土地改良ノ此ノ數字
ト同ジヤウナ工合ニ、其ノ數字ヲ具體
的ニ比較スルト云フコトハ一寸困難デ
アリマス、左様ニ考ヘテ居ル譯デアリ
マス

○平野委員 此ノ際尙ホ農商省御計畫
ノ標準農林ニ於テ色々ナ實績ヲ擧ゲテ
居ル譯デアリマスガ、時間ガアリマセ
ヌカラ私ノ意見ハ申上ゲマセヌガ、過
去二年間ニ於テ設定サレタ標準農林カ
ラ見ル自作農創定、食糧増産、之ニ付
テハ農政局長ノ方ニハドウ云フ結果ガ
現ハレテ居ルカ、御發表ヲ願ヒタイ

○西村政府委員 今手許ニ數字ヲ持
セマセヌガ、私共一般ノ農村ノ中特ニ
標準農林ノ選ビマシタモノニ付テハ、
適正規模ノ農家ナリ自作農家ニ付テ
ハ、極力力強ク推進シテ參ル考ヘデア
リマシテ、皇國農村ニ於ケル自作農家
ハ、他ノ農村ヨリモ非常ニ好イ成績ヲ
示シテ居ルノデアリマス

○平野委員 モウ一ツ最後ニ、是非此
ノ議會ニ於テ明カニシテ置キタイト思
フ問題ガアルノデ端の二同ヒマスガ、

法

進メナイノデス、一氣ニ法律デ以テ自

村ニ於キマシテハ、土地改良ヲヤツタ

自作農創定

法

法

米ノ供出制度ニ付テ何等カ方法ヲ變ヘ
ル、是ハ私其ノ答辯ヲ新聞紙等見タ
ノデ、或ハ多少難達ヘテ居ルカモ知
ラセヌガ、農商大臣ノ言明デハ、從來
ノ米ノ供出ニ關スル報獎制度、獎勵金
其ノ他ニ付テ、何等カノ方法デ之ヲ勤
案スルト云フヤウナ御答辯ガアツタヤ
ウニ思ヒマス、又私トシテモ一昨年
來、今年マデ引續イテ行ハレテ居ル米
ノ供出ニ付テハ、現状ノ體デハイヘケ
ナイト思ヒマス、是ハ米價ノ問題ヲ改正
セラレト同ジヤウニ、此ノ供出ノ制
度ニ付テドウシテモ一ツ御考ヘテ願ハ
ナイト、是ハ此ノ體デハ農村ハ十分デ
アルト云フコトハ出來マセヌ、ソコデ
此ノ委員會ヲ通ジテ私ガ明カニ致シテ
置キタイト思フコトハ、然ラバドウ云
フヤウナ方法デ供出ノ制度ヲ變ヘテ行
カレルカ、言ヒ換ヘルナラバ、一番大
キナ損ハ個々ノ農家ニ對シテ割付ケ
ル所ノ供出額ハ、何ヲ標準トシテ幾ラ
割付ケルカ、斯ウ云フ點デアリマス、
今マデノ委員諸氏ノ質問ニ對シテ色々
ナ御答モアツタヤウデアルガ、此ノ點
ハ明カニナツテ居リマセヌ、報獎制ハ
良イケレドモ、其ノ運用ニ付テ考ヘルト
云フヤウナ答辯モアリ、又先程此處デ
齋藤委員カラ質問ノ深刻ナル米ノ供出
實情ニ付テ、食糧管理局長官カラモ、
供出ニ付テハ相當ニ「デリケート」デア
ルト云フヤウナ御答ガアツタガ、ソレ
等ニ對スル對策ハ決マツテ居リマセ
ヌ、ソコデ私ハ是モ米ノ價值ノ決定ノ
仕方ヲドウ云フヤウニセラルカト云
フコトヲ問フタト同ジヤウニ、個々ノ
農家ニ付テ割付ケラレル所ノ供出額ノ
決メ方ニ付テ、何カ研究ガアルカ、詰リ
現在ノヤリ方ハ四千萬石額ガ要ル、之ヲ
縣ニ割當テル、縣カラ郡、町村、部落

ヘト行クノデアリマスカラ、來タ農家
カラ見レバ漫然ト來テ居ル、隨テ何デ
カ供出ハ送ケタイト云フ意欲ガアル
ル、送ケタイト云フ意欲デ農民生
產ヲヤルト云フコトハ、先程ノ政務次官
カラノ答辯ノ趣旨デハナイ、農民ガ直
ニ國家意欲ニ目覺メテ農產ヲヤリ、供
出ニ付テハ俺ハ是デケハ勝リ以テ納メ
ヨウト云フ勢ヒニナラナケレバ、完全
ナル供出トハ言ハレナイ、假ニ地方長
官ガ權力ヲ振ヒ、色々ナ手段ヲ講ジ、
或ハ泣落シ或ハ色々ナ力ヲ用ニ角算定
量ヲ取ツテ來テ、是デ供出全シト云フ
譯ニハ行カヌ、供出全シト云フコト
ハ、出ス方ノ百姓ガ宜シイ、是デケハ
俺ハ當然ダト云フ認識ノ下ニ、喜ソデ
供出スルト云フコトニシナケレバナラ
ヌ、モツト極端ニ言フナラバ、出征兵
士ガ赤紙ニ喜ソデ應召スルノト同ジヤ
ウニ、供出モ何俟來タ、是ハ俺ノ義務
ダト云フ感ジヲ起サシメルマデニ、供
出ノ率ヲドウ定メルカト云フコトニ付
テ、農林當局ニ十分ナル研究ガナクテ
ハナラヌト思フ、私ガ食糧管理局長官
ノ御出席ヲ要求シタノモ、此ノ點ヲ問
ハウト思ツタカラデアリマスガ、勿論是
ハ農政局長ニ於テモ、總務局長ニ於テ
モ、能ク御研究ノアルコトト思フカラ
御尋ネシマスガ、此ノ供出ニ付テ從來
ノ色々ノ弊害、或ハ參考ニナル所ノ意
見ニ鑑ミラレマシテ、茲ニ何等カノ新
シイ供出方法ニ付テ御考慮ガアルカド
ウカ、アリトシタナラバ其ノ方法ニ付
テ一ツ御發表ヲ願ヒタイ

ルノデアリマス、私儘カナ期間、地方
廳ニ居ツタ場合ノ實情カラ見テモ、御
話ノヤウニ米ノ供出ハ、國家ガ食糧ノ
狀況カラ考ヘテ、ソレノ必要ナ數量
ノ總量ヲ決メテ、各府縣ノ食糧事情、
難澁其ノ他家畜ノ關係等モ考ヘテ、ソ
レゾレ各府縣ニ割振リマシテ、ソレヲ
長官ガ引受ケテ之ヲ町村ニ割振リ、町
村カラ部落其ノ他農家ニ行ツテ居ル譯
デアリマス、其ノ場合ニ、農家ニハ三
合ナリ三合五勾程度ノ保有米ハ持タセ
ルヤウニシヨウト云フコトデ初メハヤ
ツテ居リマシタケレドモ、段々其ノ他
ノ食糧事情ノ關係カラ供出ガ難澁ニナ
ツテ參リマス、農家モ其ノ部落ニ與
ヘラレタ供出ヲ完了スル上ニ於テハ、三
合乃至三合五勾程度ハ自分ノ權利ダカ
ラ是デケハ殘ス、其ノ他ノモノハ出ス
ト云フ譯ニ實ハ行キ難ネルノデアリマ
シテ、現在農家ガ責任數量ヲ供出スル
場合ニ於テハ、是モ申上ゲルマデモナ
イコトデアリマスケレドモ、飯米ヲ切
ツテ居ル者モ澤山アルコトハ御承知ノ
通りデアリマス、又農家ニ依ツテハ其
ノ他ノ麥ナリ雜ナリ、色々ナ雜穀ガア
ルノデアリマシテ、ソレ等ノ點モ考ヘ
ナケレバナラナイ譯デアリマス、農家
ノ綜合作付計畫ニ基イテ何々ノ食糧、
何々ノモノ、是デケハ農家ノ權利デア
ルカラ確保スル、其ノ他ノモノハ全部
出シテ賣フノデ、斯ウ云フコトハ、中
國雜米事情ニアルト云フコトハ、中
國ノ通リデアリマス、サウカト云ツテ
只今御述べニナリマシタヤウニ、唯國
家ノ食糧事情カラ漫然ト農家ニ之ヲ割
振ツテ、其ノ愛國心ニ懸ヘテ食糧ヲ
出來ルデケ供出シテ賣フト云フコト
ハ、今日ノ食糧事情等ニ於テハ、其ノ

完成ヲ期スルコトモ中々困難ナ事情ガ
アルト思ヒマス、綜合供出ノヤウナ問
題モ色々問題ニナリマスケレドモ、諸
ト米ハ或ル程度時期ハ同ジデアリマス
ガ、麥ハ其ノ時期ガ違フノデアリマシ
テ、米ト麥ト諸ニ付テ綜合供出ヲヤル
ト云フコトモ、麥ガ少ナカッタカラ米
ヲ餘計出スト云フ計畫ノ下ニ參リマシ
テモ、米ガ獲レナカッタ場合ニハ供出
ノ完了モ出來ナイト云フ場合モアル
シ、又國家ノ食糧ノ操作カラ參リマス
ト諸ハ之ヲ長ク貯藏シテ操作ヲスルコ
トハ困難ナ場合ガアルノデアリマシ
テ、其ノ意味ニ於テ農家ニ對スル供出
ヲ確定シテ進ムコトハ、現在ノ狀態ニ
於テハ中々困難デアルト思ヒマス、唯
私共考ヘナケレバナラヌコトハ、是ハ
技術的ニ困難デアリマスケレドモ、
ソレノノ農家ニ對スル供出割當ハ、
絕對トハ申シマセヌガ、出來ルデケ公
平デナケレバナラヌト云フコトト、ソ
レカラ農家ノ凡ユル食糧ヲ混ゼテ、農
家ノ食糧ガ不足スルヤウナ工合ニシ向
ケルコトハ、如何ニ國家ノ要求ト雖モ
困難デアルト考ヘテ居リマス、供出制
度ヲ將來ドウ云フ風ニ持ツテ行クカド
ウ云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ルカト云フコト
ガ御質問ノ要點デアルト思ヒマスケレ
ドモ、之ニ付テハ私共モ色々研究ハ致
シテ居リマスガ、今斯様ナコトヲ考ヘ
テ居ルト云フコトヲ申上ゲル時期ニハ
到達シテ居ラヌコトヲ遺憾トスル次第
デアリマス

○平野委員 私ハ自分ノ私見デアリマ
スガ、大體一定ノ物產ナクシテ各地方
ヘ任サウトスルカラ、同ジニ割當テラレ
テ來テ居テモ、何デカ自分デケガ多イ
ノデハナイカ、又何等カノ方法ヲ以テ
スレバ是ハ斷レルノデハナイカト云フ
ヤウナ氣分ガ起ルノデアリマス、日本
ノ非常ニ複雜ナル各農村ニ一律ノ物產
ヲ當テルト云フコトハ困難デアルガ、
米ニ對スル供出ト云フモノニ付テハ、
會テ一定ノ公正ナル小作料ナドト云フ
モノガ、那須博士等ニ依ツテ理論的ナ
モノガ編ミ出サレテ、一應ハ公正ナル
小作料ト云フ理論的ナモノニ地方事情
ヲ勘案シテ、サウシテ出マシタ小作
料ガ當時ノ小作調停委員會等ニ於テ採
用セラレマシテ、アレデケ複雜ナル小
作問題ニモ一途ノ眼光ヲ認メタノデア
リマス、コ、デ供出ニ付テ斯ウ一ツノ
算術ヲ考ヘテ見ラレタドウカ、ソレ
ハ生產力割ケル耕地反別、「アラス」過
去三年間ノ實績、割ル二「マイナス」保
有米「イコール」供出額、斯ウ云フコ
トデス、是ハドウ云フコトカト申シマ
スト、生產力ト云フモノハ大體各町村ニ
於ケマシテ、是ハモウ村ノ基礎デ分ツ
テ居ル、耕地反別ニ狂ヒハアリマセ
ヌ、多少狂ツテモ大體正確デス、是ハ
可能ナコトデアリマス、ソレカラ其ノ
農家ノ過去三年間ノ實績、是ハ色々ナ
理由モアリマセウケレドモ、其ノ農家
トシテハ現三角過去三年間二十倍作ツ
タ、或ハ二十倍作ツタ、斯ウ云フ實績
ガアルノデ、之ヲ申出ルコトハ町村長
ニ於テ相當ニ可能デアリマス、此ノ二
ツヲ合セタモノヲ二割ルト、實際ノ
生產力ト耕地反別ト云フ理論的ナモノ
ニ、過去三年間ノ實績ヲ加ヘタモノヲ
二割ツタモノデアルカラ、略其ノ農
家ノ適當ナル生產能力デアルト私ハ思
フ、ソレデケガ農家ノ大體ノ生產量デア
リマスガ、其ノ中カラ保有米ヲ引イタ
殘リデケラ出シテ行ク、斯ウ云フ一定
ノ物產ヲ農林當局ガ御示シナルト、

ソコデ供出額ガ決マツテ來ルト思フ、斯ウ云フ何モ算盤ガナクテ、唯君ハ十俵ダ、君ハ五俵ダト言フカラ、部落ノ割當テル人ガ、多少偏狭ノ考ヘヲ持ツテ居ルト、其ノ常會長ト關係ノ惡イ人ハ餘計割當テラレル、餘計割當テラレルカラ不平ヲ言フ、ソコデ負ケテ吳レト云フコトヲ言フ、斯ウ云フコトニナリマスノデ、是ハ私一個ノ考ヘテ居ル私案デアリマスケレドモ、假ニ當局ニ於キマシテハ斯ウ云フヤウナ理論の供出額ヲ一ツ定メラレマシテ、大體斯ウ云フ物差デ行ク、其ノ供出額ヲ總計シタモノガ農商省所定ノ四千萬石ニ近イモノデアルトスルナラバ、ソレデ目的ハ達シテ參リマスノデ、一應斯ウ云フヤウナ點ニ付テ御考案ヲ願ツタコトガアルカナイカ、又サウ云フコトニ付テマダ考ヘタコトナシト仰シヤルナラバ、一ツ御考ヘヲ願フコトハ出來ナイカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○西村政府委員 平野委員ノ御述ベニナリマシタコトモ一ツノ考ヘ方デアリマシテ、私共モソレノ左様ナコトモ考ヘタコトガ實ハアルノデアリマス、食糧管理局長官ガ居リマスレバ尙ホ一層ハツキリスルノデアリマスガ、兩三年前ニ於キマシテハ大體農家ニハ、其ノ他ノ色々ナ農産物ノ關係ガアツテ、地方ニ依ツテ多少違ヒマスケレドモ、一日三合ナリ三合五斗ナリト云フモノハ農家ノ保有米トシテ残ス、其ノ外ノモノヲ供出シテ賣フ、斯ウ云フコトデ勿論物差ハアツタノデアリマス、現在モ或ル程度ノ物差ハ勿論アルコトハアルノデアリマス、所ガ國家ノ食糧事情、外米ノ關係、更ニ本年ニ於キマシテハ外地米等ノ關係ガ色々考慮サレルト、結局其ノ一應考ヘテ居ツタ物差ニ

段々食ヒ込メテ來テ、農家ガ從來ノ權利ト云フコトモアリマセヌガ、大體自分ノ權利ト考ヘテ居ラレタモノニ食ヒ込メラレル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマシテ、恐ラク一昨年マデ位ニ於キマシテハ、多クノ縣ニ於テハ大體農家ニ其ノ保有米ヲ與ヘテモ、十分ニ供出ノ完納ガ出來タ譯デス、昨年ハソレガ困難デアリ、本年ニ於テハ更ニソレガ困難デアアル、斯ウ云フ實情ニアリマスノデ、平野委員ノ御述ベニナリマシタヤウニ、外ノ外地米ナリ或ハ外米、滿洲ノ雜穀等ガサウ簡單デナイマデモ、努力ヲスレバ或ル程度入ツテ來ルト云フ時ニ於キマシテハ、左様ナ物差ヲ以テ農家ノ方ヲ固定サセテ置イテ、其ノ不足分ヲ他ノ食糧ニ依ツテ補フコトガ出來ルノデアリマスケレドモ、今日ノ食糧事情ニナツテ參リマス、農家ニ保有米ヲハツキリスナイト云フコトハ洵ニ遺憾デアリマスケレドモ、左様ナ物差ヲ以テ進メルト云フコトハ、國家ノ食糧事情ガ許サナイ、斯様ナコトニモ相成ルト考ヘラレルノデアリマス

○平野委員 大分時間ヲ取リマシテ恐縮デアリマス、ソレデ私ハ大臣ニ對スル質問ヲ若干ト、食糧管理局長官ニ對スル質問ヲ若干留保致シマシテ、一應本日ハ是デ終リマス

○高橋委員長 皆様ニ申上ゲマスガ、明日農商大臣ニ萬障排シテ、此ノ席ニ臨ンデ戴クコトニ致シタイト云フノデ交渉致シマシタ結果、午前九時ヨリ十時マデノ間、コチヲノ方ニ見エルト云フコトニナリマシタ、而シテ明日ハ全部ノ質問ヲ大體修局ヲ告ゲルヤウナ運ビニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレデ皆様ニモ其ノ御心構ヘデ、質問ヲ成ベク簡潔ニ要點ノミヲ發言サレルヤウ

ニ御願ヒヲ申上ゲ、政府委員ノ諸君モ御多用ノ際デアリマスガ、成ベク御出席ヲ賜ハルコトヲ希望シテ置キマス、尙ホ大臣ニ對スル質問ハ時間ガ非常ニ少ク、且ツ多數ノ方々ガ保留サレテ居ルシ、又發言ヲナサナイ方ノ中ニモ、大臣ニ對スル質問ノ要項ガアラレルト考ヘマス、併シ一々御發言ヲ願フ時間ガナイト云フコトモ考ヘラレマスノデ、豫メ委員長ノ手許マデ質問ノ要項ヲ配メテ、コチヲニ御提出ヲ願ヒマス、御發言ノ出來ナイ場合ニハ、委員長ガ代ツテ質問ヲ致スト云フヤウナコトニシテ、時間ヲ有効ニ使ヒタイ、斯ウ云フコトモ考ヘテ居リマスノデ、ドウカ左様ニ御願ヒヲ致シマス、明日ハ午前九時ヨリ此ノ室デ委員會ヲ開會致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後四時二十五分散會